

## 第4章 金沢市の歴史遺産の特性

### 4-1 歴史遺産の時代別・地域別特性

#### (1) 歴史遺産の時代別特性

金沢市の歴史遺産について、原始、古代、中世、近世、近代の時代別にその特性をみる。

##### ① 原始の歴史遺産

旧石器時代のものとして金沢城跡石川門土橋及び車橋門跡からの石刃石器4点の出土が知られているが、いずれも移動している埋め土から出土したものであり、明確な生活痕跡は周辺地域に展開していると思われる。

縄文時代草創期、最古の土器や弓矢が出現し縄文文化が始まるが、金沢では吉原七ツ塚遺跡から有舌尖頭器（槍先）が発見されている。太平洋岸で貝塚が形成され始めた縄文早期には、田上町や天池町に小規模の集落が出現し、集落の数や規模が大きくなる縄文中期には、河岸段丘上や平野部にいくつもの集落が栄えていた。集落の多くが平野部に移動した縄文晩期には、巨大木柱根が350本以上（日本最多数）発見されたチカモリ遺跡（国指定史跡）、中屋サワ遺跡、米泉遺跡が栄えていたことが知られている。

弥生前期、大陸から稻作が伝播し九州から西日本各地に波及していくが、北陸沿岸部にみられる前期末の集落跡にもその影響がみられる。西日本で拠点的な大型集落が出現した弥生中期には、櫛描文土器が盛行し、平野部で下安原遺跡、寺中遺跡、戸水B遺跡などが営まれており、精巧な木製高杯が出土した西念・南新保遺跡は拠点集落として栄えていた。弥生後期には、塚崎集落遺跡で玉作りが盛んに行われていたことが知られており、吉原七ツ塚古墳は方形周溝墓から墳丘墓への変遷を示している。

##### ② 古代の歴史遺産

奈良盆地では古墳時代前期に前方後円墳が出現するが、金沢では戸水C古墳群（前方後方墳）や観法寺古墳群（小型の前方後円墳）が営まれている。古墳時代中期には北陸にも円筒埴輪や壺形埴輪を立てる古墳祭祀が、後期には横穴石室が北陸にも普及し、平野部から段丘縁にかけて多数の古墳が出現した。

古代律令国家の成立とともに金沢市域を含む北加賀一帯に加賀郡が成立し、末端の区分としての「里」が編成されその後「郷」と改称されるが、当時の郷名と

して中村郷、富樺郷、三馬郷、大桑郷、田上郷などが確認され、これらの郷名は遺称地として現在も町名に引き継がれている。

律令国家の交通制度である駅制により整備された北陸道に関連して、観法寺遺跡では両側に側溝をもつ道路跡が発掘されている。北陸道は海、湖、河川と一体化していることから水上交通に特質があるといわれ、加賀郡では日本海や河北潟における水上交通との深い関わりを示す遺跡が見つかっている。

律令国家は仏教政策の基礎となる官寺体制の整備を行ったが、北陸では7世紀後半より地方豪族の氏寺が確認されており、金沢では広坂遺跡で古代の寺院跡が確認されているほか、山間寺院跡の存在を示す遺跡が確認されている。

公地公民制の崩壊により開墾地の私有化が認められるようになり、8世紀後半には貴族や寺院・神社が大規模な開発に乗り出し初期荘園が成立した。金沢の平野部には多数の荘園の存在を窺わせる遺跡が発見され、墨書き土器や木簡が出土している。

弘仁14年(823)、加賀国が立国し、8世紀初期から始まった渤海との交流において加賀は渤海船の来着地であるとともに渤海使の帰着地ともなっていたことが知られており、渤海のものと推定される文様入り帶金物や大型の建物群と井戸跡が発掘されている。また、古墳時代以降に作られた土師器に対し、古代には焼成に穴窓を用いる須恵器の生産が活発となり、観法寺窯跡群や犀川・浅野川上流の末窯跡群にその痕跡がみられる。

平安末期からは手取川扇状地東部の林氏、泉野扇状地の富樺氏を始めとする有力武士団が台頭した。富樺泰家と源義経・弁慶主従の「安宅閑」の逸話が能「安宅」や歌舞伎「勘進帳」として後世に伝えられており、市内には「鳴和の滝」など義経主従伝説の地や逸話が伝えられている。

### ③中世の歴史遺産

平安末期に加賀を代表する武士団のひとつに成長した富樺氏は、室町時代に加賀国守護となるが、守護職をめぐる富樺家の内紛に一向宗門徒が関わり、守護富樺政親は一向一揆によって倒された。富樺政親滅亡の地である高尾城跡や富樺一族の墓域と伝わる御廟谷（県指定史跡）が残る。

富樺政親滅亡後加賀は一向宗門徒たちが支配する「百姓ノ持チタル国」となり、その後一揆の拠点として現在の金沢城跡（国指定史跡）の位置に金沢御堂が建てられたが、本山の石山本願寺のような大規模な防御施設を備えた城郭寺院であったと考えられている。浄土真宗は蓮如の布教により北陸に広まったが、二俣本泉寺（山門：市指定有形文化財）や四十萬善性寺などの寺院をはじめ蓮如ゆかりの地が広く分布しているほか、一向一揆に関わる若松本泉寺跡や木越光徳寺・光琳

寺・光専寺跡などが知られている。

中世は浄土真宗などの新仏教が武士や農民に広く浸透した時期であったが、その歴史を伝える寺院が残っており、富樫氏が開基の曹洞宗大乗寺（仏殿：国重要文化財、伽藍：県指定有形文化財）の名僧たちが当時曹洞宗を広めていった。また、日蓮宗本興寺は加賀の日蓮宗の中心で、現在も本興寺が位置する森本三谷地区には中世以来の日蓮宗寺院が多く分布しており、「三谷法華」とも称されている。

金沢の代表的な荘園・公領に大野荘・倉月荘・小坂荘・安江荘などが知られるが、大野荘は湊を有する臨海荘園であった。大野湊神社（県指定有形文化財）は大野荘の鎮守であったと考えられており、大野港と金石港はかつての大野荘の大野湊と宮腰津で、当時は年貢の保管と積み出しが行われており、石塔や町場の跡が発見された普正寺遺跡は宮腰津の跡と考えられている。

古代に整備された北陸道は室町後期以降には日本海浜筋を通る浜通りと内陸山麓沿いを通る中通りの2つのルートがあり、中通りには金沢発祥の地とされる山崎窪市があったことが知られており、市の守護神であった久保市乙剣宮が現在も残る。北陸道のほか加賀と越中を結ぶ旧道として田近越、小原越、三ノ坂道、おこ谷越などが知られており、これらの旧道沿いには松根城跡（市指定史跡）や堅田城跡（市指定史跡）のほか朝日山城、切山城、梨木城などの中世城跡が残る。また、堅田城跡の麓にある居館跡の堅田B遺跡から巻数板（市指定有形文化財）が出土している。

#### ④近世の歴史遺産

一向一揆滅亡後、金沢御堂跡に金沢城が築城されるとともに城下の整備が進められ、17世紀初期にはほぼ城下町が完成した。

近世の歴史遺産としては、城下町の中心を成した金沢城（石川門、三十間長屋、鶴丸倉庫：いずれも国指定重要文化財）や兼六園（国特別名勝）をはじめとし、寺社建築や武士住宅、町家、庭園、寺院群、茶屋街、用水、街路等、旧城下町の都市構造に関連するものが代表的である。また、現在も能や茶道などの嗜みなどが広く市民の中に息づいており、加賀獅子などの民俗行事も伝承されている。旧城下町の周辺地域においても農村部の灌漑用水やため池などの土木遺産、和紙や石材など生産拠点となった集落、主要街道などが挙げられる。

近世の歴史遺産の多くは現代まで引き継がれているものが多くあり、現在の金沢の都市構造や経済活動と密接に関わりながら息づいている。

#### ⑤近代の歴史遺産

近代は明治維新直後の経済の低迷期を経て、第四高等中学校の開校や第九師団

司令部の設置により、学都・軍都としての復興が進んだ。さらに大正期から昭和初期にかけては、北陸本線や市電の開通、電気・上水道等の都市インフラの整備が進められ、現在の金沢の都市としての骨格がつくられた。

近代の歴史遺産として、旧第四高等中学校本館（国指定重要文化財）、旧石川県立第二中学校三尖塔校舎（県指定有形文化財）、旧金沢陸軍兵器支廠（国指定重要文化財）、旧陸軍第九師団司令部庁舎（国登録有形文化財）、旧専売公社C-1号工場（国登録有形文化財）など教育、軍事、産業に関する近代建築や浅野川大橋（国登録有形文化財）、犀川大橋（国登録有形文化財）、末浄水場（国登録有形文化財）、同園地（国登録記念物）など都市基盤施設である土木構造物が残る。

近代の歴史遺産は、建造当初の用途のまま現役の施設として使われている土木構造物や、当初の姿を生かしながら博物館や図書館など新たな用途で活用されている近代建築など。現代の都市機能の一部として用いられている例が多い。特に旧城下町区域では、近世以来の歴史遺産や都市構造とともに近代の歴史遺産が数多く残っていることで、金沢の歴史的街並みの連続性が保たれている。

## ■金沢市域における歴史の変遷と主要な歴史遺産

時代	西暦	時代区分	政治	産
原始 古代	約1万年前	旧石器		
	紀元前3世紀	縄文	ムラの誕生 ・チカモリ遺跡	
	3世紀	弥生	拠点集落の出現	
	4世紀	古墳	古代豪族の支配 ・おまる塚古墳 ・びわ塚古墳等	水田耕作
	5世紀		古墳建造	
	6世紀	飛鳥		
	7世紀		律令政治の展開	
	8世紀	奈良		
	9世紀	平安	加賀国立国 (823)	寺社・貴族による 莊園開発・寄進
	10世紀			
中世	11世紀			
	12世紀			
	13世紀	鎌倉	富権氏の拠点 ・高尾城跡 ・御敷谷(墓所)	山城の築城(松尾城跡等)
	14世紀			
	15世紀	室町	守護富権氏	
	16世紀		百姓の持ちたる国 ・金沢御堂建設 ・金沢寺内町形成	
近世	17世紀	安土桃山	加賀一向一揆 (1488) 佐久間氏御坊攻略	
	18世紀	江戸	前田利家入城 金沢城・藩施設 ・金沢城跡(石川門・藤丸倉庫等の建造物) ・成巽塙 ・堂院のシイノキ ・兼六園 ・新田開発 ・用水(辰巳用水・稻月用水・大野庄用水)	城下町の形成 ・街路網 ・町割(武家地・町人地) ・用水(辰巳用水・稻月用水・大野庄用水) ・寺院群 ・武家屋敷 ・町家
	19世紀			村方の統治 ・新田開発(運転用水・灌漑整備) ・十村制度 ・改作法
				林業 戸室石 ・..... ・標石開闢
近代	明治	県庁 尾山神社	加賀藩前田氏統治時代 第九師団 第四高等中学 金沢大学	加賀漆器・漆工芸・蒔絵 ・..... ・標石開闢
	大正			
	昭和			
現代	21世紀	平成		金箔 象嵌・刀鍛冶・茜染など

業	流通・交通	信仰	生活・文化
土師器・須恵器 ・末窯跡 →須恵器主流	漁業（日本海・河北潟） 古代港湾集落 [渤海との交流]	古代北陸道 舟運（川・潟） 大野庄湊（宮腰津） 北国街道 諸街道の発達 金石に合併 金沢港 市電・馬車鉄道 北陸自動車道	白山信仰 大野湊神社 鎌倉新仏教 武士・民衆への浸透 森本地區（三谷法華） 三寺院群（卯辰山山麓・小立野・寺町） 他宗（日蓮・法華・臨済など） 真宗門徒の増加 寺院の増加 山崎産市 上層町人の活躍（尾張町界隈） 市の賑わい（近江町・青草辻の朝市） 金沢三文豪の活躍
二俣和紙（二俣地区） 和菓子 大槌焼 九谷焼 加賀友禅	湯涌温泉 醤油醸造 北前船交易 大野湊（大野・金石地区） 宮腰湊 金石に合併 金沢港 鐵道開通	中北陸道 世道移 鶴来 宮野 粟崎 小原 近二 俣塩硝 市電・馬車鉄道 北陸自動車道	山林寺院 私設佛教寺院 地方豪族の造営 大野湊神社 鎌倉新仏教 武士・民衆への浸透 森本地區（三谷法華） 三寺院群（卯辰山山麓・小立野・寺町） 他宗（日蓮・法華・臨済など） 真宗門徒の増加 寺院の増加 山崎産市 上層町人の活躍（尾張町界隈） 市の賑わい（近江町・青草辻の朝市） 金沢三文豪の活躍
			茶の湯 加賀宝生 謡 武士階級から町人階級へ浸透 加賀獅子

## (2)歴史遺産の地域別特性

金沢市域を水辺、平野、山辺、山地の4つの地域に区分し、その地域別特性から歴史遺産を概説する。

### ①水辺の歴史遺産～交流の姿を示す湊・道・集落～

日本海に面する水辺エリアにおいては、古代北陸道や港湾関連の施設跡、近世湊町など、他地域との交流・交易に関わる歴史遺産が特徴的であり、河口付近や海岸線を中心に分布している。河北潟周辺地域での発掘調査では、古代における海外交流を示唆する考古学的に重要な遺構が確認されている。また、日本海沿岸には、古代北陸道が通過していたとされ、北陸道推定地からは道の存在を示す遺跡や周辺集落、駅などの遺跡・遺物が出土している。海岸部には早くから港湾集落が営まれていたが、近世には加賀藩の外港としての整備が進められた。大野・金石は近世湊町として発展し、金沢城下町と宮腰往還で直線的に結ばれ、北前船交易によって城下町の経済を支えた。現在は、近世から近代にかけて建てられた町家や醤油製造業を営む木造工場建築、船倉などが連なり、湊町らしいたずまいを良く残している。大野湊神社には、社叢林の中に神社社殿が配置され、金沢の伝統芸能の一端を伝える神事能、海の神のための奉納行事等が継続されており、有形・無形の歴史遺産が一体となって残る。

### ②平野の歴史遺産～古代から続く水田開発と農耕文化～

弥生時代に始まった稻作によって、平野部には広範囲にわたって集落が営まれ、古代から続く水田開発の歴史や、農村文化が現代まで継承されてきた。おまる塚古墳やびわ塚古墳など古代の権力者を祀る古墳が点在するとともに、横江荘遺跡など荘園の遺跡が存在している。中世には木越三光（光徳寺、光琳寺、光専寺）や吉藤専光寺など真宗寺院が点在しており、庶民層にまで新興仏教が浸透していた様子が伺えるが、現在は遺跡や地名としてその名残を僅かに留めている。近世以降は、加賀平野を網の目のように灌漑用水が整備され、平野部全域に及んだ新田開発の歴史を伝えている。近代に入り耕地整理が進み、また近年農地は減少傾向にあるが、灌漑用水は今なお加賀平野を潤している。また近世から続く平野部の農村集落は、ほとんどが旧来の街路・地割を残しており、今もアズマダチの農家建築と板塀が連なる農村部の街並みを残している例が多くみられる。

### ③山辺の歴史遺産～中世以来の政治・経済・信仰の拠点～

山辺エリアには、津幡・森本丘陵の裾部や河岸段丘の縁を中心に歴史遺産がまとまって分布している。古代の歴史遺産として、加賀平野に迫り出す丘陵の斜面に横穴墓群が多数見つかっている。なお、前田家墓所のある野田山墓地も丘陵の裾部に位置しており、時代を経て墓域としての性質を継承しているともいえる。市域を流れる各河川の中流部には河岸段丘が発達しているが、それぞれの谷筋には中世新興仏教の寺院跡や山城跡が点在している。特に「三谷法華」と呼ばれる三谷地区には、今もなお日蓮宗寺院がまとまって分布する集落として、独特の空間的まとまりを形成している。浅野川と犀川が形成した小立野段丘の先端部は、中世の加賀一向一揆の拠点であった金沢御堂跡と近世加賀藩の中心であった金沢城跡が重複し、金沢の中心地としての性格を継承してきた場所である。金沢城の城下町は、地形的特徴を活かし、城下町の防御、経済活動の拠点としての機能等を勘案しながら形成されたものであり、江戸時代に完成した城下町の都市構造は、これまで大きな罹災を免れてきたことから、現在も金沢市街地の街路や土地利用に色濃く引き継がれている。金沢市街地を取り巻く丘陵部から山地にかけての広範囲には、里山が形成されており、その植生の分布状況から人々の生活や生業を支えてきた歴史が窺える。また、丘陵地の農村部では平野部と同様、加賀藩の経済的基盤を支えるため近世より新田開発が進められた。現在も棚田や灌漑用の溜め池による水田耕作が行われている地域が残る。

### ④山地の歴史遺産～近世城下町を支えた地域資源と産業の集落～

山地エリアには、主に中世の争乱や城下町の経済を支えた産業に関わる歴史遺産が、広大な山地に点在するように残っている。中世には越中と通じる二俣越や小原越などの間道や、日本海側から山地に通じる河川など、交通の要所を押さえるように山城が築かれた。近世に入ると、金沢城築城用の石材として、戸室山から産出する戸室石が切り出された。現在は戸室石切丁場跡となり、石切場の周辺では石材が今も散在し、往時の様子を偲ばせる。城下町と越中を結ぶ二俣越や塩硝街道の中継点には、中世より二俣と湯涌の集落が営まれていた。近世には二俣地区は加賀藩の御料紙の製造を担う集落として、湯涌地区は湯治場として栄えるようになり、両地区とも近世の生業を現代に引き継いでいる。また、市域南部の山地は金銀等を産出する鉱脈があり、犀川上流域には近世初期から倉谷鉱山が開かれ盛況を呈した。本鉱山は金沢城石川門の瓦に葺かれた鉛を産出したと伝えられており、近代まで断続的に採石が行われた産業遺産である。信仰の歴史遺産としては九万坊と呼ばれる天狗信仰がみられ、山地の信仰として特徴的である。

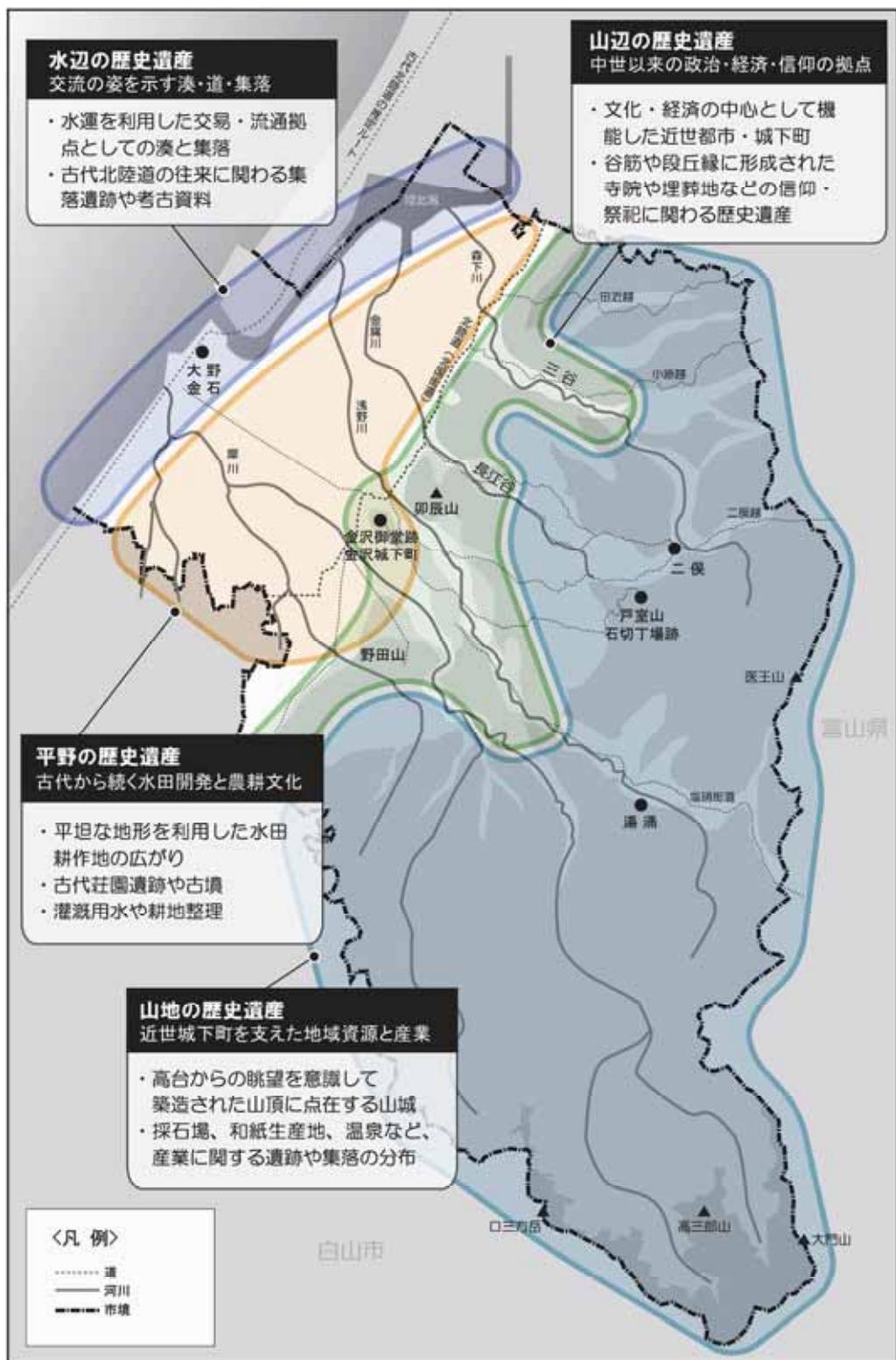


図 4-1 金沢市における歴史遺産の地域別特性

### (3)歴史遺産の重層性

前述した金沢市域における歴史遺産の時代別特性・地域別特性をまとめたものが、以下の模式図である。定住生活が平野部で見られるようになった縄文中期以降、弥生時代には水田耕作が始まり拠点的集落が形成されるようになる。その後の古代・中世・近世における歴史遺産の分布は、加賀平野だけではなく海岸部や丘陵地・山地まで広がりを見せ、市域全体に展開してきたものである。特に、中世末の金沢御堂は近世城下町の形成の基盤となり、小立野台地の先端部を中心とした歴史遺産の濃密な分布が特徴となっている。

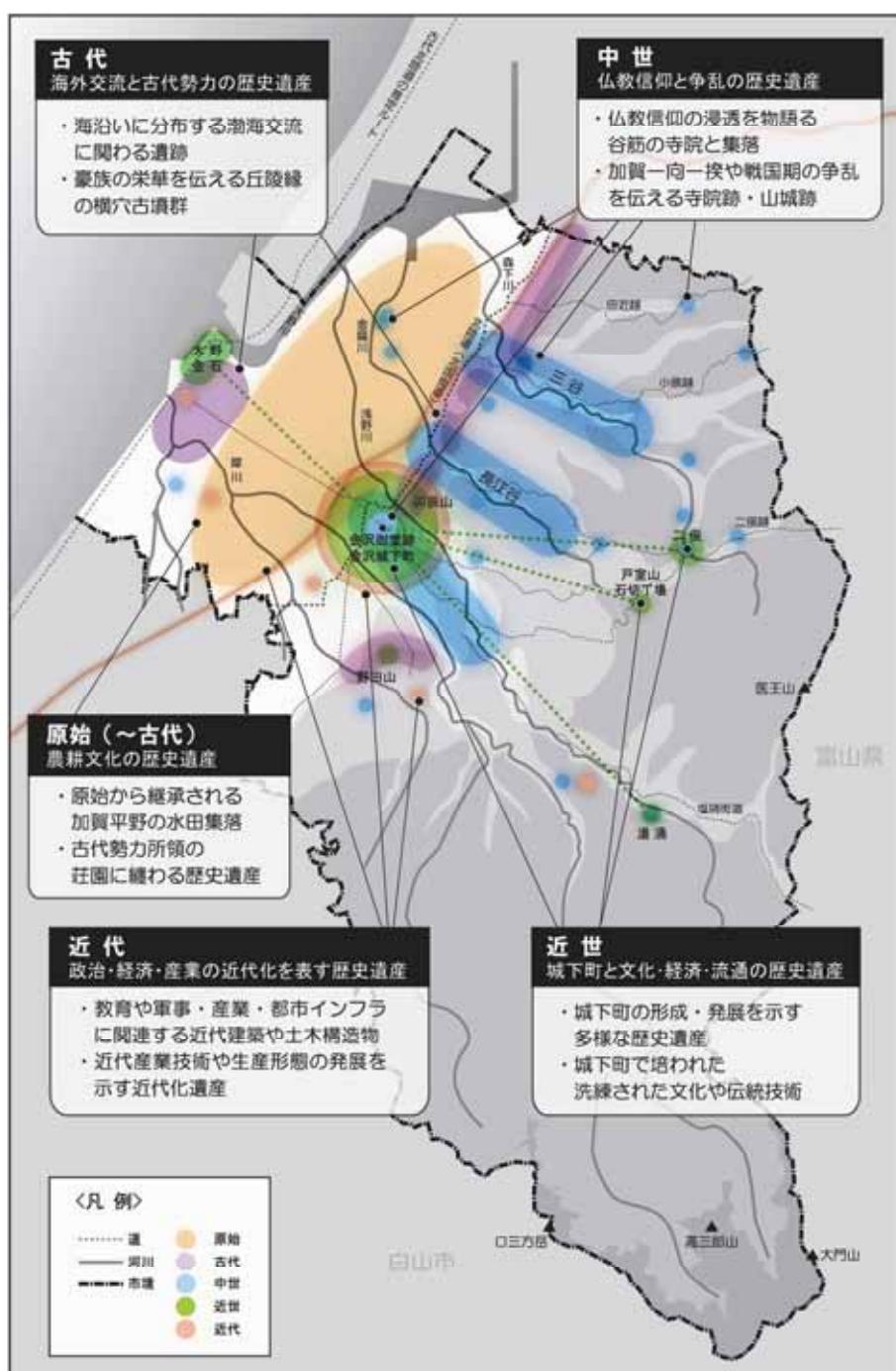


図 4-2 金沢市域における歴史遺産の時代別・地域別分布の特徴

## 4-2 関連文化財群の設定

ここでは歴史遺産の特性を踏まえ、金沢独特の文化や歴史に基づいたテーマやストーリーに基づく関連文化財群を設定する。

### (1) 関連文化財群設定の考え方

有形・無形、指定・未指定を問わず地域に存在する様々な歴史遺産を、歴史的・地域的な関連性に基づく一定のまとまりとして価値を見出し、人々の営みを含む相互の関係性の中でその魅力や価値を高めるため関連文化財群を設定する。

例えば、指定文化財である寺社の境内の緑豊かな佇まいや同時代の小さな祠・石段等の建造物とその空間を舞台にして行われる地域の人々による祭礼行事などは一体の歴史遺産として捉えることができる。また、嗜みとしての茶の湯文化が広く市民に浸透している金沢においては、庭園の中に作られる茶室だけでなく民家の一室などに茶室が設えられ、良質な伝統工芸の茶道具や茶会用の和菓子を製造する老舗が市内に分布するなど、茶の湯文化として一つの大きな価値を見出すことができる。このように、個別の文化財として評価のし難い歴史遺産が、歴史や文化、地域性に応じたストーリーを設定することにより関連文化財群として構成され、新たな価値と重要な意味を持つ歴史遺産となる。

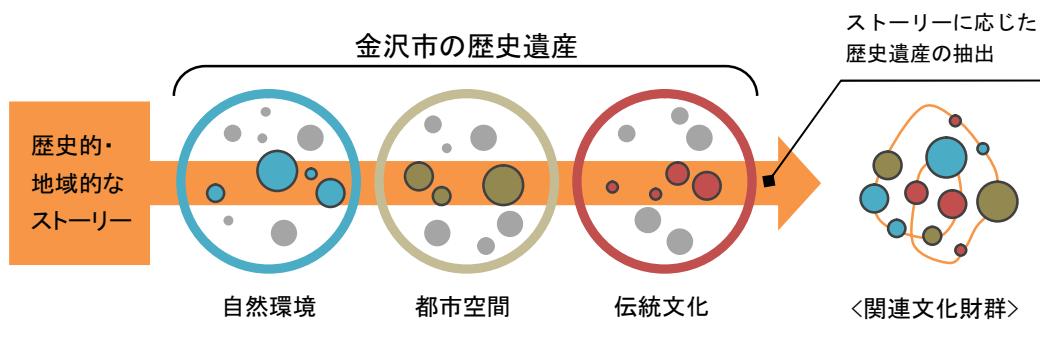


図4-3 関連文化財群のイメージ

また、関連文化財群を設定することにより、市民が金沢の歴史的・地域的な関係性をあらためて認識する機会ともなり、地域の個性を理解しコミュニティ活動の活性化が図られることが期待される。さらに、市民が歴史遺産に関する広報・周知活動に関わる機会が増加するとともに、観光や他地域との交流事業等を行うきっかけとも成り得る。特に広域な範囲で設定される関連文化財群の場合は、各種市民活動や地域コミュニティを超えた交流や研究へ発展する可能性も大きいと思われる。関連文化財群を基本としながら、歴史遺産の調査研究や活動団体の拡充を図ることにより、金沢市の歴史遺産の新たな価値の発見と保存・活用、ひいては地域の活性化も大いに期待できる。このため、金沢市における関連文化財群設定における基本的考え方は、①歴史遺産を主たるテーマに基づき文化財群とし

て構成するとともに、②歴史遺産の維持・継承に必要な技術や材料の研究・伝承、  
③歴史遺産を保存・活用する人々の活動との連携を図り、歴史遺産を包括的に保  
存・継承するための仕組みとして位置付ける。

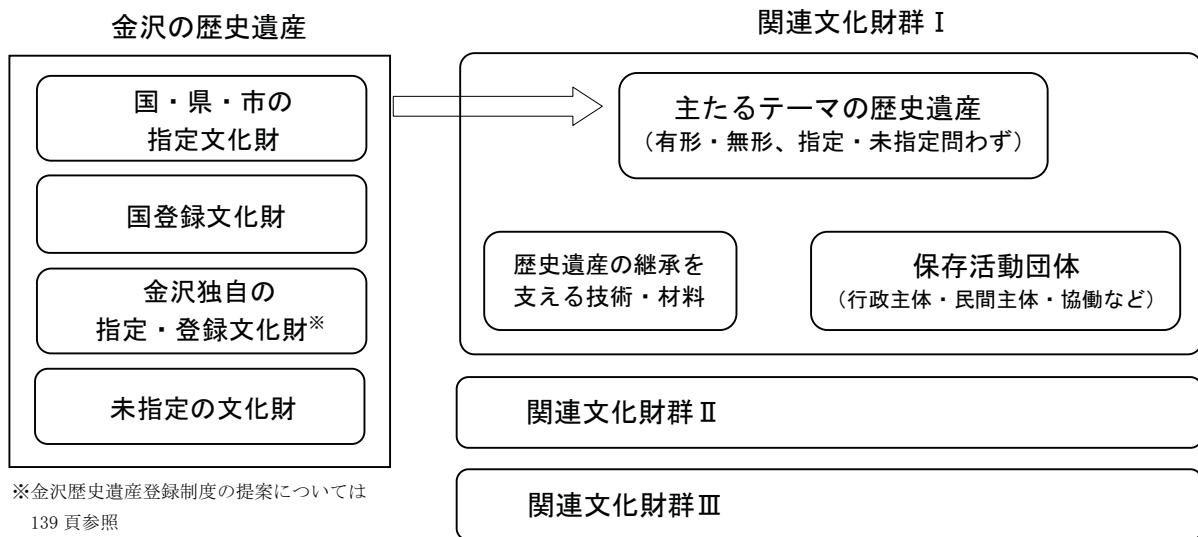
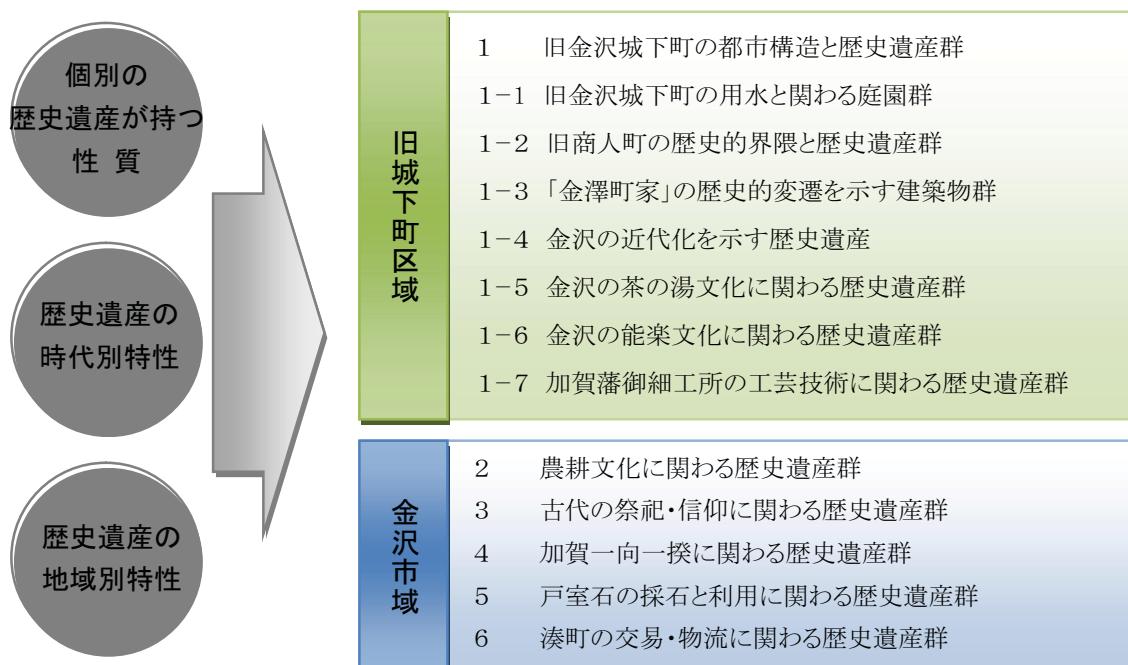


図 4-4 金沢市の関連文化財群の概念図

## (2)関連文化財群のテーマ案

個々の歴史遺産が持つ規模の大小や有形・無形といった性質や時代別特性、地域別特性などを踏まえ、金沢市域における関連文化財群のテーマ案について提示する。13項目のテーマ案の中で、旧金沢城下町を主たる対象として設定した関連文化財群のテーマは7項目とし、金沢市域全体を対象として設定した関連文化財群は6項目とした。なお、ここで提示する関連文化財群のテーマ設定は、今後さらなる歴史遺産の掘り起こしや新たな価値が見出されることにより、その変化に対応して見直し・拡充を行う。



## ■旧城下町区域の関連文化財群

### 1 旧金沢城下町の都市構造と歴史遺産群

江戸時代最大大名の城下町として栄えた金沢には、当時からの歴史を伝える有形・無形の文化財が現在も数多く残り、伝統文化・工芸技術とともに一体となって歴史的風致を形成している。

#### 1-1 旧金沢城下町の用水と関わる庭園群

旧城下町区域内には各階層、各時代の庭園が残る。また、区域内を縦横に流れる用水は現在も都市空間に潤いを与え、様々な利用がなされている。兼六園や成巽閣、長町武家屋敷等の庭園は、用水の水を利用した曲水が流れ、都市構造と居住空間が一体となった歴史遺産を構成している。

#### 1-2 旧商人町の歴史的界隈と歴史遺産群

藩政時代に北国街道や往還の沿道に広がっていた町人地の中で、尾張町界隈は城の大手前として有力町人の大酒店が並ぶ商業の中心地であった。現在も大型町家や近代建築を中心に、各時代の歴史文化遺産が歴史的界隈を形成している。

#### 1-3 「金澤町家」の歴史的変遷を示す建築物群

近世から昭和戦前までに建築された金澤町家は、建築年代や建築様式によって意匠に特徴が見られ、その変遷を示す建築物が各所に残る。

#### 1-4 金沢の近代化を示す歴史遺産群

明治維新後に建設された旧陸軍関連施設、文教施設、金融関係施設などの近代建築、都市インフラに関する土木遺産など、近代都市としての発展を示す歴史遺産が残る。

#### 1-5 金沢の茶の湯文化に関わる歴史遺産群

近世城下町では、3代藩主前田利常に招かれた茶人である宗和流の金森宗和や裏千家の仙叟宗室らによって茶の湯の文化が広まった。現在も総合芸術として金沢市民に広く認知され、工芸、庭園、茶室など茶の湯に関連する歴史遺産群が数多く残る。

#### 1-6 金沢の能楽文化に関わる歴史遺産群

加賀の能は「藩主の能」と「庶民の能」の2つがあり、5代藩主前田綱紀が宝生流を取り入れたことから「加賀宝生」として栄え、現在も能舞台や能装束など、能楽に関連する歴史遺産が残る。

#### 1-7 加賀藩御細工所の工芸技術に関わる歴史遺産群

5代藩主前田綱紀が拡充・整備した加賀藩御細工所の伝統と技術を継承する伝統工芸が現在も数多く残る。

## ■金沢市域の関連文化財群

### 2 農耕文化に関わる歴史遺産群

金沢市域には、原始から開拓された平野部の水田や集落をはじめ、莊園跡や新田開発の痕跡、山間地の棚田、ため池、灌漑用水など、農耕文化に関する歴史遺産が残る。

### 3 古代の祭祀・信仰に関わる歴史遺産群

金沢市域には、原始の祭祀や古代豪族の権力を伝える古墳群、白山信仰など祭祀・信仰の様相を伝える歴史遺産が残る。

### 4 加賀一向一揆に関わる歴史遺産群

中世の加賀一向一揆にまつわる寺院・御堂跡や、山地に点在する戦国期の山城跡など、中世の争乱に関わる遺跡を中心とした歴史文化遺産が残る。

### 5 戸室石の採石と利用に関わる歴史遺産群

戸室石は金沢城の石垣に利用され、加賀藩の管理の下で一般利用が制限されていた。現在も採石跡や運搬ルート、建造物など戸室石に関わる歴史遺産が残る。

### 6 湊町の交易・物流に関わる歴史遺産群

近世に藩の外港として流通経済の中心的役割を担っていた金石（旧官腰）や城下へ運ぶ物資の集積地で醤油造りでも栄えた大野を中心に、交易と水運に関わる歴史遺産が今も残る。

## (3)テーマを構成する歴史遺産の分類

次頁に、金沢市域における関連文化財群のテーマ案とそのテーマを構成する歴史遺産について一覧表として提示する。なお、一覧表の記載内容についても、今後の調査や発見によって一層の内容充実が図られるべきものであり、記載されていない歴史遺産の拡充を図ることも必要である。

さらに、今後各テーマに沿った歴史遺産の継承を支える技術・材料あるいは保存活動団体が加わることによって、関連文化財群の仕組みが整えられるものである。

## ■旧城下町区域の関連文化財群

No.	1	1-1	1-2	1-3
テーマ	旧金沢城下町の都市構造と歴史遺産群	旧金沢城下町の用水と関わる庭園群	旧商人町の歴史的界隈と歴史遺産群	「金澤町家」の歴史的変遷を示す建築物群
自然環境				
人と共生する自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丘陵の緑</li> <li>・台地縁の緑</li> <li>・寺院、神社の境内地の緑</li> <li>・巨樹・樹林</li> <li>・清水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台地縁の緑</li> <li>・湧水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>久保市乙剣神社境内の巨樹</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卯辰山公園</li> </ul>
都市空間				
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世城下町の町割・地割・旧町名（旧武士地、旧町人地、寺院群、茶屋街）</li> <li>・野田山墓地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧武家地の町割・地割・旧町名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町人地の町割・地割・旧町名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世城下町の町割・地割・旧町名（旧武士居住地、旧町人居住地、茶屋街）</li> </ul>
街道・街路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北国街道</li> <li>・旧金沢往還</li> <li>・近世城下町の街路網・細街路</li> <li>・広見</li> <li>・坂道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用水沿いの街路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北国街道</li> <li>・十間町通り</li> <li>・旧新町通り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世城下町からの街路網</li> </ul>
惣構・用水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・惣構堀</li> <li>・辰巳用水</li> <li>・大野庄用水</li> <li>・鞍月用水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辰巳用水</li> <li>・大野庄用水</li> <li>・鞍月用水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内惣構堀</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辰巳用水</li> <li>・大野庄用水</li> <li>・鞍月用水</li> </ul>
建造物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城郭建築と藩主関係施設（金沢城、成巽閣ほか）</li> <li>・寺院建築（大乗寺、天徳院ほか）</li> <li>・神社建築（尾崎神社ほか）</li> <li>・武士住宅（寺島藏人邸跡ほか）</li> <li>・町家（立野疊店ほか）</li> <li>・蔵（土蔵、酒蔵ほか）</li> <li>・茶室（夕顔亭ほか）</li> <li>・藩主前田家墓所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用水関連施設（取入口、水門、小橋、護岸石積、隧道、釜場など）</li> <li>・庭園関連施設（取水口、導水路、護岸石積、土壠など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町家</li> <li>・近代建築</li> <li>・茶室</li> <li>・枯木橋</li> <li>・浅野川大橋</li> <li>・里程元標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士住宅</li> <li>・町家</li> <li>・近代和風住宅</li> <li>・近代洋風住宅</li> <li>・門扉、堀</li> <li>・石積み</li> </ul>
庭園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼六園</li> <li>・成巽閣庭園</li> <li>・西田家、尾山神社他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼六園</li> <li>・成巽閣庭園</li> <li>・西田家庭園</li> <li>・用水を取り込む住宅の庭園</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士住宅の庭園</li> <li>・町家の庭園</li> <li>・見越の松</li> </ul>
街並み・集落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶屋街（ひがし、にし、主計）</li> <li>・寺院群（卯辰山山麓、寺町、小立野）</li> <li>・旧武士居住地（長町、里見町ほか）</li> <li>・旧町人居住地（尾張町、旧新町ほか）</li> <li>・門前町（旧観音町、横安江町）</li> <li>・近江町市場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長町武家屋敷群跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張町、袋町、近江町界隈の商店街</li> <li>・尾張町、旧新町、十間町界隈の町家群</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瓢箪町界隈</li> <li>・東山1～2丁目界隈</li> <li>・彦三2丁目界隈</li> <li>・尾張町1丁目～大手町界隈</li> <li>・材木町界隈</li> <li>・長町1～2丁目界隈</li> </ul>
遺跡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢城跡</li> <li>・惣構跡</li> <li>・加賀八家屋敷跡</li> <li>・土清水塩硝藏跡</li> <li>・広坂遺跡</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・惣構跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安江町遺跡</li> <li>・昭和町遺跡</li> </ul>
伝統文化				
芸能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀寅生・謡・狂言</li> <li>・素囃子</li> <li>・加賀万歳（町尽し）</li> <li>・加賀獅子舞</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商う品物として：美術工芸品、芸能関連、和菓子、加賀野菜など</li> </ul>	—
美術工芸品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統工芸技術</li> <li>・近世の金沢城下絵図</li> <li>・金沢草図</li> <li>・金沢城二ノ丸御殿景観図</li> <li>・金沢図屏風・浅野川四季風景図</li> <li>・氏子地図</li> <li>・加越能文庫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世期に描かれた用水関連絵図</li> <li>・庭園</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築図</li> <li>・古写真</li> <li>・引札</li> </ul>
嗜み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の湯</li> <li>・華道</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の湯</li> </ul>	—
民俗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀篤梯子登り</li> <li>・上野町もちつき踊り</li> <li>・四万六千日（観音院）</li> <li>・地蔵尊祭り（善光寺坂ほか）</li> <li>・氷室行事（旗源平、福德種（正月遊びの玩具）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウド跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久保市乙剣宮</li> <li>・市媛神社（住吉神社）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築関連の伝統の職人技</li> <li>・庭師などの職人技</li> <li>・建具引手、釘隠しなどの金物類</li> </ul>

1-4	1-5	1-6	1-7
金沢の近代化を示す歴史遺産群	金沢の茶の湯文化に関わる歴史遺産群	金沢の能楽文化に関わる歴史遺産群	加賀藩御細工所の工芸技術に関わる歴史遺産群
・卯辰山公園 ・都市公園 (中央公園、本多の森公園等)	—	・大野湊神社社叢 ・本多の森	—
・近世城下町の町割・地割・旧町名 (旧武士居住地、旧町人居住地、茶屋街)	—	—	・旧町名(職人町:象嵌町、白金町など)
・近世城下町の街路網	—	—	—
・寺津用水(発電、上水道利用) ・鞍月用水(工業用水利用)	—	—	・用水(染・和紙など)
・建築物 (軍事・政治・商工業関連) ・教会建築(聖靈病院聖堂等) ・社寺建築(尾山神社神門等) ・土木関連施設(橋梁、水門、浄水場等)	・茶室 (単体及び武士住宅、町家、近代和風建築の一部など)	・能舞台 (大野湊神社、中村神社拝殿、深谷温泉元湯、個人所有の能舞台など)	・町家(室内作業所を有したもの) ・卯辰山工芸工房、職人大学校など (伝統工芸技術の継承の場として) ・美術工芸品の収蔵・展示施設
・兼六園	・庭園(露地)	—	—
—	・尾張町界隈の茶の湯に関わる店舗群	—	・二俣地区(二俣和紙) ・箔団地(伝統技術の継承)
・倉谷鉱山跡	・仙叟宗室墓所(心月寺)	・宝生友千墓所(全性寺) ・観音院境内	・城下町の遺跡出土茶器類
—	—	・加賀宝生・謡・狂言 ・大野湊神社の寺中神事能	・加賀宝生・謡・狂言 ・加賀万歳 ・大野湊神社の寺中神事能
・建築図 ・古写真 ・商工便覧	・九谷焼・大桶焼 ・竹細工・加賀友禅 ・加賀刺繍・金沢漆器 ・和菓子(菓子木型)および販売店 ・茶の湯釜・金沢箔 ・加賀象嵌・金沢表具	・能楽美術館所蔵品 (能面、装束など) ・奉納絵馬	・百工比照 ・御細工所絵図 ・九谷焼・大桶焼・竹細工・加賀友禅 ・加賀刺繍・金沢漆器・菓子木型 ・茶の湯釜・金沢箔・加賀象嵌・加賀毛針 ・加賀竿・二俣和紙・銅羅・金沢和傘 ・加賀提灯・金沢表具
—	・茶の湯 ・華道	—	—
—	・茶の湯に関連する行事(初釜など)	・まい始め	・旧町名(職人町) ・針供養

## ■金沢市域の関連文化財群

No.	2	3	4
テーマ 1 <b>自然環境</b>	農耕文化に関わる歴史遺産群	古代の祭祀・信仰に関わる歴史遺産群	加賀一向一揆に関わる歴史遺産群
人と共生する自然環境	・神社社叢 ・屋敷林 ・ため池	・神社社叢 ・神木	・金沢城本丸跡(金沢御堂比定地)
<b>都市空間</b>			
土地利用	・既存集落 ・既存農地 ・耕地整理地 ・棚田	—	—
街道・街路		旧鶴来往還	・旧北国街道 ・その他の脇道(往還、山道など)
<b>施設・用水</b>			
	灌漑用水: ・河原市用水・小坂用水 ・寺津用水・鞍月用水 ・大野庄用水・長坂用水 ・泉用水・中村高畠用水	—	—
建造物	・農家住宅 ・土蔵 ・神社建築 ・水門 ・棚田の石垣	・白山神社 ・大野湊神社 ・西養寺	・寺院(本願寺金沢別院、二俣本泉寺、専光寺、大乗寺、伝燈寺、善性寺、慶覚寺など)
<b>庭園</b>	—	—	・二俣本泉寺九山八海の庭
<b>街並み・集落</b>	農村集落(安原地区、八田地区、森本山間地など)	—	・山間地集落(二俣・森本地区) ・平野部集落(木越、八田など)
<b>遺跡</b>	・西念・南新保遺跡 ・梅田B遺跡  ・東大寺領横江莊遺跡上荒屋遺跡 ・安原の耕地整理地	・チカモリ遺跡 ・三小牛ハバ遺跡 ・広坂遺跡 ・上荒屋遺跡 ・小坂古墳群 ・おまる塚・びわ塚古墳	・高尾城跡、御廟谷 ・蓮如上人墓(四十万) ・城跡(堅田城跡、松根城跡、柚木城跡など) ・寺院跡(吉藤専光寺、若松本泉寺、木越光徳寺・光専寺・光琳寺など) ・道場跡(砂子坂たらば跡)など ・龜田館跡(南森本)
<b>伝統文化</b>			
芸能	—	—	—
<b>美術工芸品</b>	・農書(農業図絵、耕稼春秋、耕作私記など) ・耕地整理事業完了記念奉納扁額	・金沢市埋蔵文化財センター及び金沢市埋蔵文化財収蔵庫収蔵品から関連する歴史資料 ・白山双六	・真宗関連の書籍・典籍 ・三帖和讚並正信念仏偈四帖(県指定)
<b>嗜み</b>	—	—	—
<b>民俗</b>	・田祭り、山祭り ・鍼鎌祭り ・秋祭り	・手たき清水(西養寺)	・蓮如忌 ・報恩講 ・盆墓参りの切籠(キリコ)献上

## 5

### 戸室石の採石と 利用に関わる歴史遺産群

- ・戸宝山
- ・キゴ山

- ・採石場
- ・山林

・石引道(戸室北端の丁場境～西麓斜面～別所～中山～田上～浅野川渡河～小立野台地～天徳院脇～石引町～金沢城内)

・辰巳用水(石樋)

・金沢城石垣  
・旧奥村家土塀石積  
・五輪塔(本性寺、高岸寺、波着寺墓地など)  
・石灯籠(小坂神社、椿原天満宮、神明宮など)  
・狛犬(豊国神社、椿原天満宮など)  
・敷石・礎石(本泉寺山門など)  
・寺院境内地(五輪塔、灯籠など)  
・手洗鉢(寺院・神社)  
・野田山墓地の墓石等

・兼六園(ことじ石灯籠、噴水、石樋)  
・庭石

・山間集落(戸室新保、俵、田島など)

・戸室石切丁場  
(※660haの範囲に1,345箇所が  
確認されている)

## 6

### 湊町の交易・物流に関わる 歴史遺産群

- ・河北潟
- ・大野川
- ・犀川
- ・浅野川
- ・防風林

- ・湊町の町割・地割

・旧北国街道  
・旧宮腰往還  
・旧粟崎道(浜往来)  
・大手道

・大野庄用水

・町家  
・近代建築  
・蔵(山車藏含む)  
・工場建築(醤油、製材など)  
・寺社建築(大野湊神社など)

・港湾集落(大野・金石地区)

・普正寺遺跡(中世港湾集落跡)  
・戸水C遺跡(古代国津)

・大野湊神社の寺中神事能

・戸室山初年号等留帳(後藤文庫)  
・河北郡戸室山開之事等留帳(後藤文庫)  
・穴生勤方帳(穴太政五郎氏旧蔵)

・宮腰町絵図  
・蓮湖真景之図  
・海運に関する記録など  
・記録帳など  
・北前船に関する資料など  
・木谷家文書  
・錢屋五兵衛関連史料

・石工道具

・栗崎八幡神社方奉納絵馬額面(有形民俗)  
・大野湊神社奉納行事  
・米上げ

# 第5章 歴史遺産保存活用の取り組み

## 5-1 指定文化財等

### (1) 指定件数

平成21年（2009）3月現在、金沢市の文化財は、国指定文化財60件、石川県指定文化財133件、金沢市指定文化財185件を数える。

市内には12件の国指定重要文化財（建造物）があり、建築年代は近世建築9件、近代建築3件である。また、9件（動物を除く）の国指定史跡名勝天然記念物があり、史跡4件のうち1件が城下町の中心であった金沢城跡であり、名勝2件のうち金沢を代表する歴史文化遺産である「兼六園」は特別名勝に指定されている。

また、国選定重要伝統的建造物群保存地区として2地区、「東山ひがし」と「主計町」が選定されている。

国指定重要無形文化財としては工芸技術の「蒔絵」、「銅鑼」、「彫金」が指定を受けている。その他、5件の国指定重要有形民俗文化財が指定され、この内4件が金箔製作用具、木地製作用具、手漉き和紙製作用具及び加賀象嵌製作用具であり、現在まで引き継がれる伝統工芸・技術と密接に関わる道具類である。

国登録有形文化財（建造物）は市内に52箇所88件が登録されており、建築年代は、近世建築25件、近代建築63件である。また、国登録記念物（名勝地関係）は1箇所1件登録されている。市内に石川県指定有形文化財（建造物）20件、市指定有形文化財（建造物）16件が指定されており、建築年代は、近世建築30件、近代建築6件である。また、県指定史跡名勝天然記念物9件、市指定記念物16件が指定されている。また、県指定無形文化財1件、市指定無形文化財2件が指定されている。さらに

県指定無形民俗文化財  
1件、市指定無形民俗文化財9件のほか、県指定有形民俗文化財1件、市指定有形民俗文化財4件が指定されている。

金沢市の独自条例である「金沢市における伝統環境の保存及び美

表5-1 金沢市における指定・登録文化財の内訳

区分		国指定	県指定	市指定	登録文化財	市独自条例	合計
有形文化財	建造物	12	20	17	88	78	215
	美術工芸品	29	101	137			267
無形文化財	工芸技術	3	1				4
	芸能			2			2
民俗文化財	有形	5	1	4			10
	無形			1	9		10
記念物	遺跡	4	2	8		1	15
	名勝地	2	4	4	1		11
	植物	2	3	4			9
	地質鉱物	1					1
伝統的建造物群		2					2
合計(件)		60	133	185	89	79	546

（平成21年3月31日現在）

しい景観の形成に関する条例」に基づく「保存対象物」34件が指定され、「金沢市こまちなみ保存条例」に基づく「こまちなみ保存建造物」45件が登録されている。

## (2)国指定、選定文化財の位置

小立野台地先端部には、「金沢城跡」（国指定史跡）と「兼六園」（国指定特別名勝）がある。旧金沢城内には「金沢城石川門ほか」、「金沢城三十間長屋」、「金沢城土蔵（鶴丸倉庫）」（いずれも国指定重要文化財〔建造物〕）、兼六園に隣接して「成巽閣」（国指定重要文化財〔建造物〕）、「成巽閣庭園」（国指定名勝）がある。また、これらの周囲には、旧城内にあった「尾崎神社本殿ほか」（国指定重要文化財〔建造物〕）、近代以降に建築された「尾山神社神門」、「旧第四高等中学校本館」、「旧金澤陸軍兵器支廠（石川県立歴史博物館）」（いずれも国指定重要文化財〔建造物〕）がある。

また、旧城下域の南郊に位置し加賀藩主前田家墓所（国指定史跡）のある野田山に連なる大乗寺山の中腹には、「大乗寺仏殿」（国指定重要文化財〔建造物〕）を中心とした大乗寺伽藍が残る。

近世から湯治場として知られた湯涌温泉では、代表的な金沢の町家のひとつである「旧松下家住宅」、「旧鯖波本陣石倉家住宅主屋ほか」（いずれも国指定重要文化財〔建造物〕）など金沢や北陸地方の文化財建造物が移築されている。

金沢の歴史的風致を形成する歴史的街並みの代表的なものとして、卯辰山山麓の浅野川右岸近くには「東山ひがし」（国選定重要伝統的建造物群保存地区）の街並みが残り、茶屋建築の典型である「志摩」（国指定重要文化財〔建造物〕）がある。また、浅野川大橋下流左岸に「主計町」（国選定重要伝統的建造物群保存地区）の街並みが残る。

藩政時代に形成された3寺院群の一つである寺町寺院群の松月寺には、大通り沿いの築地塀を越えて大きく道に張り出す「松月寺のサクラ」（国指定天然記念物）があり、兼六園側の旧県庁舎前の「堂形のシイノキ」（国指定天然記念物）は、広坂通りのシンボルとなっている。また、野田山に連なる大乗寺丘陵の南に位置する山科地内を流れる伏見川には、「山科の大桑層化石産地と甌穴」（国指定天然記念物）がある。

市街地西部の平野部に位置する新保本町地内には、縄文時代晩期の遺跡で、日本で初めて多数のクリの巨大木柱根が発見された「チカモリ遺跡」（国指定史跡）がある。また、チカモリ遺跡の西方に位置する上荒屋地内には、奈良・平安時代の莊園跡である「東大寺領横江莊遺跡上荒屋遺跡」（国指定史跡）がある。

## 5-2 金沢市の条例制度

金沢市のまちなみ保存の実質的取り組みは「武家屋敷群地区の土壙・門などの修復制度（昭和39年〔1964〕）」がその始まりであり、その後、昭和41年（1966）の「古都保存法」の制定をうけ、全国に先駆けて昭和43年（1968）に「金沢市伝統的環境保存条例」を制定した。古都保存法が日本の古都（奈良、京都、鎌倉）に限ってその風致の保存を図るための法律であるのに対し、伝統環境保存条例は地方都市において風致だけでなく歴史的な町並みを保存の対象としたことは、画期的なことであった。以来、独自条例を制定しながら各種補助事業を通じて伝統的建造物、用水、寺院群等の歴史遺産や斜面緑地など特徴的な自然景観の保全に取り組むとともに、歴史的な街並みの面的な保存を進めている。

さらに「文化的景観保存調査事業」、「歴史遺産保存活用マスタープラン」、「金澤町家継承・利活用活性化基本計画」（いずれも平成19年〔2007〕～）を策定し、包括的な歴史遺産の保存・継承・活用について取り組みを進めている。

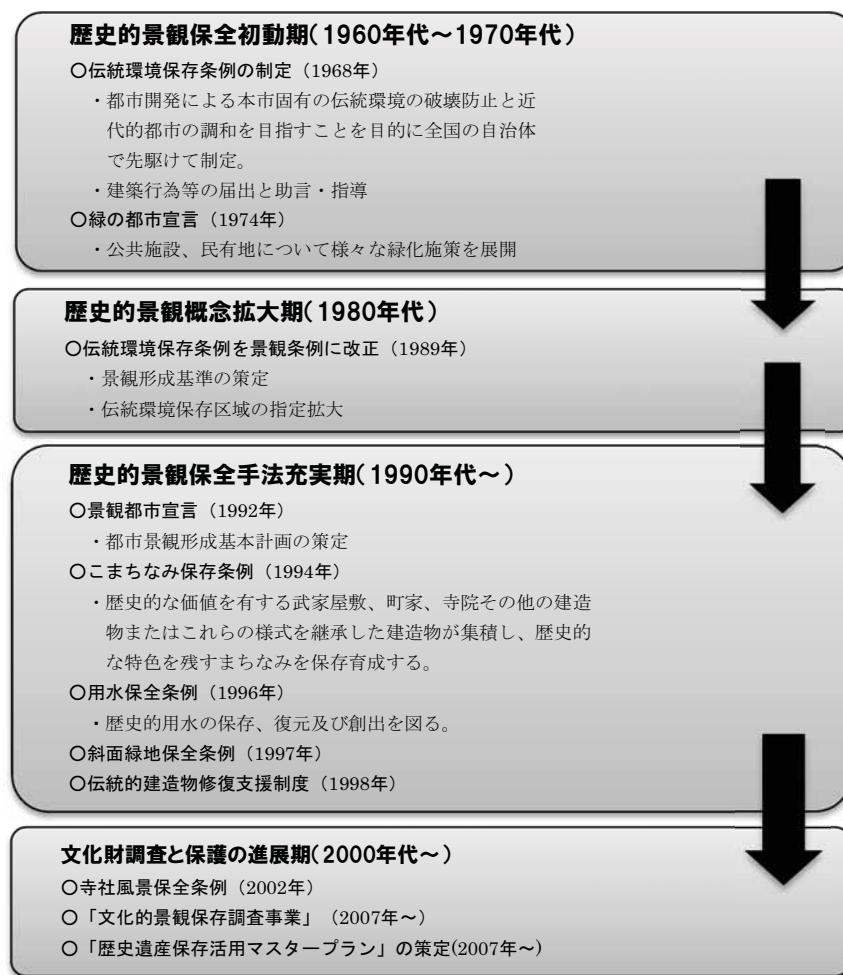


図 5-1 歴史的景観保全の取り組み

表 5-2 金沢市の都市施設年表（西村幸夫+町並み研究会『日本の風景計画』学芸出版社、平成 15 年）

年号	都市施策(条例)制定年度 開始年度	都市政策(事業・補助制度)	文化財保護関連	金沢市におけるその他の施策	市内部組織の改編	全国の動き
1949 S24	■金沢市文化財保存選奨条例			金沢市におけるその他の施策		
1952 S27	■長町武家屋敷群区域内の土塀・門等の修復・新設事業				文化財保護法制定	
1964 S39				■古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都保存法)		
1965 S40				■新都市計画法		
1966 S41				■食農市伝統美観保存条例		
1967 S42	■金沢市伝統環境保存条例				■伝統的建造物群保存制度(文化財保護法)	
1968 S43	■伝統環境保存区城内寺院土塀・門等の修復・新設事業補助制度(1980年同山門修理事業補助制度)				■京都府市街地景観条例	
1969 S44					■神戸市都市景観条例	
1970 S45				■緑の都市宣言」議決	■食農市伝統的建造物群保存条例	
1971 S46				■市域化推進要綱」策定		
1972 S47	■「金沢市地図」刊行				■伝統的建造物群保存制度(文化財保護法)	
1973 S48	■金沢市文化財保護条例			■旧東くるわ伝統的建造物群保存地区保存対策事業調査報告書		
1974 S49					■「緑の都市宣言」議決	
1975 S50					■市域化推進要綱」策定	
1976 S51	■金沢市伝統的建造物群保存地区保存条例				■伝統的建造物群保存制度(文化財保護法)	
1977 S52				■旧東くるわ伝統的建造物群保存地区保存対策事業調査報告書		
1978 S53					■金沢市文化賞創設(金沢経済同友会、青年会議所、商工会議所)	
1979 S54					■市保存樹・保谷樹林制変更設	
1980 S55					■歴史のまちしるべ標示事業開始	
1981 S56					■「緑のマスター・プラン」策定	
1982 S57					■「水と緑の再生計画」策定	
1983 S58		■伝統環境保存区城沿道修景(生垣・生木)			■地区計画制度(都市計画法)	
1984 S59		■事業補助制度				
1985 S60		■指定保存対象物支援制度(外觀修繕、1988年防災施設設置、防災構造補強)				
1986 S61						
1987 S62						
1988 S63	■金沢市における伝統環境の保存及び美しい景観の形成に関する条例(景観条例)					
1989 H1						
1990 H2	■金沢市伝統環境保存条例廃止					
1991 H3						
1992 H4						
1993 H5	■金沢市こまちなみ保存条例					
1994 H6						
1995 H7	■金沢市用水保全条例					
1996 H8	■金沢市屋外広告物条例					
1997 H9	■金沢市斜面綠地保全条例					
1998 H10						
1999 H11	■金沢市における市民参加によるまちづくりの推進に関する条例(まちづくり条例)					
2000 H12	■商業環境形成まちづくり条例					
2001 H13	■緑のまちづくり条例					
2002 H14	■金沢市の歴史的文化遺産である寺社等の風景の保全に関する条例(寺社風景保全条例)					
2003 H15	■防災都市整備条例					
2004 H16	■金沢市におけるまちづくりの推進に関する条例(沿道景観形成条例)					
2005 H17	■金沢市におけるまちづくりの推進に関する条例(交通規制条例)					
2006 H18	■金沢市におけるまちづくり空間の形成に関する条例(公共交通規制条例)					
2007 H19	■集合住宅におけるコミュニティ組織の形成の促進に関する条例					
2008 H20	■金沢市における地下水の適正な利用及び保全に関する条例					



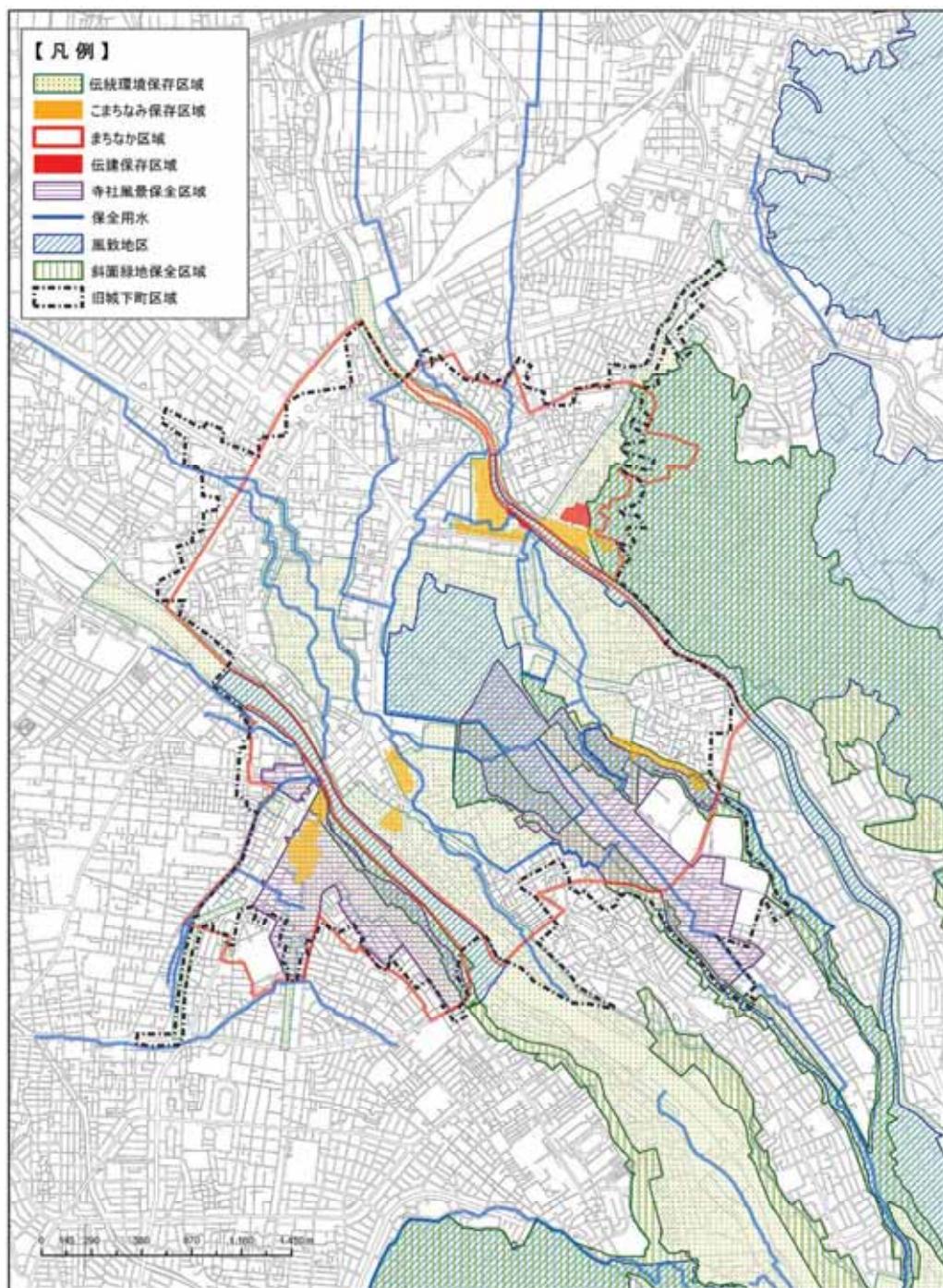


図 5-2 旧城下町区域とその周辺における条例保全区域（平成 19 年度現在）

金沢市では、これまでにまちづくりに関連して 22 の独自条例を制定してきた。このうち、金沢の歴史的建造物・景観の維持に関する条例は 8 つあり、上の図に示す旧城下町区域を中心に区域指定を行い、施策を展開している。

歴史的建造物や街並みを保存建造物や保存区域として定め、その保存のための規制・誘導や支援制度を実施しているほか、近世城下町の都市遺産である用水を保全するものや、風致地区、斜面緑地等金沢を特徴付ける自然景観の保全を図るものなど、多様な取り組みを進めている。

## 5-3 金沢市の歴史遺産保護の体制と活動

金沢市では、文化財の保護と一体となったまちづくりの推進を目指し、文化財保護行政とまちづくり行政との連携を強化するため、地方自治法第180条の7の規定に基づき、平成13年度より市教育委員会の権限に属する事務の一部を市長の事務部局の職員に補助執行させることとしている。具体的には、都市政策局長に文化財の保護に関する事務を補助執行させ、当該事務に関する決裁は都市政策局長に専決させることとしている。しかしながら、文化財の保護に関する事務のうち特に重要とされる下記の事案については教育委員会の決裁事項としている。

教育委員会の決裁事項である文化財保護に関する事務

①金沢市文化財保護条例に基づく次の事務

- ア. 市指定文化財の指定及びその保持者又は保持団体の認定に係る市文化財保護審議会への諮問
- イ. 市指定文化財の指定及びその保持者又は保持団体の認定
- ウ. 市指定文化財の指定の解除及びその保持者又は保持団体の認定の解除に係る市文化財保護審議会への諮問
- エ. 市指定文化財の指定の解除及びその保持者又は保持団体の認定の解除

②金沢市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく次の事務

- ア. 伝統的建造物群保存地区保存の保存に関する計画（以下「保存計画」という）の策定に係る市伝統的建造物群保存地区保存審議会（以下「保存審議会」という）への諮問
- イ. 保存計画の策定
- ウ. 保存計画の変更に係る保存審議会への諮問
- エ. 保存計画の変更

③文化財の保護に関する事務に係る教育委員会規則の制定又は改廃に関する事務

④文化財の保護に関する事務に係る法令及び条例に基づく教育委員会の所管に属する各種委員会等の委員の委嘱に関する事務

これらの事務のほか、補助執行に関する規則で都市政策局長が専決する文化財保護に関する事務のうちでも、特に重要であると認められるものについては教育委員会に諮らなければならないこととしている。

このように、金沢市では地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第14号の規定により教育委員会の職務権限とされる文化財の保護に関する事務について、根幹をなす事務を市教育委員会が処理することにより、その独立性を担保しながら市長部局で文化財保護行政を補助執行している。

また、組織としては、都市政策局内に文化財の保護・活用を担当する「歴史遺産保存部」を置き、文化財を含む市域の歴史的資産全般の保全、活用、整備並びに指導等に関する業務を行っている。また、歴史遺産保存部内に各分野の有識者を顧問とする「歴史遺産調査研究室」を設置し、市内の有形・無形の歴史文化遺産の情報の集積及び調査・研究を進めている。また、文化財保護とまちづくりの整合を図るため、歴史遺産保存部のほか都市計画課、景観政策課、土木部及び定住促進部など都市整備局の関連課を「まちづくりフロア」として一体的に集中配置することにより、関連課の部局横断的な連携の強化を図っている。

歴史遺産の保存に関わる事業活動としては、社団法人職人大学校の取り組みがある。本学は金沢市に残る伝統的で高度な職人の技を伝承するための人材育成を目的としており、資料収集や調査、文化財の修復等も行いながら歴史遺産と伝統技術の継承に様々なアプローチから取り組んでいる。寺院の土壠修理等、金沢市内外において修了生による修復事例も増えており、今後も活躍の場を広めていく予定である。

また、金沢市ではこれまで様々な文化財建造物の修復事業や調査、普及活用事業を行ってきた。金沢市の歴史的景観に関する条例の拡大期であった1980年代以降、伝統的建造物町並み調査や古建築詳細調査、寺院民俗調査、美術工芸品調査など、有形無形の歴史遺産に関する調査を実施してきた。また、伝統芸能伝習者の育成や地域伝承芸能の振興、文化財マップの作成、文化財愛護推進員の養成等、普及活動事業にも取り組んでいる。平成元年（1989）からは茶屋街まちなみ修景事業として、ひがし茶屋街、にし茶屋街、主計町茶屋街の歴史的建造物や新築修景、構造補強等を行っている。

伝統文化や芸術振興の面では、文学や工芸、芸能、歴史等、金沢ゆかりの様々な文化を伝える施設や活動組織が数多く設置されている。また、文化の振興に貢献した人物・団体等に対する顕彰制度も充実している。さらに、金沢卯辰山工芸工房や金沢美術工芸大学等、金沢の文化を次世代に伝える専門家の育成にも取り組んでいる。祭りや催事としては、金沢城公園や浅野川の河川敷、文化ホール等を利用したイベントが年間を通じて様々なに展開されている。



図5-3 文化財保護のための推進組織体制

表 5-3 金沢市内の伝統文化芸術振興の分類

項目	施設 (祭・催事は 開催される場所や施設)	活動組織	評価・顕彰制度
金沢の歴史と文化を知る	文学	・泉鏡花記念館 ・室生犀星記念館 ・徳田秋声記念館 ・金沢文芸館 ・金沢湯涌夢二館（周辺部）	・金沢文学会  ・泉鏡花文学賞 ・泉鏡花記念金沢市民文学賞 ・泉鏡花記念金沢戯曲大賞 ・金沢文芸館 ・あすなろ青春文学賞 ・日本海文学賞
	工芸	・クラフト広坂 ・伝統産業工芸館 ・金沢市立安江金箔工芸館 ・金沢卯辰山工芸工房 ・金沢湯涌創作の森（周辺部） ・金沢市牧山ガラス工房（周辺部） ・金沢市おしがはら工房（周辺部）	・金沢芸術創造財団 ・石川県芸術文化協会 ・(財)宗桂会（加賀象嵌の保存、普及） ・希少伝統産業専門塾  ・金沢市伝統産業貢献者表彰 ・金沢市匠の技職人表彰 ・宗桂会賞 ・金沢卯辰山工芸工房賞 ・伝統工芸展 ・世界工芸展 ・世界工芸コンペティション ・伝統加賀友禅工芸展覧会
	美術	・金沢21世紀美術館 ・石川県立美術館 ・金沢市立中村記念美術館	・現代美術展  ・石川県美術文化協会 ・金沢芸術創造財団 ・石川県芸術文化協会
	芸能	・県立能楽堂 ・金沢能楽美術館 ・歌劇座 ・金沢市文化ホール ・金沢市アートホール ・金沢市民芸術村 ・香林坊ハーバー	・北國芸能賞 ・北陸中日芸能文化賞  ・金沢芸術創造財団 ・石川県美術文化協会（芸能） ・加賀万歳保存会 ・金沢能楽会 ・金沢市素戔子保存会 ・加賀宝生子ども塾 ・金沢素戔子子ども塾 ・百万石薪能 ・金沢市民芸術村アクションプラン
	歴史	・県立歴史博物館 ・石川四高記念文化交流館 ・玉川図書館近世資料館 ・金沢市足軽資料館 ・ふるさと像人館 ・前田土佐守家資料館 ・金沢蓄音器館 ・くらしの博物館 ・老舗記念館 ・成巽閣 ・寺島藏人邸跡 ・藩老本多藏品館 ・西茶屋資料館 ・町民文化館 ・金沢市埋蔵文化財収蔵庫（周辺部） ・石川県銭屋五兵衛記念館（周辺部） ・大野からくり記念館（周辺部）	・金沢市文化財保護審議会 ・金沢文化振興財団 ・かみざわ歴史情報バンク ・石川考古学研究会 ・ボランティアガイド「まいどさん」  ・金沢市文化賞 ・金沢市文化活動賞
	文化一般		・各団体（美術・音楽・演劇・文芸・能楽・邦楽・舞踊・民謡・茶道・華道など） ・いしかわミュージックアカデミー（コンサート部門） ・金沢料理職人塾  ・金沢市文化賞 ・金沢市文化活動賞 ・金沢の菓子料理名工賞 ・横浜記念金沢の文化創生財団 ・金沢市音楽コンクール ・北国文化賞 ・石川テレビ賞 ・百万石菓子百工展
	教育施設 (学校)	・金沢美術工芸大学 ・金沢卯辰山工芸工房 ・金沢職人大学校	・金沢の技と芸の人づくり奨励金  ・金沢美術工芸大学 (工芸学科・陶磁・漆・木工・鋳金、彫鍛金、染織) ・金沢卯辰山工芸工房 (陶芸・漆芸・染・金工・ガラス) ・金沢職人大学校 (石工・瓦・左官・造園・大工・墨・建具・板金・表具)
	祭・催事	・金沢城公園 ・金沢駅～金沢城公園（道路） ・兼六園 ・中央公園 ・浅野川 ・寺院 ・金沢市役所前広場 ・金沢市文化ホール	・右記開催に伴う組織・団体  ・百万石まつり ・史跡コンサートeAT KANAZAWA (エレクトロニックアートの祭典) ・国際交流まつり ・フードビア金沢浅の川園遊会 ・兼六園大茶会 ・eAT KANAZAWA名人賞 ・eATアワード ・金沢泉鏡花フェスティバル

※ 本表は金沢市内における伝統文化芸術振興の一部を表記したものである（金沢市文化芸術振興プランより抜粋）

## 5-4 市民活動の状況

金沢市と市民との協働による取り組みは、昭和 60 年（1985）以降、「金沢世界都市構想」の中核として市政づくりの一環を担ってきた。平成 15 年（1993）には、「金沢世界都市構想」の枠組みの中から「金沢まちづくり市民研究機構」（以下市民研究機構）が発足し、平成 20 年度現在では第 6 期の活動が進行中である。平成 20 年度は「金沢魅力発信行動年」と位置付け金沢の魅力を世界へと発信することを目指しており、平成 17 年度からは研究成果の一部が金沢市の事業として実現している。

### ①金沢まちづくり市民研究機構の活動

市民研究機構は金沢市に事務局が設置されており、指名任命された機構長のもと毎年 8～9 件の研究テーマが一般公募で選出され、テーマごとに公募された市民研究員約 10 名を選考し、テーマ毎に学識経験者のディレクターを設置して年度ごとに研究を行う仕組みとなっている。これまでの研究成果は、年 1 回の研究発表会とホームページ等を通じて公開されている。市民研究機構の研究では多岐に亘る調査が行われており、従来の行政主体の体制に市民独自の発想力が加わることで、広い視点に立った計画の立案が実現している。

市民研究機構の目標は市民等が主体的に参加し、世界都市金沢の実現に向け、地域にあった個性豊かで創造的な政策研究を行うことにある。研究テーマについては、公私協働のもと取り組むべき身近な課題や、将来の都市のあり様にも関わるような事項である。

右の表 5-4 は研究機構が掲げる研究テーマの基本となる 5 分野であるが、これまでの 6 カ年に選出されてきたテーマをこの 5 分野に分類して一覧にしたものが表 5-5 となる。これまでのテーマをみると、共通の問題を違う分野から検討している傾向がみられる。近年では各地域コミュニティ

の中で問題を共有する個人、あるいは特定の団体や機関の個別の活動を繋げ、個別の力を増幅させることで、より大きな効果を生み出せることを提唱する報告がなされている。連携についての研究は各分野で行われており、課題に対してそれ

表 5-4 市民研究機構基本研究分野

- |   |
|---|
| ①金沢世界都市戦略・世界の<br>都市政策交流研究部門               |
| ②「まちづくりの総合戦略」<br>政策統合研究部門                 |
| ③内発的発展・地域経済政策<br>研究部門                     |
| ④「知識文化創造都市」・<br>教育・健康・医療・福祉の<br>金沢モデル研究部門 |
| ⑤「サステイナブル・金沢」<br>環境戦略研究部門                 |

ぞれの分野でどのような取り組み方が考えられるかが検討されている。

中でも、第5期の5A『金沢における地域コミュニティの再生と活性化』の報告書では、それまでの調査結果を踏襲し、コミュニティの課題の特定にも至り、提案の絞込みにまで至っている。興味深いのはアートを活かしたまちづくりというアプローチをしていた研究グループも、アート中心の発想ではあるが、同様の提案に至っていることである。一つは物理的に情報やサービスが集中している「協働センター」や「アートセンター・オルタナティブ」の存在である。

また同じように情報の一極化を求める声はネットワークの構築を望むもので、これはいずれの分野からもあがっている。中でも第5期5Fグループの「アートグミ」は平成22年度4月からNPOによる本格運用(予定)にまで至っている。防災や福祉ネットワークの構築も内容が徐々に固まりつつあり、これらのネットワーク一つ一つが機能的にリンクすることが望まれている。市民研究機構において、現代社会が抱える問題を様々な見地から研究した結果として提唱された「連携」というキーワードは、歴史遺産をとりまく現状にも通じる問題であるといえる。

表5-5 市民研究機構における研究テーマの分類

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
金沢世界都市戦略・世界の都市政策交流研究部門	情報化社会を実感できるまちづくり(2)～誰もが住みやすいバリエース・ストレッサーな金沢をめざして～	情報化社会を実感できるまちづくり(2)～誰もが住みやすいバリエース・ストレッサーな金沢をめざして～	金沢アート創造計画～金沢からユニークなアートを提案する～	北陸新幹線の開業を見据えた金沢型クリエイティブ産業の振興～現代アート・ファッション都市・金沢～	外国人にとって魅力があり来訪しやすい国際観光都市金沢を考える	国際観光都市を意識した「まちなみ」など金沢の魅力発信
「まちづくりの総合戦略」政策統合研究部門	金沢箱をまちづくりに生かすためのデザイン研究	世界都市としての金澤らしさの創出	金沢世界都市に置けるIT革新した産業未来像の探求	金沢の文化を世界に発信するためのネットワークの構築	世界都市金沢の実現に向けた多文化共生の推進	新幹線と共に進む「多文化共生」社会の実現
内発的発展・地域経済政策研究部門	金沢創造産業を考える (2)～経済と文化的融合を目指して～	金沢創造産業による都市再生～新幹線開業をみえたまちづくり～	金沢アートセンター計画	金沢における地域コミュニティの再生と活性化	伝統都市金沢における災害に強いまちづくり～防災・減災を中心とした初期消火のあり方～	新幹線時代に向けた金沢型コミュニティ活動の発展と地域の活性化
「知識文化創造都市」・教育・健康・医療・福祉の金沢モデル研究部門	文化財としての橋等の調査研究	金沢コミュニティーを活かした福祉と教育の連携	市民による金沢文化の継承と発展～地域における文化体験学習・教育を考え～	知識社会への情報戦略と産業政策	障害のある人の就労環境整備	新旧の文化芸術情報を集積した「金沢アートマップ」の研究
「サステナブル・金沢」環境戦略研究部門	金沢コミュニケーション研究	金沢無煙環境づくり	無煙環境都市、金沢をめざして	人と自然にやさしいまちづくり「シバクサイ」を目指して～安全で快適な自転車交通と自然エネルギーの研究～	脱マイカーのための金沢版ライフスタイルの研究	金沢版脱マイカーライフ実現のための快適都市交通の研究
	金沢「環境都市」構想	金沢「環境都市」構想(2)	これからのライフスタイル(暮らし方)の創造～省エネと経済の両立を目指した「まちづくり」と交通政策	金沢型「エコロジー税制」による経済的波及効果の研究	交通のエコ化による環境先進都市の研究	

## ②金沢市のまちづくりの現状

現在活動しているまちづくりに関係すると考えられる主な団体の活動状況を研究報告書、活動報告書、インターネット上に公開されている情報を元に総合的な検討を行った。金沢市の市民活動の活動内容や分野を見ると、歴史遺産を活用することの重要性を市民も一定レベルまで認識しており、多くの活動団体が金沢の歴史や文化を活かすことを前提として活動している。また、市民の関心は歴史遺産以外の多分野にも向けられていることが窺えた。一方、資金協力について呼びかけや、活動団体同士の横のつながり、協働体制の構築については発達途上の面も見受けられる。市民研究機構の多くの報告の中で、「協働」や「連携」の必要性が強く訴えられていることからも分かるように、情報の拠点となる場所や、活動を継続していくためのサポートが強く求められている。



図 5-4 金沢市のまちづくりに関連する主な団体と活動テーマの整理

### ③ボランティアの現状

金沢では一般の生涯学習気運も上昇傾向にあり、複数の市民研究機構報告書から確認できる。その中でも特に歴史や古文書、伝統的なものへの学習意欲が高いことがわかっている。こうした幅広い知識層にボランティアとして参加してもらう必要性も既に検討されており、平成6年（1994）からは、金沢市の肝いりではじめられた社団法人金沢ボランティア大学校が開校し、15期を数えるまでに成長している。ボランティア大学の授業は国際化を意識したもので、活動内容の充実化やボランティアをシステムとして定着させようという観点に力を注がれている。

市民研究機構第3期にある「『金沢らしさ』の具体化に関する研究」の序文に研究チームが「追及してきた『らしさ』とは心の問題であり、『まちづくり』というハードの問題で論ずることは難しい」（3Aグループ「金沢らしさの具体化に関する研究」平成18年〔2006〕10月p.A1）とあるが、研究テーマやその成果を概観すると、まちづくりの要素となるものは、全てが「意識」、「感覚」、「心」、「共通理念」、「共有体験」、「特定の事実と交錯したある時間」といったかたちにならないものの集合体であることが浮き彫りとなってくる。今後求められるものは、個々の活動の間をつなぐ連携の輪であり、活動を相互に共有化していく環境づくりであるといえる。



市民研究機構によるフィールドワーク



市民研究機構の活動風景

ハード

ソフト



## 6-2 歴史遺産保存活用の視点

### 1 多様な歴史遺産を幅広く把握する

金沢の歴史遺産の現状を見ると、指定または登録されて文化財として広く知られている歴史遺産のほか、住民が身近な地域で守り伝えてきた多様な歴史遺産がある。兼六園や金沢城などの歴史遺産は指定文化財として保護され、金沢をイメージさせる重要な歴史遺産となっている一方、地域の歴史を物語る遺産は、種類や価値もきわめて多様



道端の祠

である。例えば、地域の人たちが大切にしてきた小さな祠や湧き水、親から子へと伝えられてきた土地にまつわる言い伝え、名前の付いた坂道などがこれにあたる。地域の個性として息づくこのような歴史遺産は、生活の中に溶け込むかたちで存在しているため見過ごされやすいが、その存在は指定文化財など限られた歴史遺産と同様に金沢らしさを形成する重要な要素といえる。

金沢に培われてきた文化と歴史は、このような現状の価値付けの枠を超えた多様な歴史遺産の存在が明らかになることによって、その独自性がより明確になると考えられる。守り育てるべき金沢の歴史遺産の多様性を認識し、それらを地域住民と共に丹念に拾い上げ、幅広く把握する取り組みが必要である。

### 2 物語としての歴史遺産に光を当てる

金沢には各時代の多様な歴史遺産が分布している。特に、近世以降の有形文化財が現在も数多く残り、関連する歴史資料も豊富なことから、様々な分野で調査・研究が行われ、当時の金沢の社会状況や都市構造などが明らかにされてきた。一方、原始から中世の歴史遺産はそのほとんどが埋蔵文化財であり、歴史資料も少ないことから、その実像は発掘調査など断片的な範囲で明らかになった事実を総合して推定されている。このため、近世以降の歴史遺産が鮮明なかたちで語られるのに比べ、中世以前のものは明確に語られる機会が少ないので現状である。しかしながら、中世以前の金沢の歴史には時代や地域で大きな特徴が見られ、市域に広く分布する歴史遺産をいくつかの「歴史のストーリー」として整理すると、それぞれの歴史遺産が存在する意味が際立ってくる。また、金沢の代表的な歴史遺産である近世城下町の歴史遺産群が、近代以降の歴史遺産群と共に現在の都市空間が形成されているだけでなく、中世以前の歴史とその遺産の上に成立し、その価値が明らかになることにより、金沢の歴史的重層性により厚みが増すことになる。

「歴史のストーリー」の中で歴史遺産を読み解くことにより、金沢の歴史遺産に新たな価値を見い出し、評価していくことが必要である。

### 3 空間的まとまりとして歴史遺産を捉える

金沢市はこれまで文化財保護制度による歴史遺産の保護に加え、市独自条例による単体及び面的な歴史遺産の保護を図ってきた。特に、面的保護に関しては、自然を含む歴史的な環境を金沢の伝統環境と広く位置付けてその保全に努めるとともに、旧武士居住地や旧町人居住地など、その歴史的、空間的特徴に価値を置いた保全施策を進めてきた。その結果、都市開発の進む中心市街地において、保存と開発を区分けした歴史的環境の保全に成果を挙げてきた。しかしながら、これらの取り組みは本来その地域の歴史や文化を建造物などと一体で示している無形の歴史遺産は対象としておらず、加えて価値付けのない建造物等の歴史遺産は近年減少傾向にあり、各地域の歴史性やコミュニティの繋がりが薄れ、今日まで受け継がれてきた歴史的な雰囲気が失われる可能性が高くなっている。

これまでの「貴重な文化財とその周辺環境を保全する」視点に「無形の歴史遺産や未指定の歴史遺産を含めた空間的なまとまりを貴重な『生きた文化財』として保全する」視点を加え、金沢の歴史遺産を保存活用していくことが重要である。

### 4 多角的に歴史遺産の理解を深める

金沢市ではこれまで、歴史、自然環境、建築、都市計画、考古学、民俗学等、様々な分野の調査・研究が大学、行政などによって行われてきた。これらの調査・研究の成果には、金沢の今後のまちづくりに必要となる重要な視点や提言が含まれており、異なる分野の調査・研究の成果が活発に交換されることにより新たな知見が得られ、広くその理解が深まることが大いに期待できる。しかしながら、現状では調査・研究の全ての成果を新たな研究の種として簡単に活かせる仕組みが不十分である。



金沢まちづくり市民研究機構による  
調査の様子

金沢の知的財産であるこれまでの調査・研究の成果について、誰もが活用しやすい仕組みを構築し、その活用を通して多角的に金沢の歴史遺産に関する理解を深めていくことが重要である。

### 5 地域や生活に根ざした歴史遺産のあり方を考える

金沢市はこれまで行政が主体となって多様な歴史遺産の保護に務めてきたが、保護の対象となる歴史遺産は一定の価値付けをされたものに限られている。それ

ら以外の、地域や住民の生活に根ざした歴史遺産について、今後求められるのは「文化財を総合的に把握する」視点であり、「社会全体で文化財を継承していく」体制づくりである。

多様な歴史遺産に光を当てて地域の魅力として再評価する作業や、文化財の本質を捉えて未来に伝えていく人材を育成していくためには、関連する諸活動の活発化やその支援の強化が必要不可欠である。

### 6-3 基本方針

以下の2つを歴史遺産保存活用の基本方針とする。

#### 1 幅広い視野と多様な価値観で歴史遺産を捉え、保存活用を通して 「金沢らしさ」を際立たせる

- ①中世以前の歴史遺産の顕在化を図ることにより、金沢の歴史的重層性を深く捉え、市域全体としての歴史のストーリーを見出す。
- ②「個々の文化財とその周辺環境を保全する」という従来の観点に加え、「旧城下町区域全体を『生きた文化財』として保全する」観点を加え、市街地全体の歴史的風致の価値を踏まえた保全を目指す。
- ③「文化的景観」の観点から旧城下町区域の価値を評価し、歴史的建造物と伝統文化を一体として捉え、文化財として保存活用していくための施策を講じる。

#### 2 各主体の活動・成果の情報を共有し、協働で歴史遺産の保存・活用・継承に取り組む

- ①これまでに蓄積してきた多くの貴重な研究成果と資料の情報を共有化し、積極的に有効活用できる仕組みづくりを行う。
- ②文化財保護法や条例による行政主導の継続的な保存体制に加え、歴史遺産に関する市民の理解や地域の自発的な活動を促し、歴史遺産保存活用のための幅広い協力体制を築いていく。
- ③地域住民による活発なまちづくり活動が広く歴史遺産の保存活用にも拡大していくことを目指す。

## 「協働」のあり方

行政と市民等の協働体制については、それぞれの活動の責任の所在を明らかにしながら効率的に進めることが重要である。図のように、活動内容や規模、目的に応じて協働のかたちには様々なあり方が考えられ、適切な役割分担を行っていく必要がある。

市民、企業、教育研究機関（以下市民等）  
などが主体的に活動する

市民等の主体的な活動に対し、行政が支  
援を行う

市民等と行政が対等な立場で活動する

行政の率先的な活動に対し、市民等が協  
力・参加する

行政が単独で率先的に活動する



図 6-2 歴史遺産保存活用における協働のイメージ

## 6-4 個別方針と実現化の方策

### (1) 調査・研究の充実

#### 【個別方針】

金沢固有の歴史遺産に関する調査・研究を通して現状を把握し、その本質的価値や普遍的価値を明らかにする。多様な研究活動を相互に支援するとともに、その成果をまちづくりや各種事業に反映するため、積極的に公開する。

#### 【実現化の方策】

##### ① 「金沢歴史都市学(仮称)」の調査・研究

歴史遺産の研究は、歴史学・考古学・美術史学・建築学・造園学・民俗学など学術的観点からのアプローチに加え、校下や町会単位、市民有志で行われる地域史・郷土史研究など様々な角度から行われており、これらの活動を通じて金沢の歴史遺産に関する多様な資料や情報が蓄積されてきた。このような金沢の地域に根ざした様々な分野の調査・研究を、「金沢らしさを明確にし・際立たせるための活動」と位置づけ、歴史遺産に関する総合的な調査・研究として推進する。この調査・研究においては、学術研究機関、行政、市民活動など様々な活動組織が密接に連携し、その成果を「金沢歴史都市学（仮称）」として体系化していく。

##### ② 調査研究成果のデータベース化

金沢の歴史遺産に関する調査研究成果についてデータベースを作成し、誰もが簡単に閲覧できるシステムを整備する。図書館や歴史遺産調査研究室との連携により、研究内容を閲覧できる場所づくりもあわせて行う。また、「金沢歴史都市学（仮称）」に関連するテーマの研究論文を幅広く収集するとともに、専門家、市民、まちづくり団体等に研究論文を募集し、年報としてまとめ刊行していく。「金沢歴史都市学（仮称）」年報を若手の研究者や市民など幅広い研究や提案の受け皿とし、調査研究の蓄積と研究活動のさらなる活性化を図る。

### ③ 埋蔵文化財調査等の拡充

金沢の成り立ちを知るための直接的手がかりとして、埋蔵文化財調査等の拡充を行う。特に金沢の中心市街地は旧城下町区域であり、古代・中世の遺跡に加え近世城下町に関する重要な遺構が重層的に包蔵されている。金沢市ではこれまで開発に伴う発掘調査を実施してきたが、今後は城下町形成の全容を把握するため、旧城下町区域を埋蔵文化財包蔵地として位置付け、調査を進めていく必要がある。歴史を活かしたまちづくりを推進する上で各種事業を歴史や文化に裏づけされたものとして実施するために、埋蔵文化財調査を適切に実施していくことが求められる。また、価値の明らかにされていない多様な歴史遺産については、今後さらに悉皆的な調査や詳細調査を継続的に実施し、残存状況の把握や価値の顕在化を図る。



発掘風景



泉用水取水口（未指定）

### ④ 金沢ゆかりの文化財・歴史資料の収集、保存

金沢は非戦災都市のため、旧家など市民が所蔵する多くの歴史資料や有形文化財が残されている。これら金沢ゆかりの歴史資料や文化財の散逸を防ぐため、その存在や価値を明らかにし、その保存を図っていく。また、過去に散逸した金沢ゆかりの文化財や歴史資料についても、広くその収集・保存に努める。

### ⑤ 歴史都市としての研究の推進

金沢の歴史都市としての価値やその独自性について、国内に限らず国際的な見地からの比較研究に取り組む。例えば、日本の城下町研究や海外の城塞都市との学術的な比較研究、歴史都市で実践されている保存手法やまちづくり等の事例研究等、金沢の歴史都市としてのあり方を多方面から探ることが考えられる。また、これらの研究テーマについて、国内外の研究者が参加するシンポジウムを開催するなど、国際的な歴史都市としてあるべき姿の認識を深めていくものとする。



金沢城下絵図  
(文政 13 年、大友佐泰家蔵)

## (2)文化財保護の対象拡大と保存管理

### 【個別方針】

文化財の指定・選定・登録を進めるとともにその保存管理を適切に行う。また、多種多様な歴史遺産の価値に対応するため、従来の保護施策を補完する制度も検討し、さらに幅広い歴史遺産の保護を推進する。

### 【実現化の方策】

#### ①文化財保護の推進

文化財として価値の認められるものについて、継続して指定・選定・登録を推進する。近年、金沢の文化財調査や指定等については、世界遺産登録運動の動向とともに近世城下町の加賀藩に関連する遺跡や歴史的な建造物、街並みなどを中心に重点的に進められてきた。具体的には主計町の重要伝統的建造物群保存地区選定、金沢城跡及び加賀藩主前田家墓所の国史跡指定、惣構跡の市史跡指定が行われた。また現在、辰巳用水の国史跡指定や卯辰山山麓寺院群の重要伝統的建造物群保存地区選定を目指した調査、城下町金沢の文化的景観の重要な景観選定を目指した保存調査が実施されている。

今後、これらの取り組みに加え旧城下町周辺地域における歴史遺産の指定・登録を推進し、市域全体としての文化財保護を推進する。なお、金沢市独自の条例により指定されている保存建造物等については、価値の再評価を行い必要に応じて文化財指定や登録を進める。



整備された惣構跡（市指定史跡）

#### ②保存管理計画の作成

文化財の保存は、その根幹を成す本質的価値を次世代へ確実に伝えていくことになり、個別に保存管理計画を作成することが重要である。保存管理計画は、指定文化財に関して個々の文化財が有する本質的価値と、規模・形態・性質などの現状に応じて、所有者又は管理団体が本質的な価値を確実に守るための保存・管理のあり方を検討し、必要なことがらを定めるものであり、日常的な管理の指針、

整備・活用の指針、運営体制の整備が計画の大きな柱となる。また、その内容は幅広い調査研究の成果を基礎とし、法的、行政的、技術的分野に及ぶ。

金沢の指定文化財に関して、その所有者や管理団体と協議・検討しながら順次保存管理計画の作成を進める必要がある。重要伝統的建造物群保存地区については、選定に先立ち地区の保存計画を定めているが、必要に応じてその計画の見直しを行う。

### ③「金沢歴史遺産登録制度(仮称)」の検討

金沢の歴史的風致を一体となって構成する要素の中で、生活に溶け込むように存在し見過ごされやすい要素があることに着目し、これらに対する新たな登録制度を検討する。この制度は埋蔵文化財包蔵地（周知の遺跡）と同様に取り扱うものとし、地域の目立たない歴史遺産を金沢の歴史遺産として登録することにより、その存在を周知し価値を認識する機会とし、気づかれずに滅失していく状況を抑制するとともにその保存活用について地域の関心を高めることを目的とする。

登録の対象は、例えば旧城下町区域内の段丘崖に作られた坂道や、戦前までに整備された用水取入口や橋などの近代土木遺産、石碑や祠、さらには地域住民のコミュニティとなっている広見など、従来はあまり文化財として認識されていない要素を幅広く含めていく。

#### 「金沢歴史遺産登録制度(仮称)」の仕組み

金沢市内の未指定歴史遺産の悉皆調査の実施

一定の価値を有するものを登録台帳に記載

台帳に記載された歴史遺産の所有者に告知

現地に表示板を設置し、周知を図る

取り壊しや大規模な改修等、外観を著しく変更する場合、  
その内容について事前協議を行う

## **④文化財の防災対策**

文化財の保存に必要な日常の管理は、所有者または管理者による実施が基本であるが、文化財はかけがいのないものであり、その防災については地域ぐるみで取り組む必要がある。

また、文化財の防災意識を高めるため、所有者、管理者、地域住民、消防署による防災訓練を定期的に行う。また、すべての文化財（建造物）に対して防災施設の設置・更新を進め、火災被害の軽減を図る。さらに、文化財（建造物）の耐震診断も推進し、修理工事等にあわせ耐震補強を進めていく。

## **⑤収蔵施設の整備**

有形文化財（美術品）や民俗文化財（有形）等の歴史遺産の保存に関しては、適切な規模と設備を有する収蔵施設の整備が重要である。文化財は温湿度や紫外線、虫害などによって劣化が進むことから、その価値の損失を防ぐために保存環境の整った収蔵施設の整備を図る。また、埋蔵文化財の発掘調査による出土遺物は今後も増えることが予想され、必要となる規模の収蔵場所の確保について検討が必要である。

### (3)真実性を重視した保存手法・修復技術の適用

#### 【個別方針】

文化財の本質的価値を維持するための技術的措置として、真実性を重視した保存手法・修復技術を正しく理解し、適用していく。また、文化財の修理については、関係機関との連携を図りながら必要な支援を行う。

#### 【実現化の方策】

##### ①保存手法の記録と材料の確保

伝統文化の保存と継承を図るため、希少となった伝統工芸や技能については、作品やその製作過程についての記録作成を行う。

伝統技能の後継者を育成し、金沢に伝わる高度な技術・技法の継承を図るとともに、入手が困難になっている材料の確保にも努める。

##### ②修復事例の検証と修復技術の向上

近年の修景工事が行われた歴史遺産については、構造形式や材料について検証を行うとともに、必要に応じて今後の修理で伝統構法（工法）に基づく適切な修復を行うよう努める。また、助言・指導を行うアドバイザーの育成やガイドラインの整備を行う。

さらに、防災の観点からの新しい保存技術の適用や、修復技術の類例研究など、歴史遺産に対する修復技術の向上を図る。

##### ③歴史的建築物の移築に関する取り扱い

歴史的建造物の保護は原則として本来あった場所での保存が最も望ましいが、やむを得ず移築する場合は慎重な取り扱いが必要である。例えば、武士住宅を移築する場合、旧足軽屋敷や旧平士級屋敷といったその建物本来の歴史的な格式や規模と土地の歴史的文脈や空間的秩序が合致する移築先を選定するなど十分な検討が必要である。

## (4)保存整備・活用事業の実施

### 【個別方針】

歴史遺産を市民が身近に接する機会を増やすことにより、歴史遺産に対する関心を高めていく。また、歴史遺産の本質的価値や魅力を快適で分かりやすく伝えるために、案内解説、体験活動（ソフト）と施設整備（ハード）の総合的な充実を図る。

### 【実現化の方策】

#### ①歴史遺産の公開

指定・登録有形文化財の期間限定の公開、発掘調査の現場公開、歴史的建築物のイベント等での利用、関連文化財群のテーマ別の公開事業の企画等、金沢の歴史遺産を様々な方法で公開する機会を増やすことにより、市民の歴史遺産に対する関心を高めるとともにその認識を深める。イベント等の参加者に対してイベントの感想や印象についてアンケート調査を行い、その結果を新たな企画に反映させる。また、企業や民間団体による公開事業も推奨し、歴史遺産活用の機会を広げていく。



『町家巡遊 08 ひと・わざ・暮らしの町家展』  
(主催：NPO 法人金澤町家研究会／金沢市)

#### ②整備事業の推進

金沢の歴史的景観の質を高める整備事業を積極的に推進する。そのため、歴史的風致維持向上計画に基づく文化財及びその周辺環境の各種整備事業の推進を図る。この計画では「金沢城公園事業」「本多の森公園事業」など石川県の実施する事業のほか、「土清水塩硝蔵跡」の整備や市街地内の惣構堀・枱形の整備が予定されているが、これらの整備は復元的手法を用いた整備としており、発掘調査の成果や関連史料に基づく厳密な検討を行った上で設計に反映させることとしている。

また、歴史遺産を解説する説明板には、正確かつ解りやすい表現を用いるとともに、外国語表記など表記内容に関する基本ルールを設定し、統一性のあるかたちでの情報提供に努める。



国史跡に設置された説明板。

市内の歴史遺産に対する説明板の内容表現の統一性（英文併記の方法や、パンフレットとの連携など）を持たせることは重要。

### **③歴史・文化施設の振興**

金沢には泉鏡花記念館、室生犀星記念館、ふるさと偉人館、能楽美術館、くらしの博物館など金沢の歴史・伝統文化を知るための施設が数多くあり、市民が気軽に利用できる茶室も充実している。金沢の歴史や伝統文化を後世に伝えていく場として、このような歴史・文化施設の振興を図る。企画展示や公開講座などを通じて施設の魅力を高め、市民が愛着のもてる施設としてより積極的に活用されるよう努める。

### **④まちづくり・文化的観光との連携**

まちづくりや観光関連の事業と連携し、歴史遺産を回遊するルートを整備するとともに、来訪者の利便性を高めるための駐輪場整備等を進める。また、本マスタープランで設定する関連文化財群を基本として、地域の歴史や文化を活かしたまちづくり活動を推進する。

多数の市民が参加し、見学者が多く集まる「百万石まつり」や「金沢まち博」などのイベントに合わせ、茶室を活用した茶会や文化財の公開事業を実施するなど、歴史遺産活用について観光事業との積極的な連携を図る。

## (5)周辺環境の一体的な保全・整備

### 【個別方針】

歴史遺産と一体となった周辺環境の保全・整備を図る。歴史遺産が存在する背景となる自然環境や都市空間は、歴史遺産の成立と密接に関わる重要な要素であり、歴史遺産と周辺環境を一体のものとして捉え、その保全・整備を図ることにより、金沢の歴史的文脈や地域の個性を際立たせる。

### 【実現化の方策】

#### ①良好な景観形成を目指した関連施策との連携

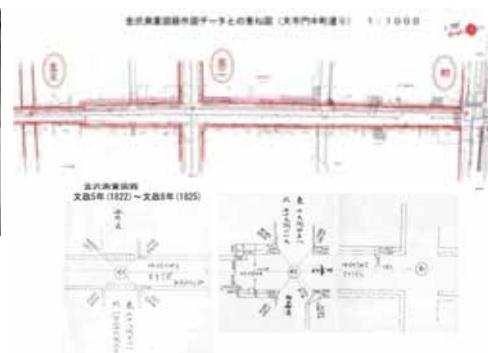
歴史遺産をとりまく周辺環境は多様な要素で構成されており、歴史遺産の価値や魅力が損なわれないように保全を図る。周辺環境は、景観法、都市計画法及び市条例に基づき規制、誘導による保全を図るとともに、必要に応じて高さ規制の見直し、屋外広告物の規制拡大、歴史遺産の文脈に基づく保全眺望点の維持・拡大の検討を行う。

#### ②歴史遺産を生かした整備

歴史遺産の価値を際立たせ地域の魅力として発信していくため、歴史遺産を生かした周辺環境の整備を行い、周辺環境と歴史遺産の一体化に努める。整備においては、埋蔵文化財調査の結果や歴史史料に基づく計画を基本とし、その地域の歴史を十分に理解し、計画に反映していくことを目指す。



大正期の大野庄用水の取水口と橋がセットで残る例  
歴史遺産の関係性を意識した街路整備を行うことで、歴史的なストーリーを顕在化することが可能となる。



金沢測量図籍（文政期）と現況を重ねることによつて、江戸時代の大手道の復員・形状が現況道路に継承されていることがわかり、街路整備の際に当時の計画性を反映させる重要な根拠となる。

### ③デザインの質の向上

歴史遺産に関する整備事業の実施にあたり、公共施設のデザインの質の向上に努める。歴史遺産の本質的価値と現状を考慮しながら、より質の高い空間づくりを進める。

安易に和風の形態を模倣することは、本来の街並みの文脈や魅力を損なう場合がある。新設する施設の規模や位置、色調、素材の決定に際しては、歴史遺産との調和を図り、新たな歴史の重層性を生み出すことを目標とする。専門家やデザイナーの登用、あるいはコンペティションの実施等も考慮し、高い水準のデザインを検討するよう努める。特に、旧城下町区域については、景観計画と連携して建築物や工作物の新築や修景に関する景観ガイドラインを作成するなど、区域全体のデザインの調和と向上を図るものとする。



鞍月用水に架かる近代の小橋  
近世だけでなく近代のデザインにも評価できる例が多い。



都市インフラに関するデザインも留意すべき要素である。



浅野川大橋に整備された照明  
当時の素材・形状の反映や、夜間時の演出性も合わせて考慮することで、橋の魅力がよりひき立つ。



### ④人と共生する自然環境の維持と管理

歴史遺産の背景あるいは歴史遺産そのものとして見ることのできる樹木や公園、緑地、里山などの自然環境を維持管理することにより、スカイラインや背景としての眺望など、広域的な歴史的景観の保全に努める。風致地区条例や斜面緑地保全条例による規制、誘導に加え、市域に分布する個々の自然を歴史遺産の重要な構成要素として特性を生かした保護を図る。

## (6)人材育成

### 【個別方針】

歴史遺産に関する学習機会を提供し、地域学習を進めることにより、金沢に根ざした郷土を愛する人づくりを行う。また、歴史遺産の保存活用に関わる専門的人材の育成を図るとともにその活動を支援する。

### 【実現化の方策】

#### ①子どもたちの学習機会の充実

学校における総合学習の時間などを通じて、地域の歴史や自然環境、歴史遺産、景観など幅広い視点から子どもたちが金沢を学ぶ機会を充実する。子どもたちの原風景となる自分たちの住むまちへの関心や愛着を豊かに育むため、分かりやすい授業や教材づくりに努める。

現在、金沢市埋蔵文化財センター職員が市内の小学校へ出向き、遺物見学、勾玉づくりや火起こし体験を通じて地域の歴史と埋蔵文化財について児童に直接講義を行う「歴史ふれあい講座」、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動である「子ども歴史探検隊」などの事業を実施おり、今後も継続して行っていく。また、「加賀宝生子ども塾」、「金沢素囃子子ども塾」、「金沢工芸子ども塾」など、金沢の伝統芸能や美術工芸の技能伝承体験プログラムについても、今後継続しながら次世代に継承する人材を育てていく。



「こども金沢市史」  
子ども達に分かりやすく  
金沢市の歴史を伝えるよ  
う編纂されている。

#### ②生涯学習の機会の提供

金沢の歴史遺産に関する様々なテーマを生涯学習の場で市民が気軽に学べる機会を提供する。地域住民の主体的活動である「市民ふるさと歴史研究会」など意欲的に地域学習を継続する市民団体の自主的活動を支援する。また、歴史遺産に関連する講座やシンポジウムなどを継続して開催し、歴史遺産に対する関心を高めていく。



市民向けに開催された  
歴史遺産シンポジウムの様子

### ③伝統技能者の育成

有形・無形の歴史遺産を次世代に継承するため、歴史遺産に関わる専門的な人材育成を積極的に進めていく。これまで金沢市は職人大学校、卯辰山工芸工房を設置し、高度な伝統技能が習得できる環境を整えている。今後も引き続き技能者を育成するとともに、歴史遺産の保存修復に関して実践的に技能の向上を図るため、関連する事業の現場との連携や、内外の技術支援に関する情報交換を積極的に図る。



卯辰山工芸工房

### ④市民参加の拡大

歴史遺産の保存活用において、市民と行政の連携が重要である。調査・研究やまちづくり、観光、各種イベントなど様々なテーマにおいて市民の意見・発想を広く求め、歴史遺産の保存活用に生かすことが求められる。また、NPO 法人などの民間団体や地域住民と連携することにより、歴史遺産活用の可能性が大きく広がることが期待される。歴史遺産と市民参加の関わり方として、すでに市内の観光案内を行うボランティアガイド「まいどさん」のほか、金沢城・兼六園専属のガイド、外国語対応のガイドなど、様々なボランティアガイドが組織されているが、金沢の歴史遺産の魅力を直接伝えるガイドの重要性を認識し、定期的な研修の充実を図り、観光サービスの側面から金沢の歴史遺産に関する情報を広く普及していく。このほか、地域の文化財に興味を持つ市民を対象に、一定期間の研修を経て文化財ボランティアとして文化財調査や行事に参加してもらう文化財愛護推進員制度や、金沢まちづくり市民研究機構などの活動が現在行われており、今後も市民主体の活動の支援拡大を進めていく。

### ⑤顕彰制度の導入

歴史遺産の保存活用に貢献した市民や、一定の成果をおさめたプロジェクトを実施した市民団体等に対しその功績を顕彰する。顕彰の機会を通して市民の歴史遺産への関心を高めるとともに、歴史遺産保存活用の活動水準を高めていくことを目標とする。

## (7)活動支援・連携体制の整備

### 【個別方針】

市民団体や専門家、行政が一体となった歴史遺産の保存活用に関わる仕組みづくりを進め、地域活動の活性化を促進する。地域と協働して貴重な歴史遺産を守り伝える「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の整備を図る。

### 【実現化の方策】

#### ①活動支援の充実

市民有志やまちづくり団体による、歴史遺産の保存活用に関わる取り組みを支援するため、専門家の参加支援や、諸活動に対する支援制度の充実を図る。

地域コミュニティの活性化を促進する事業として、本マスタープランで設定した関連文化財群を基本に、歴史遺産を広域的に保存活用していく制度の創設を検討する。創設にあたって、平成18年（2006）に制定した「金沢市における広見等のコミュニティ空間の保存及び活用に関する条例」（以下「コミュニティ空間条例」という）を参考に、以下のような体制を構築する。コミュニティ空間条例では、市民の連帯感や地域社会への関心が希薄となる中、広見や寺社の境内等の昔ながらの空間を保存・再生し活用することによって、コミュニティの活性化を図り次世代に空間を継承していくことを目的としている。関連文化財群を利用した保存活用制度は、一定の空間や地域に限らず、歴史遺産を介して地域の相互交流や保存活用等の活動の活発化を促すことを目指すものとする。

このほか、「旧町名復活事業」や「コミュニティ空間保全事業」を積極的に活用し、歴史遺産を保存活用する地域団体等の支援を図る。

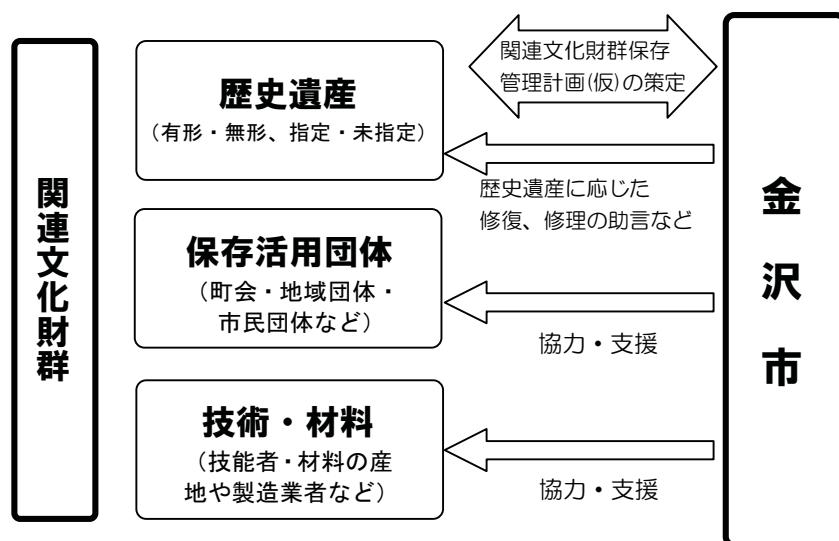


図 6-3 関連文化財群の保存活用制度（案）の流れ

## **②運営協議会の設立**

歴史遺産の保存活用に取り組む市民団体や町会代表と専門家が、それぞれの現状を報告し、課題を議論する協議会組織の設置を検討する。協議会はシンポジウムなどを主催し、活動内容を直接市民に公表する機会を設定する。また、協議会において参加者同士の意見交換や交流を深めることにより、共通の課題や改善点を見極め、新たな企画づくりに反映させていく。

## **③歴史遺産保護に関する寄付の促進**

歴史遺産の保護にあたっては、助成金や補助金などの公的資金だけでなく、民間から募る寄付の体制作りが求められる。また、集めた寄付を有効に活用し、歴史遺産に対する様々な支援を可能とする受け皿となる窓口の創設を検討する。個人からの寄付については、ウェブ上で気軽に寄付のできるシステムの導入や、保存活用に係るイベント等での関連グッズ販売による寄付など、様々な寄付のあり方を考えていく必要がある。また、寄付に対する理解を深めるため、経済団体や民間に対する周知・広報も行っていく。

## (8)関連情報の発信

### 【個別方針】

インターネットや書籍等を活用し、歴史遺産に対する適切な情報を発信する。また、歴史遺産に関するまちづくり活動や観光情報を提供することにより、歴史学習や地域活動の円滑化を図るとともに歴史都市金沢を国内外に広く発信する。

### 【実現化の方策】

#### ①情報発信の拠点づくり

個別の研究成果、発掘調査の結果に基づく成果や歴史資料となる古写真集など収集された歴史遺産に関する様々な情報は、市民をはじめ広く発信できるよう適切な整理が必要である。(1)～(7)で述べた一連の歴史遺産の調査研究、文化財指定、整備事業、活用事業等についての様々な情報を一元化し、発信できる拠点づくりを進める。

当面、歴史遺産調査研究室がその役割を担うものとするが、将来的に市民活動と連携した拡張について検討する。市民との協働による「まちづくりセンター」の機能に、歴史遺産の情報発信機能を加えていくことを検討する。

#### ②インターネットホームページの充実

金沢の魅力を、国内のみならず世界に発信するため、インターネットの活用を推進する。指定文化財の概要、歴史遺産リストや研究論文リストなどデータベース化された情報のほか、機関誌の掲載などを行い、あわせて現地見学会やイベントの開催情報について速やかな公開に努める。歴史遺産の調査研究やまちづくり活動、基金活動など、多様な人がそれぞれの目的に応じて必要な情報を得るための窓口としてホームページの機能を充実させていく。また、日本に关心を寄せる海外の人たちに向けたインターネットによる情報発信は、金沢のPRに有効な手段であり、国際化を進める窓口として重要であるため、今後、英文による観光情報や歴史遺産の調査研究情報の紹介、伝統文化の紹介の充実を図る。



金沢市のホームページの例

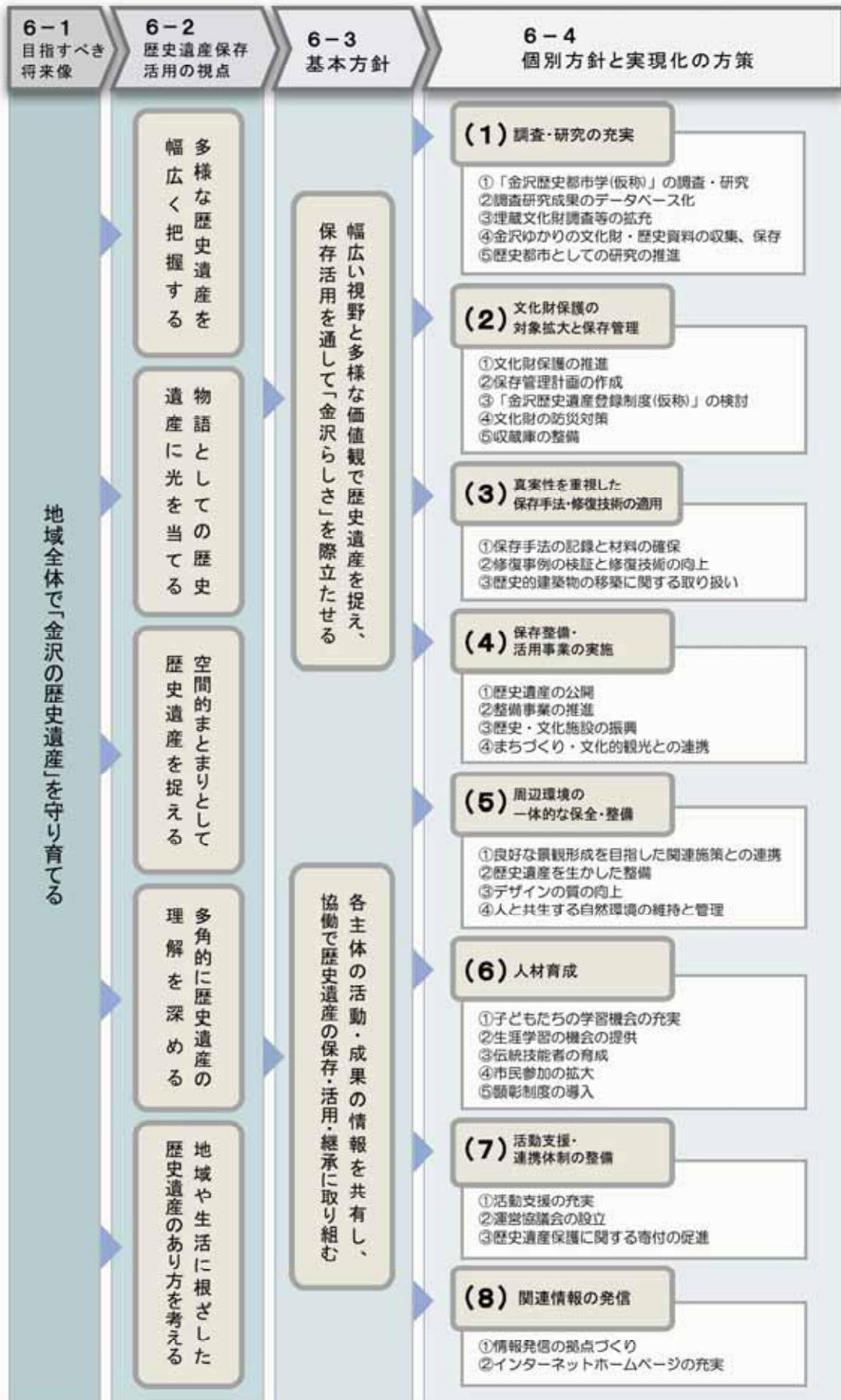


図 6-4 歴史遺産保存活用における基本構想の枠組み

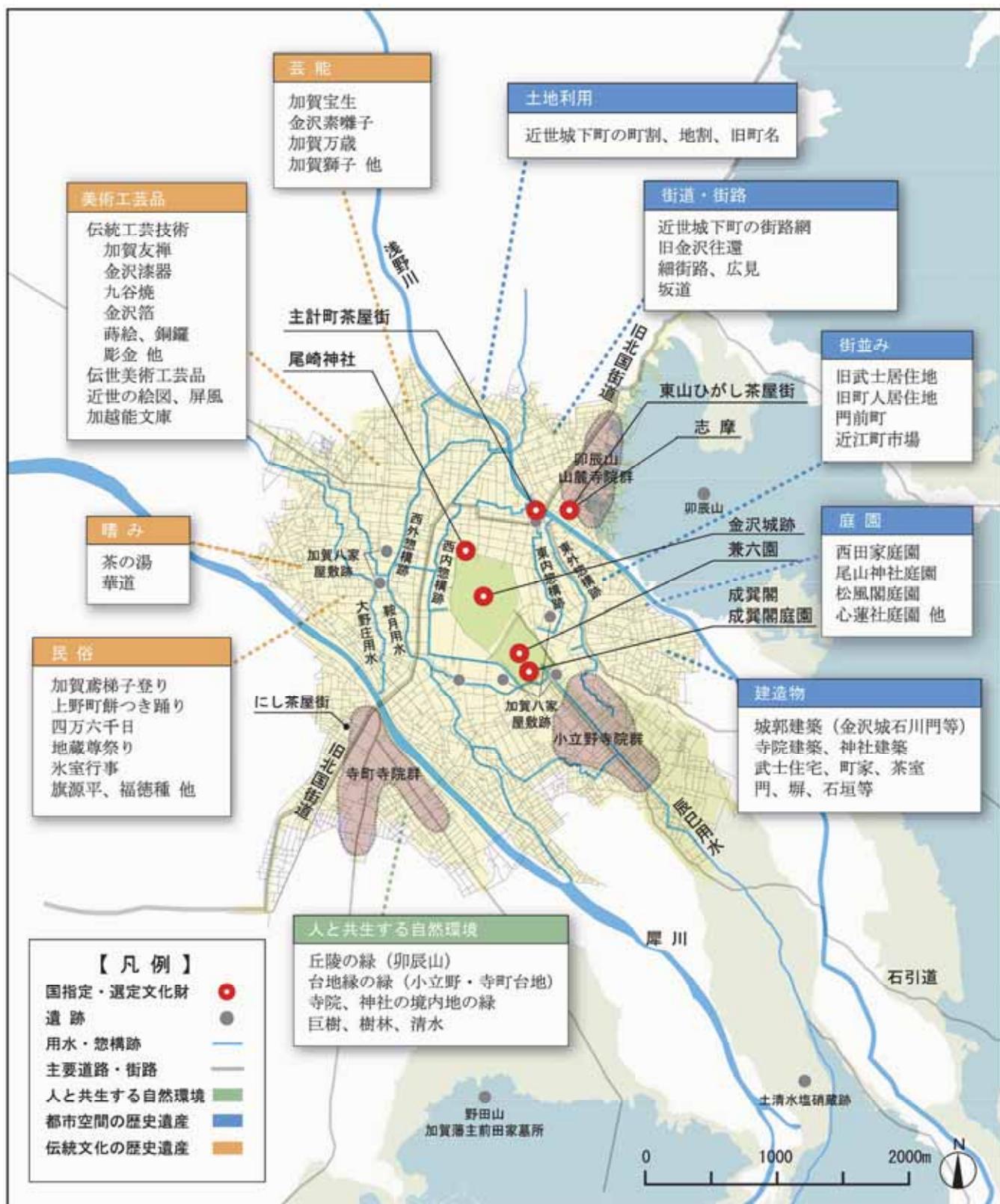
## 6-5 歴史文化保存活用区域の設定

第4章で提示した関連文化財群のうち、「旧金沢城下町の都市構造と歴史遺産群」については、構成する歴史遺産に国指定（選定）文化財が多く含まれており、また構成する歴史遺産は現在の中心市街地（旧城下町区域）に集中していることが特徴となっている。さらに、「旧金沢城下町の都市構造と歴史遺産群」のテーマのもと、多様な文化財の保存活用の取り組みを展開することが可能であり、中心市街地における市民参加の機会も多いと考えられる。

以上のことから、中心市街地（旧城下町区域）を中心とした範囲を「歴史文化保存活用区域」に設定し、今後「旧金沢城下町の都市構造と歴史遺産群」をテーマに、文化財と一体となって価値をなす文化的な空間を創出するための区域として保存活用の推進を積極的に図るものとする。

歴史文化保存活用区域を設定する中心市街地には、中世寺内町を起源とする近世城下町の都市構造が現在も良好に残り、その核となる金沢城跡・兼六園は国の史跡、特別名勝として保護されており、さらに城下町を基盤とする現在の市街地についても重要文化的景観の選定を目指した検討を進めている。今後は、金沢市の中心市街地について、文化財と一体となって価値をなす城下町としての環境を保全するため、景観計画・都市計画マスターplanなどの各種関連計画、金沢市の独自条例による文化財の周辺環境の規制を効果的に活用するとともに、文化財自体の魅力を高めるような整備活用事業を積極的に実施していくものとする。

なお、金沢市は平成20年（2008）11月に施行された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき「金沢市歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成21年（2009）1月に国の認定を受けた。「歴史的風致維持向上計画」において、この歴史文化保存活用区域を含む区域を重点区域として設定し、歴史的風致の維持向上を図るための整備事業を計画している。



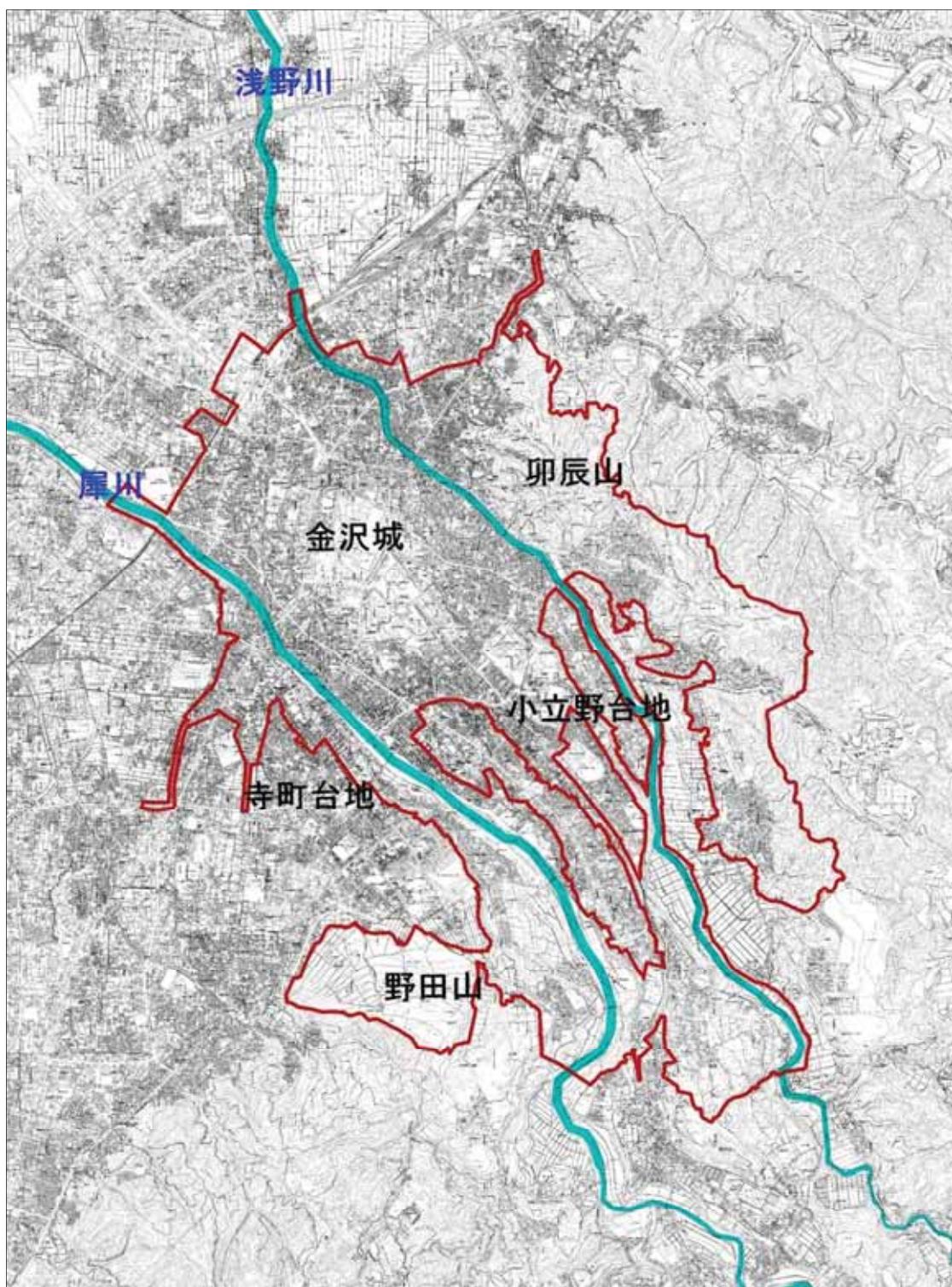


図 6-6 金沢市歴史的風致維持向上計画で定める重点区域「金沢城下町区域」  
(出典: 金沢市『金沢市歴史的風致維持向上計画』平成 20 年)

表 6-1 歴史的風致維持向上計画における事業計画

事業名	～H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30～
■都市公園事業											
・金沢城公園整備事業	(H7- )◆							(H7-26)			
・本多の森公園整備事業	(H20- )◆			(H20-22)							
■道路事業											
潤いの道づくり事業											
・大手門中町通り整備事業		◆		(H16-21)							
・玉川公園周辺整備事業			◆			(H23-24)					
・大野庄用水沿い整備事業				◆	(H22-23)						
・安江町界隈整備事業					◆	(H23-24)					
・旧鶴来街道(県道～六斗広見)修景整備事業						◆			(H25-27)		
歴史の坂路修景事業											
・蛤坂(旧鶴来街道)修景整備事業							◆	(H25)			
寺院群散策路修景整備事業											
・にしう茶屋街～寺町連絡路修景整備事業	◆						(H20-24)				
・宗龍寺前(心の道)修景整備事業							◆	(H25)			
こまちなみ道路修景事業											
・旧新町通り修景整備事業							◆			(H26-28)	
・浅野川風情の道路整備事業								◆			(H27-29)
■無電柱化事業											
・大手門中町通り整備事業	◆			(H18-21)							
・金沢城お堀通り(橋場・若宮線)無電柱化事業	◆					(H21-24)					
・玉川公園周辺整備事業		◆				(H23-24)					
・旧鶴来街道(蛤坂)修景整備事業			◆				(H24-25)				
・旧鶴来街道(県道～六斗広見)修景整備事業				◆							(H25-28)
・ひがし茶屋街(重伝建地区内)無電柱化事業					◆						(H25-27)
・尾山神社参道無電柱化事業						◆					
・木倉町通り無電柱化事業				◆			(H23-25)				
・中央通り口(大野庄用水沿い)整備事業					◆						
・香林坊(国道～北国新聞横)無電柱化事業						◆	(H24)				
・香林坊109裏(鞍月用水沿い)無電柱化事業							(H23-24)				
・袋町地内無電柱化事業								◆	(H22-25)		
■急構堀復元整備事業											
・西内急構堀(緑水苑)復元事業	◆				(H20-21)						
・西外急構堀(升形)復元事業	◆					(H20-23)					
・西外急構堀(玉川公園横)復元事業		◆					(H22-24)				
・まちなみ辰巳用水(西外急構堀)再生事業			◆				(H23-24)				
■その他歴史的風致の維持向上施設の整備事業											
・観光駐輪場整備事業					◆		(H21-22)				
・東山ひがし防災拠点広場整備事業						◆	(H20-21)				
・旧江戸村施設移転整備事業	(H12- )◆										
・「土清水塩硝蔵跡」復元整備事業											
・野田山墓地整備事業											
・安江金箔工芸館移転整備事業											
・本多町歴史文化ゾーン整備事業											
・桜橋詰・寺町台界隈整備事業											
・おすすめ観光ルート案内事業											
■農業用排水施設の整備に関する事業											
・長坂用水整備事業											
・大野庄用水整備事業											
・鞍月用水整備事業											
■歴史的建造物修復事業											
・伝統的建造物修復事業				(H10- )◆							
・まちなみ保存事業				(H6- )◆							
・寺院等土壇山門修復事業				(S45- )◆							
・武家屋敷敷土壇等整備事業				(S39- )◆							
・かなざわ町家継承・活用促進事業				(H20- )◆							
・茶屋街まちなみ修景事業				(H1- )◆							
・文化財保存助成事業				(S24- )◆							
・県指定文化財助成事業				(S26- )◆							
・沿道修景事業				(S58- )◆							
・斜面緑地育成事業				(H12- )◆							
・屋外広告物撤去補助事業				(H8- )◆							
・文化財ボランティア活動支援事業				(H20- )◆							
■伝統行事の開催、実施事業											
・第60回金沢「百万石まつり」								(H23)			
・伝統産業技術研修者育成事業				(H8- )◆							
・金沢市職人工房開設費補助事業				(H10- )◆							
・加賀宝生子ども塾事業				(H14- )◆							
・金沢素襷子ども塾事業				(H17- )◆							
・金沢芸子ども塾事業				(H20- )◆							
・金沢お茶室活用推進事業				(H20- )◆							
・旧町名復活事業				(H11- )◆							
・コミュニティ空間保全活用事業				(H18- )◆							



## **資料　歴史遺産リスト**

**< 指定・登録文化財等 >**

## ■指定・登録文化財

区分	種別	名称	所有者等	所在地	指定年月日
国指定文化財	重要文化財 建造物	国宝 工芸品 色絵雉香炉 仁清作	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和26年 6月 9日
		尾崎神社 本殿附厨子・中門・透塀・拝殿及び幣殿附棟札三枚	尾崎神社	丸の内5-5	昭和25年 8月 29日
		尾山神社神門 附棟札一枚	宗教法人 尾山神社	尾山町11-1	昭和25年 8月 29日
		金沢城石川門 表門・表門北方太鼓扉・表門南方太鼓扉・櫓門・続櫓・櫓・附属左方太鼓扉・附属右方太鼓扉	文部科学省	丸の内	昭和25年 8月 29日
		成巽閣 附棟札一枚	財团法人 成巽閣	兼六町1-2	昭和25年 8月 29日
		金沢城三十間長屋	文部科学省	丸の内71	昭和32年 6月 18日
		旧第四高等中学校本館	文部科学省	広坂2-2-25 (市)石川近代文学館	昭和44年 3月 12日
		旧松下家住宅	金沢市	湯涌町へ19	昭和46年12月 28日
		旧鮎波本陣石倉家住宅主屋・土蔵・馬屋・表門	金沢市	湯涌町へ19	昭和46年12月 28日
		大乗寺仏殿 附棟札一枚	宗教法人 大乗寺	長坂町ル10	昭和58年6月 2日
	重要文化財 美術工芸品	旧金澤陸軍兵器支廠 旧第五號兵器庫・旧第六號兵器庫・旧第七號兵器庫	石川県	出羽町3-1 石川県立博物館	平成 2年 9月 11日
		志摩	個人	東山1-13-21	平成15年12月 25日
		金沢城土蔵(鶴丸倉庫)	石川県	丸の内71-18	平成20年6月 9日
		絵画 紙本著色阿弥陀三尊来迎図	心蓮社	奈良市登大路町50 奈良国立博物館	昭和25年 8月 29日
		紙本著色三十六歌仙切 (朝忠)佐竹家伝来	個人	東山	昭和25年 8月 29日
		紙本著色三十六歌仙切 (忠視)佐竹家伝来	個人	十間町	昭和25年 8月 29日
		紙本墨画西湖図 弘治九年閏三月十三日の年記	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和25年 8月 29日
		紙本著色四季耕作図六曲屏風 久隅守景筆	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和42年 6月 15日
		彫刻 銅造阿弥陀如来坐像	宗教法人 伏見寺	寺町5-5-28	昭和25年 8月 29日
	重要文化財 書籍・典籍	蒔絵朱鞘大小 刀中身無銘 伝前田利家所用	宗教法人 尾山神社	尾山町11-1	昭和25年 8月 29日
		色絵梅花図平水指 仁清作	石川県	出羽町2-1	昭和25年 8月 29日
		陶製茶碗 銘筒井筒	個人	石引	昭和25年 8月 29日
		秋野蒔絵硯箱	個人	十間町	昭和27年 3月 29日
		染付竜文花生(白衣)	個人	芳斎町	昭和46年 6月 22日
		能装束 緑地桐鳳凰文唐織	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和49年 6月 8日
		備前矢筈口耳付水指	学校法人 北陸大学	太陽が丘1-1	昭和60年 6月 6日
		色絵雉雄香炉 仁清作	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和40年 5月 29日
		和歌浦蒔絵見台	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成10年 6月 30日
		手鑑 後鳥羽天皇宸記 以下二百一葉	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	昭和25年 8月 29日
	考古資料	三代嗣法書	宗教法人 大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和25年 8月 29日
		韶州曹溪山六祖師壇経 紙背仮名消息	宗教法人 大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和25年 8月 29日
		仏果碧巖破闕鑿節 上下(一夜碧巖集)	宗教法人 大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和25年 8月 29日
		紙本文那禪利図式(寺伝五山十刹図) 二巻	宗教法人 大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和25年 8月 29日
		紺紙金字法華經第四 平清盛・賴盛筆附蒔絵經管一合	個人	十間町	昭和25年 8月 29日
		紙本墨書作庭記	個人	十間町	昭和25年 8月 29日
		紙本墨書恵慶集 下 附同書上(烏丸光宏等四人筆)	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	昭和25年 8月 29日
		平目地蒔絵文様管	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	昭和25年 8月 29日
		紙本墨書後深草天皇宸翰御消息(九月十八日御花押)	個人	長町	昭和25年 8月 29日
		夢窓疎石墨蹟 側語 貞和五年歲余前二日	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	昭和36年 2月 17日
	重要無形文化財	羅漢供養講式稿本断簡 道元筆	宗教法人 大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和41年 6月 11日
		埴輪 犬 群馬県佐波郡境町大字 上武士天神山古墳出土	個人	石引	昭和33年 2月 8日
	工芸技術	埴輪 男子立像 群馬県 佐波郡境町大字上武士天神山古墳出土	個人	石引	昭和33年 3月 25日
		蒔絵	大場 松魚	森山1-22-14	指定 昭和30年 2月 15日 認定 昭和57年 4月 20日
		銅鑼	三代 魚住 為楽	長町1-7-14	指定 平成14年 7月 8日 認定 平成14年 7月 8日
	重要有形民俗文化財	彫金	中川 衛	入江2-397	指定 昭和53年 4月 16日 認定 平成16年 9月 2日
		金沢の金箔製作用具	金沢市	金沢市	昭和46年12月15日
		北陸地方の木地製作用具	金沢市	金沢市	昭和46年12月15日
		加賀の手漉和紙の製作用具及び民家	金沢市	金沢市	昭和46年12月15日
		加賀象嵌製作用具	金沢市	金沢市	昭和46年12月15日
	記念物	真成寺奉納産育信仰資料	宗教法人真成寺	東山2-25-73	昭和57年4月21日
		チカラモリ遺跡	金沢市	新保本5-47	昭和62年2月23日
		東大寺領横江荘遺跡 上荒屋遺跡	金沢市	上荒屋7-73	平成18年7月28日
		金沢城跡	石川県	丸の内71-18他25筆	平成20年2月12日
		加賀藩主前田家墓所	個人	金沢市野田町野田山1-1他3筆	平成21年2月12日
	天然記念物	兼六園	石川県	兼六町1-1	昭和60年 3月 20日
		名勝 成巽閣庭園	財团法人成巽閣	兼六町1-2	昭和 4年 4月 2日
		山科の大桑層化石産地と甌穴	金沢市	山科町	昭和 16年 1月 27日
		松月寺のサクランボ	宗教法人松月寺	寺町5-5-22	昭和18年 8月 24日
	国選定	堂形のシイノキ	石川県	広坂2-1-1	昭和18年 8月 24日
		東山ひがし重要伝統的建造物群保存地区	-	東山1丁目	平成13年11月14日
		主計町重要伝統的建造物群保存地区	-	主計町	平成20年 6月 9日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
県指定文化財	有形文化財 建造物	成巽閣煎茶席三華亭	(財)成巽閣	兼六町1-2	昭和38年 7月 3日
		旧高田家住宅	金沢市	湯涌町～19	昭和47年 1月25日
		旧山川家住宅 主屋・土蔵	金沢市	湯涌町～19	昭和47年 1月25日
		成巽閣辰巳長屋	(財)成巽閣	兼六町1-2	昭和48年 2月 5日
		旧平家住宅	金沢市	湯涌町～19	昭和50年10月 7日
		元金沢貯蓄銀行(旧北陸銀行尾張町支店)	石川県	尾張町1-11-8	昭和51年 9月21日
		城南荘(旧横山邸)居宅 他1棟	石川県	広坂1-8-19	昭和54年12月19日
		大乗寺法堂(含祖堂)	大乗寺	長坂町ル10	昭和57年 1月12日
		大乗寺山門	大乗寺	長坂町ル10	昭和57年 1月12日
		大乗寺總門 附棟札一枚 附大乗寺伽藍	大乗寺	長坂町ル10	昭和57年 1月12日
		大野湊神社 佐那武社 附棟札二枚	大野湊神社	寺中町八163	昭和57年 1月12日
		大野湊神社 八幡社	大野湊神社	寺中町八163	昭和57年 1月12日
		大野湊神社 神明社	大野湊神社	寺中町八163	昭和57年 1月12日
		成巽閣土蔵(道具蔵)	(財)成巽閣	兼六町1-2	昭和58年 1月25日
		旧金沢第三中学校玄関棟	石川県	大樋町16-1	平成元年 3月23日
	有形文化財 絵画	夕顔亭	石川県	兼六町1-2	平成元年10月23日
		旧津田玄蕃邸玄関	石川県	兼六町1-1	平成3年 4月11日
		旧石川県立第二中学校 三尖塔校舎	金沢市	飛梅町3-31	平成11年11月26日
		本願寺金沢別院 本堂・経蔵・鐘楼	本願寺金沢別院	笠市町2-47	平成17年 3月15日
		天徳院山門 附棟札一枚	天徳院	小立野4-4-4	平成19年12月25日
		絹本著色伯陽図	個人	曉町	昭和35年 5月27日
		紙本著色前田利家画像	個人	金石西	昭和35年 5月27日
		紙本著色南蛮渡来図六曲屏風	本泉寺	二保町子8	昭和35年 5月27日
		紙本砂子地淡彩群猿図六曲屏風 円山応挙筆	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和43年 2月26日
		紙本金地著色耕作図六曲屏風	大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和43年 2月26日
		紙本金地著色盛上菊図六曲屏風	真宗大谷派 金沢別院	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和43年 2月26日
		紙本砂子地淡彩楓檜図六曲屏風 俵屋宗達筆	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和43年 2月26日
		紙本泥引著色松樹禽鳥図六曲屏風	個人	寺町	昭和43年 2月26日
		紙本金地著色御所絵六曲屏風 伝岩佐又兵衛筆	個人	小将町	昭和43年 2月26日
		紙本金地著色光悦色紙張交草図 六曲屏風	個人	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和43年 2月26日
		紙本著色四季草花図六曲屏風	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和43年 2月26日
		絹本著色大智禪師画像	鶴林寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 2月18日
		紙本著色色菊花図 尾形乾山筆	個人	元町	昭和44年 2月18日
	有形文化財 美術工芸品	雲金砂子著色陶淵明林と靖団六曲屏風 狩野常信筆	個人	元町	昭和44年 2月18日
		紙本金地著色花鳥図六曲屏風 狩野尚信筆	個人	青草町	昭和44年 2月18日
		金地水墨虎之図六曲屏風 岸駒筆	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 2月18日
		絹本著色徹通禪師画像	大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 2月18日
		絹本著色明峰禪師画像	大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 2月18日
		絹本著色千体仏画像	大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 2月18日
		紙本墨画十六羅漢図 長谷川左近筆	大乗寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 2月18日
		紙本著色沢庵和尚像 自画贊	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和44年 3月19日
		絹本著色魚籃觀音図	康楽寺	湯涌町～19	昭和45年11月25日
		紙本金地著色群鶴図六曲屏風	個人	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和57年 4月 6日
		紙本墨画淡彩四季耕作図六曲屏風 久隅守景筆	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和59年 7月10日
		紙本著色祇園会図 伝長谷川久蔵筆	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和59年 7月10日
		紙本著色前田利家画像	開禅寺	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和59年 7月10日
		紙本著色小塚内匠助画像	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		紙本著色金沢城下図(犀川口町図) 六曲屏風	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
	工芸品	紙本著色圓智院妙淨(篠原一孝夫人) 画像 附紺紙金泥妙法蓮華經 漆塗経箱	妙法寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和62年 1月14日
		紙本著色奥村永福夫妻画像	永福寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和62年 1月14日
		紙本著色山崎長國画像	常松寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和62年 1月14日
		板絵彩色三十六歌仙額	尾崎神社	丸の内5-5	平成17年 3月15日
		粉引茶盤 銘楚白	個人	寺町	昭和35年 5月27日
		青井戸茶盤 銘宝樹庵	個人	寺町	昭和35年 5月27日
		大樋焼烏香炉	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和35年 5月27日
		鶴文様青手古九谷大平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和42年10月 2日
		古九谷色絵栗鶴平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和42年10月 2日
		古九谷色絵布袋図平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和45年11月25日
		虎渓三笑蒔絵織部棚	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和45年11月25日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
県指定文化財 美術工芸品	工芸品	女儀御輿	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和45年11月25日
		陶製白雁香合	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和45年11月25日
		野々宮図硯箱	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和45年11月25日
		古九谷色絵百花ちらし双鳥図平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和51年12月 9日
		刀 銘相州小田原八幡山住辻村五郎 右衛門尉藤原清平	豊国神社	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和53年 3月 6日
		刀 銘賀州住兼若	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和53年 3月 6日
		刀 銘越中守藤原高平花押	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和53年 3月 6日
		歌書箪笥	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和55年 7月10日
		秋月野景蒔絵硯箱	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和57年 1月12日
		古九谷色絵鳳凰図平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和57年 1月12日
		鉄打出鳩置物	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和57年 7月12日
		古九谷青手樹木図平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和59年 7月10日
		蒔絵南蛮人図硯箱	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	昭和59年 7月10日
		紫紺威獅子牡丹仏胴具足 雲海光尚作 長家伝来	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		黒漆打刀柄 中身 備前国長船住 左近将監長光造附朱塗打刀柄 館舎手付水指	個人	山の上町	平成元年 1月 9日
		館舎手付水指	個人	橋場町2-17 大埴美術館	平成12年10月24日
		館舎茶碗 銘聖	個人	十間町	平成12年10月24日
		焼飯釜 一口 鉢1把	個人	十間町	平成12年10月24日
		葫蘆様釜 一口 鑢1双	天徳院	出羽町2-1 石川県立美術館	平成12年10月24日
		蒔絵菊慈童図葉籠箱	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成17年 3月15日
		蒔絵螺鈿白楽天図硯箱	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成17年 3月15日
		古九谷青手桜花散文平鉢	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成17年 3月15日
		黒韋方紅白糸威腹巻 古制背 板付 長家伝来	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成17年 3月15日
		住吉透絵硯箱	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成18年10月20日
	書跡	紙本墨書き天神名号 雪舟筆	金沢神社	兼六町1-1	昭和44年 2月18日
		紙本墨書き温泉頌山中の句	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和59年 7月10日
		絹本墨書き薄木版下絵詩歌	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和62年 1月14日
		手鑑(274葉)	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	平成 8年 4月 9日
		熊野類懐紙(平家重筆)	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	平成19年12月25日
		熊野類懐紙(藤原重輔筆)	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	平成19年12月25日
	典籍	紙本墨書き三帖和讃	専光寺	本町2-3-40	昭和58年 1月25日
		紙本墨書き持名鈔	専光寺	本町2-3-40	昭和58年 1月25日
		紙本墨書き淨土真要鉄	専光寺	本町2-3-40	昭和58年 1月25日
		版本 三帖和讃並正信念仏偈	本泉寺	二俣町8	昭和58年 1月25日
		版本 三帖和讃並正信念仏偈	善性寺	四十万町引153	昭和58年 1月25日
		春日懐紙・紙背春日本万葉集(中臣祐定筆)	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 8月22日
		紙本墨書き大般若經	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	平成 7年 2月21日 追加指定
		紙本墨書き大般若經零本 附 断簡9葉	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	平成 7年 2月21日 追加指定
	古文書	賦何人連歌(1巻・8紙)	個人	元町	平成12年 3月14日
		弥郡文書	個人	小立野	昭和57年 1月12日
		篠島家文書	個人	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和57年 4月 6日
		山口家文書	石川県	本多町3-2-15 石川県立図書館	昭和57年 4月 6日
		伊藤家文書	石川県	本多町3-2-16 石川県立図書館	昭和57年 4月 6日
		後藤家文書	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和59年 7月10日
		銭屋五兵衛家年々留 附留帳	石川県	金石1-6-18 銭五遺品館	昭和59年 7月10日
		小宮山家文書	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和63年 4月 8日
		岩佐家文書	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和63年 4月 8日
		金沢専光寺文書	専光寺	本町2-30-4	平成 2年 9月26日
		加賀郡ボウ示札	石川県	中戸町18-1 石川県埋蔵文化財センター	平成13年 7月 6日
		畠山義総関係文書	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	平成20年 4月28日
		織田信長朱印状	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	平成20年 4月28日
		後奈良天皇宸翰女房奉書	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	平成20年 4月28日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
県指定文化財	有形文化財 考古資料	柱根 金沢市新保本町チガモ遺跡出土	金沢市	新保本5-48 新保本町埋蔵文化財収蔵庫	昭和61年 3月22日
		珠洲秋草文壺 珠洲市正院町出土	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		珠洲鳥樹文壺 富山県氷見市阿尾出土	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		珠洲鳥樹文小壺 珠洲市宝立町 春日野法住寺出土	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 8月22日
	美術工芸品 歴史資料	紙本著色加州金平鉱山絵巻	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		紙本著色辰巳用水絵図	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		紙本著色能登国探魚図会	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		中山家関係資料	個人	玉川町2-20 市立玉川図書館	平成 7年 2月21日
		本多政重・政長関係資料 附 火事装束	(財)藩老本多藏品館	出羽町3-1 藩老本多藏品館	平成12年 3月14日
		前田土佐守家関係資料	金沢市	片町2-10-17 前田土佐守家資料館	平成18年 10月 20日
	無形文化財 工芸技術	加賀友禅	加賀友禅技術保存会	専光寺町2-186	指定 昭和53年 7月13日 認定 昭和53年 7月13日
	文化民俗財 有形民俗	長岡博男眼鏡コレクション 附眼鏡史関係資料	石川県	出羽町3-1 石川県立歴史博物館	昭和61年 3月22日
		二俣いやさか踊り	二俣いやさか踊り保存会	二俣町	平成 7年10月 3日
	記念物	史 跡 御廟谷	個人	額谷町	昭和 4年 5月10日
		松並木の旧金沢下口往還	金沢市	北森本町・梅田町	昭和50年 1月 8日
		西田家庭園 玉泉園及び灑雪亭露路並びに庭園	(財)西田家庭園保存会	小将町8-5	昭和35年 5月27日
		二俣本泉寺九山八海の庭	本泉寺	二俣町子8	昭和45年11月25日
		尾山神社庭園 (旧金谷御殿庭園)	尾山神社	尾山町11-1	昭和53年12月21日
		成巽閣中庭	(財)成巽閣	兼六町1-2	昭和59年 4月 5日
		並木町のマツ並木	石川県	並木町	昭和15年 1月 6日
		持明院の妙蓮生育地	持明院	神宮寺3-12-15	昭和63年 1月 8日
		下涌波のモウソウキンメイチク林	個人	下涌波町鳥毛15	平成14年 8月27日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
市指定文化財	有形文化財 建造物	長田菅原神社拝殿	宗教法人長田菅原神社	長田1-5-3	昭和33年11月21日
		平尾家	金沢市	湯涌町へ19	昭和50年1月29日
		旧園邸	金沢市	西町3-17-7	平成6年5月11日
		大野湊神社旧拝殿	宗教法人大野湊神社	寺中町へ163	平成11年4月30日
		立野家住宅主屋・土蔵	個人	大工町37	平成15年9月11日
		全性寺山門	宗教法人全性寺	東山2-18-10	平成16年1月21日
		妙国寺山門	宗教法人妙国寺	東山2-18-9	平成16年1月21日
		本光寺山門	宗教法人本光寺	東山2-19-43	平成16年1月21日
		蓮昌寺山門	宗教法人蓮昌寺	東山2-11-23	平成16年4月21日
		妙泰寺山門	宗教法人妙泰寺	東山2-17-15	平成16年4月21日
		西養寺本堂・鐘楼	宗教法人西養寺	東山2-11-35	平成17年4月11日
		立像寺本堂・山門	宗教法人立像寺	寺町4-1-2	平成17年4月11日
		旧浦波家住宅主屋	金沢市	東山1-5-14	平成17年7月11日
		本泉寺山門	宗教法人本泉寺	二俣町子8	平成17年12月1日
		聖薫病院聖堂	社会福祉法人聖薫病院	長町1-5-30	平成18年7月11日
		旧野本家住宅	金沢市	湯涌町へ19	平成19年3月12日
		高岸寺本堂・鐘楼 附 棟札七枚	宗教法人高岸寺	寺町5-2-25	平成20年5月1日
	有形文化財 美術工芸品	尾山神社神門原図	金沢市	玉川町2-20 市立玉川図書館	昭和34年11月3日
		絹本著色 前田利家・同夫人画像	宗教法人桃雲寺	野田町子368	昭和35年11月3日
		紙本著色恭翁運良画像	宗教法人伝燈寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和35年11月3日
		絹本著色 高畠定吉夫妻画像	宗教法人長久寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和49年3月1日
		絹本著色 親鸞聖人絵伝	宗教法人専光寺	本町2-3-40	昭和50年7月1日
		絹本著色 仏涅槃図	祇陀寺	十一屋町11-2	昭和51年3月22日
		紙本著色 心岩自画像	宗教法人大円寺	寺町5-3-3	昭和51年3月22日
		板絵彩色 三十六歌仙図額面	尾崎神社	金沢市丸の内5-5	昭和52年3月1日
		絹本著色愛染明王画像 附 愛染明王画像裏書 附 鉄塔愛染明王記 附 愛染明王画像極書	宗教法人	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和52年3月1日
		絹本著色 仏涅槃図	宗教法人	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和52年3月1日
		紙本著色 生駒内膳直勝画像	宗教法人高巌寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和52年3月1日
		紙本著色 高巌寺歴代和尚頂相	宗教法人高巌寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和52年3月1日
		板地彩色絵馬額面	夕日寺町観音堂	夕日寺町子176	昭和52年11月11日
		絹本著色 阿弥陀三尊来迎図	宗教法人如来寺	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和52年11月11日
		絹本著色方便法身尊影	宗教法人専長寺	金石西4-19-56	昭和52年11月11日
		絹本著色 弘法大師画像	宗教法人真福院	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和53年4月11日
		紙本著色 双鶴図衝立	個人	里見町53-1	昭和53年4月11日
		紙本著色 金沢城二ノ丸御殿景観図	金沢市	玉川町2-20 市立玉川図書館	昭和53年4月21日
	彫刻	紙本著色 辰巳旧園新造客殿図	金沢市	玉川町2-20 市立玉川図書館	昭和53年4月21日
		紙本著色 浅野川四季風景図	個人	泉野町6-14-2	昭和63年3月11日
		紙本著色 蓬湖真景之図	個人	大野町4-65	平成2年4月11日
		絹本著色 青面金剛画像	醫王院	東山1-38-1	平成15年9月11日
		色入花丸色紙团扇門葛扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		色無杜若文葛扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		色入桔梗小柴垣文葛扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		岩波濤文尉扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		芦鷺文乱扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		色無女郎花文葛扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		桐樹文神扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		竹垣文男扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		牡丹唐草文鬼扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		鉄線文葛扇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		麦喰獅子	宗教法人波自加弥神社	花園八幡町	昭和41年11月3日
		木造隨身像	宗教法人波自加弥神社	花園八幡町	昭和52年3月1日
		木造仏涅槃像	宗教法人法船寺	中央通町11-46	昭和53年4月11日
		尾山神社所蔵能面	宗教法人尾山神社	尾山町11-1	平成9年1月30日
		父尉	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		小尉	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		飛出	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		悪尉	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		長靈癪見	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日
		若荷悪尉	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年7月12日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
市指定文化財 美術工芸品 工芸品	彫刻	二十余	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		般若	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		蛙	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		真蛇	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
	彫刻	小面	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		節木増	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		曲見	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		中将	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		鋳造三具足	宗教法人妙典寺	寺町5-2-33	昭和51年 3月22日
	工芸品	蒟蒻卓	宗教法人妙典寺	寺町5-2-33	昭和52年 3月 1日
		絹本地刺繡仏涅槃図	宗教法人弘願院	野町1-3-87	昭和53年 4月11日
		常德寺梵鐘	宗教法人常德寺	寺町5-1-29	昭和55年12月 1日
		少林寺梵鐘	宗教法人伝燈寺	伝燈寺町八179	昭和55年12月 1日
		宝乗寺梵鐘	宗教法人宝乗寺	車町八甲103	昭和55年12月 1日
		扇形梅の絵香合	金沢市	本多町3-2-29 市立中村記念美術館	平成 2年 4月11日
		紅地入子菱松橋向鶴丸文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白地花菱亀甲向鶴丸文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地幸菱椿折枝文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅白黒段替麻葉四季花丸文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地枝垂桜文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		萌葱紅段替桧垣蒲公英石畳芙蓉文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地牡丹唐草文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅白段替花亀甲繫牡丹折枝文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		茶白茶段替縞芝鉄線唐草文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		茶地霞楓文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		黒紅段流水萩扇散文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		金地霞松楓文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白紅萌葱段七宝繫麻葉雲草花文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		濃萌葱地籐菊文唐織	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		金茶地二重襷鳳凰文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		段雷文鱗雲丸童文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		金茶淡葱白茶段花雷文牡丹唐草文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白襷萌葱茶段菊流水文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		縞地白金茶段藤花文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白紅等段椎竜胆文小振袖	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紺白格子段熨斗目	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅鼠段雲輪宝向鶴菱地文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		格子文厚板	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地村雲菊鉄線雪芝文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		淡黄鼠段秋草文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地霞桜花文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白茶地团扇雲板花鳥文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		鼠濃淡段秋草文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地霞飛鶴流水菊文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紫地藤花春草文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紺地四季草花破七宝繫文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紺地丸紋尽文縫箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		藍地撫子文摺箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		水浅葱地波千鳥文摺箔	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
市 指 定 文 化 財  有形 文化 財  美術工芸品	工芸品	染分地網目流水葵文簪箱	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		蜀江文錦袷狩衣	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紺地瓦尽文袷狩衣	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白地秋草扇流水桜葉文長絹	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		濃茶地透垣夕顔文長絹	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		淡萌葱地枝垂桜胡蝶楓篠文長絹	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紺地柳流水文長絹	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紫地籐鐵線文長絹	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		緋地雲菱丸龍文舞衣	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		白茶地荒磯文袷法被	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紫地羽団扇立涌文側次	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		萌葱地鉄線唐草文側次	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地小葵花丸文大口袴	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紫褐地桐菊鳳凰文半切	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地南天文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地椿文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地桜文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		濃茶地柳雪輪文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地枝垂桜文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅白段霞唐花唐草文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地鱗文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紺地楓文腰帯	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地七宝繫文腰帯	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		紅地杜若流水文腰帯	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地藤花文腰帯	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		浅葱地梅桜藤文腰帯	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		鉄紺地羽団扇文腰帯	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		胴箔地桜文鬘帶	金沢市	広坂1-2-25 金沢能楽美術館	平成16年 7月12日
		青井戸茶碗 銘 雲井	金沢市	本多町3-2-29 金沢市立中村記念美術館	平成20年12月26日
		砧青磁平水指 銘 青海波	金沢市	本多町3-2-29 金沢市立中村記念美術館	平成20年12月26日
	書跡	高山右近自筆書状	石川県	出羽町2-1 石川県立美術館	昭和34年11月 3日
		氏子地図	宗教法人石浦神社	本多町3-1-30	昭和35年11月 3日
		紙本墨書き本興寺寺法書	宗教法人本興寺	金沢市葉師町口75	昭和37年11月 3日
		紙本墨書き正信偈註	宗教法人善性寺	四十万町リ153	昭和50年 7月 1日
	古文書 ・ 典籍	加越能文庫	金沢市	玉川町2-20 市立玉川図書館	平成 3年 6月11日
		瑞泉寺文書 附 黒漆塗長持一棹、白木箪笥一棹	宗教法人瑞泉寺	玉川町2-20 市立玉川図書館	平成14年 6月 3日
		紺紙金字妙法蓮華経巻第六	宗教法人宝乗寺	車町ハ103	平成20年 3月11日
	考古資料	卷数(勧請)板 堅田B遺跡出土	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成13年 4月11日
		東大寺領横江莊遺跡上荒屋遺跡出土遺物 一括	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成14年 6月 3日
		金沢市三小牛ハバ遺跡出土品	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成16年10月12日
		金沢市北塚遺跡出土品	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成16年10月12日
		獸形勾玉 金沢市寺中遺跡出土	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成19年 3月12日
		金沢市無量寺B遺跡出土金属製品一括	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成19年 3月12日
		金沢市大友西遺跡出土銅製品一括	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成19年 3月12日
		東大寺領横江莊遺跡上荒屋遺跡出土遺物一括	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成20年 3月11日
		金沢市堅田館跡(堅田B遺跡)出土遺物一括	金沢市	上安原南60 金沢市埋蔵文化財センター	平成20年12月26日
	歴史資料	寺島藏人邸関係資料	金沢市	大手町10-3 寺島藏人邸跡	平成 6年 5月11日
		大野瀬神社関係資料	宗教法人大野瀬神社	寺中町ハ163	平成11年 4月30日
		常福寺北方心泉関係資料	宗教法人常福寺	小将町6-23	平成14年12月11日
		成巽閣所蔵前田家関係資料	財团法人成巽閣	兼六町1-2	平成17年 7月11日

区分	種別	名称	所有者等	所在地	指定年月日
市指定文化財	民俗文化財	芸能 加賀宝生 金沢素襷子	金沢能楽会 金沢素襷子保存会	石引4-18-3 本多町3-2-1	昭和25年8月21日 昭和55年10月1日
		有形民俗 栗崎八幡神社奉納絵馬額面 紙本著色 身延山全景俯瞰図 氷見晃堂使用指物製作用具	栗崎八幡神社 本是寺 金沢市	栗崎町へ49 弥生1-14-6 常盤町	昭和57年3月1日 平成15年9月11日 平成16年10月12日
		民俗資料 加賀獅子舞用具 附・法被	加賀獅子保存協会	金沢市内	昭和61年10月1日
		無形民俗 加賀鳶梯子登り 南無とせ節	加賀とびはしご登り保存会 南無とせ節保存会	金沢市内 戸水1-376	平成7年10月11日 平成19年12月3日
		無形民俗芸能 ジョンカラ節 山王惡魔払	ジョンカラ節保存会 大野町文化財保存会 山王祭奉贊会	東長江町井20 大野町4-へ38	昭和34年11月3日 昭和36年11月3日
		加賀獅子 さかたおどり 加賀万歳	加賀獅子保存協会 八田さかたおどり保存会 加賀万歳保存会	広坂1-1-1 八田町1346 本多町3-3-13	昭和40年11月3日 昭和49年3月1日 昭和50年1月29日
		大野湊神社の寺中神事能 上野町餅つき踊	大野湊神社神事能奉贊会 上野町餅つき踊り保存会	寺中町ハ163 小立野3-27-47	昭和60年5月1日 平成9年1月30日
		古府縄文遺跡 松根城跡	金沢市 松根城跡保存会	古府町南851 松根町	昭和47年3月1日 昭和49年3月1日
		寺島蔵人邸跡 おまる塚古墳 びわ塚古墳	財団法人金沢文化振興財團 宗教法人宇佐神社 宗教法人八幡神社	大手町10-3 北塚町東152 南塚町118	昭和49年3月25日 平成10年4月2日 平成10年4月2日
		堅田城跡 長坂用水(法師の隧道) 金沢城惣構跡	個人 個人 国・石川県・金沢市	堅田町・岩出町・深谷町 大桑町・別所町 広坂1-128他	平成18年7月11日 平成20年12月26日 平成20年12月26日
	記念物	史跡 心蓮社庭園 辻家庭園 西家庭園 松風閣庭園	宗教法人心蓮社 個人 個人 北陸放送株式会社	山の上町4-11 寺町1-8-48 長町3-1-57 本多町3-2-1	平成元年5月1日 平成16年11月11日 平成18年12月4日 平成18年12月4日
		天然記念物 大野湊神社社叢 東原のみずばしょう自生地 板ヶ谷町八幡神社スギ 妙法寺のドウダンツツジ	宗教法人大野湊神社 個人 板ヶ谷町八幡神社 宗教法人妙法寺	寺中町ハ163 東原町ヌ47 板ヶ谷町 寺町4-72	昭和57年3月1日 昭和58年4月1日 平成元年5月1日 平成20年3月11日

区分	種別	名称	所有者等	所在地	指定年月日
国登録有形文化財	建造物	金沢市立玉川図書館別館(旧専壳公社C-1号工場)	金沢市	玉川町2-20	平成8年12月20日
		旧三田商店	個人	尾張町1-8-5	平成9年6月12日
		石川県庁舎石引分室(旧陸軍第九師団司令部庁舎)	石川県	石引4-18-3	平成9年12月12日
		石川県庁舎石引分室(旧陸軍金沢偕行社)	石川県	石引4-18-3	平成9年12月12日
		浅野川大橋	国土交通省	橋場町・主計町～東山	平成12年12月4日
		犀川大橋	国土交通省	片町～野町・千日町	平成12年12月4日
		末净水場 一号緩速沈殿池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 二号緩速沈殿池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 三号緩速沈殿池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 一号緩速ろ過池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 二号緩速ろ過池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 三号緩速ろ過池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 四号緩速ろ過池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 五号緩速ろ過池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 六号緩速ろ過池	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 緩速浄水集合井	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		末净水場 緩速浄水ポンプ室	金沢市	末町1-1	平成13年8月28日
		やちや酒造主屋	個人	大樋町8-32	平成14年8月21日
		やちや酒造道具蔵	個人	大樋町8-32	平成14年8月21日
		やちや酒造蔵	個人	大樋町8-32	平成14年8月21日
		島村家住宅	個人	神谷内町4	平成14年8月21日
		尾山神社東神門	宗教法人尾山神社	尾山町11-1	平成15年7月1日
		大屋家住宅主屋	個人	長町1-1-37	平成15年7月1日
		大屋家住宅表門	個人	長町1-1-37	平成15年7月1日
		大屋家住宅北隣	個人	長町1-1-37	平成15年7月1日
		大屋家住宅南隣	個人	長町1-1-37	平成15年7月1日
		西家住宅主屋	個人	長町3-1-57	平成15年7月1日
		西家住宅土蔵	個人	長町3-1-57	平成15年7月1日
		中村家住宅主屋	個人	東山1-4-33	平成15年7月1日
		長田家住宅主屋	個人	橋場町5-10	平成15年7月1日
		伊東家住宅主屋	個人	花園八幡町八100甲	平成15年7月1日
		細川家住宅主屋	個人	東蚊爪町12甲	平成15年7月1日
		西検番事務所	西料亭組合	野町2-25-17	平成15年7月1日
		松風閣(旧広坂御広式御対面所)	北陸放送(株)	本多町3-2-1	平成15年7月1日
		旧本多家住宅長屋門	北陸放送(株)	本多町3-2-1	平成15年7月1日
		泉家住宅主屋	個人	昌永町14-20	平成16年3月1日
		泉家住宅土蔵	個人	昌永町14-20	平成16年3月1日
		小泉家住宅主屋	個人	本多町1-17-10	平成16年3月1日
		木村家住宅主屋	個人	彦三町2-11-11	平成16年3月1日
		旧村松商店	個人	尾張町1-8-1	平成16年3月1日
		中村神社拝殿(旧金沢城二の丸能舞台)	宗教法人中村神社	中村町16-1	平成16年3月1日
		金沢神社本殿(旧金沢城明倫堂鎮守)	宗教法人金沢神社	兼六町1-3	平成16年3月1日
		金沢神社拝殿	宗教法人金沢神社	兼六町1-3	平成16年3月1日
		北村家住宅主屋	個人	菊川2-8-10	平成16年3月1日
		経田屋米穀店	個人	東山1-17-7	平成16年3月1日
		浅永家住宅主屋	個人	浅野本町1-14-18	平成16年3月1日
		浅永家住宅土蔵	個人	浅野本町1-14-18	平成16年3月1日
		旧宮下家住宅主屋	金沢市	北袋町エ36	平成16年3月1日
		旧市谷家住宅主屋	金沢市	北袋町エ36	平成16年3月1日
		北尾家旧門	金沢市	北袋町エ36	平成16年3月1日
		旧中屋家行在所	金沢市	北袋町エ36	平成16年3月1日
		旧中屋家行在所表門	金沢市	北袋町エ36	平成16年3月1日
		平木家住宅主屋	個人	菊川1-11-5	平成16年6月9日
		平木屋旗店	個人	菊川1-12-1	平成16年6月9日
		藤本家住宅主屋	個人	東山3-16-14	平成16年6月9日
		谷庄古美術店主屋	個人	十間町44	平成16年6月9日
		佐藤家住宅主屋	個人	十一屋町14-27	平成16年6月9日
		瀧江家住宅主屋	個人	東山1-4-1	平成16年6月9日

区分	種別	名 称	所有者等	所在地	指定年月日
国登録有形文化財	建造物	浜名家住宅主屋	個人	扇町11-12	平成16年11月 8日
		浜名家住宅土蔵	個人	扇町11-12	平成16年11月 8日
		平木屋染物店	個人	片町2-31-38	平成16年11月 8日
		北中家住宅主屋	個人	泉2-21-7	平成16年11月 8日
		八田家住宅主屋	個人	今町ル1	平成16年11月 8日
		八田家住宅西蔵	個人	今町ル1	平成16年11月 8日
		八田家住宅南蔵	個人	今町ル1	平成16年11月 8日
		旧石川銀行橋場支店	金沢市	尾張町1-7-10	平成16年11月 8日
		辻家住宅主屋	個人	寺町1-8-48	平成16年11月 8日
		辻家住宅表門及び堀	個人	寺町1-8-48	平成16年11月 8日
		浅野川大橋詰火の見櫓	金沢市	東山3-1-2先	平成17年11月 10日
		若草教会（旧日本基督教团金沢教会）	日本基督教团若草教会	若草町13-44	平成18年 3月 2日
		本泉寺手水舎	宗教法人本泉寺	二俣町子8	平成18年 3月 2日
		本岡家住宅主屋	個人	元町2-7-7	平成18年 3月 27日
		本岡家住宅東蔵	個人	元町2-7-7	平成18年 3月 27日
		本岡家住宅西蔵	個人	元町2-7-7	平成18年 3月 27日
		本岡家住宅内門及び築地塀	個人	元町2-7-7	平成18年 3月 27日
		角島家住宅主屋	個人	安江町5-14	平成18年 3月 27日
		上野家住宅旧診療所	個人	石引1-15-31	平成18年10月18日
		上野家住宅主屋	個人	石引1-15-31	平成18年10月18日
		上野家住宅土蔵	個人	石引1-15-31	平成18年10月18日
		菊知家住宅主屋	個人	北森本町ル15	平成18年11月29日
		菊知家住宅土蔵	個人	北森本町ル15	平成18年11月29日
		菊知家住宅表門	個人	北森本町ル15	平成18年11月29日
		戸水屋菓子店店舗兼主屋	個人	寺町2-3-1	平成19年10月22日
		戸水家住宅土蔵	個人	寺町2-3-1	平成19年10月22日
		旧小倉家住宅離れ	個人	芳賀1-2-4他	平成20年4月18日
		旧小倉家住宅土蔵	個人	芳賀1-2-4他	平成20年4月18日
		旧小倉家住宅離れ表門	個人	芳賀1-2-4他	平成20年4月18日
		戸板赤一郎（旧戸板村役場庁舎）	個人	寺町2-3-1	平成20年4月18日
国登録	登録記念物	末淨水場園地	金沢市	末町1-1	平成20年7月28日
市景観条例指定建造物	日本建築	森紙店	個人	野町1-2-34	昭和59年 4月11日
		旧諸江屋	(株) 浅田グループ	東山1-13-24	昭和59年 4月11日
		野坂邸	個人	彦三町1-7-38	昭和60年 4月11日
		俵屋	個人	小橋町2-4	昭和60年 4月11日
		超雲寺庫裏	宗教法人超雲寺	芳賀1-16-8	昭和61年 4月11日
		金沢市立中村記念美術館旧中村邸	金沢市	本多町3-2-30	昭和61年 4月11日
		旧加賀藩士高田家長屋門	金沢市	長町2-6-1	昭和62年 4月11日
		寿屋	個人	尾張町2-4-12	昭和62年 4月11日
		旧石川県警察本部長公舎	金沢市	小立野5-11-1	昭和63年 4月11日
		川縁米穀店	個人	茨木町55	平成 1年 4月11日
		経田屋米穀店	個人	東山1-17-7	平成 1年 4月11日
		旧森快安邸	個人	橋場町2-17	平成 2年 4月21日
		正田善嗣家	個人	東山1-5-13	平成 2年 4月21日
		旧越濱	(株) 見城亭	東山1-14-8	平成 3年 4月22日
		越村邸	個人	兼六元町9-33	平成 3年 4月22日
		新家邸長屋門	個人	長町1-1-4	平成 4年 4月21日
		福久屋石黒傳六商店	個人	尾張町1-10-8	平成 5年 10月21日
		山錦楼	個人	寺町5-1-38	平成 7年 4月11日
		本願寺金沢別院山門	宗教法人本願寺金沢別院	笠市町2-47	平成13年 9月21日 (平成17年4月11日)
		高木粧商店	個人	東山1-9-3	平成14年 4月22日
		大屋家	個人	長町1-1-37	平成15年 4月21日
		平木家	個人	菊川1-11-5	平成16年 5月11日
		本岡家住宅	個人	元町2-7-7	平成17年11月21日
		八田家住宅	個人	今町ル1	平成17年11月21日
		伊東家住宅	個人	花園八幡町ハ100甲	平成17年11月21日
		菊知家住宅	個人	北森本町ル15	平成18年 4月21日
		坂戸米穀店	個人	金沢市春日町11-28	平成19年 4月23日
	西洋建築	旧ワイン館（北陸学院第二幼稚園）	学校法人北陸学院	飛梅町1-10	昭和58年 4月11日
		金沢市立図書館別館	金沢市	玉川町2-20	昭和59年 4月11日
		旧三田商店	個人	尾張町1-8-5	平成 4年 4月21日
		旧石川銀行橋場支店	金沢市	尾張町1-7-10	平成 5年 4月12日
		田上家	個人	尾張町1-5-20	平成 9年 4月10日
		旧村松商店(村松商事(株)ビル)	個人	尾張町1-8-1	平成15年10月21日

区分	種別	名称	所有者等	所在地	指定年月日
こまちなみ保存建造物	建造物	奥田家長屋門	個人	金沢市里見町51番地1	平成8年3月27日
		中西家住宅	個人	金沢市里見町54番地2	平成8年3月27日
		石崎商店	個人	金沢市尾張町2-6-36	平成8年3月27日
		清水家住宅	個人	金沢市尾張町2-9-7	平成8年3月27日
		伊崎家所有建物	個人	金沢市尾張町2-9-10	平成8年3月27日
		金丸家住宅	個人	金沢市尾張町2-16-71	平成8年3月27日
		橋本家住宅主屋・蔵・工場	個人	金沢市大野町1-30	平成9年9月22日
		浜本家住宅主屋・蔵・工場	個人	金沢市大野町1-37	平成9年9月22日
		光谷家住宅	個人	金沢市大野町3-12	平成9年9月22日
		宮崎家住宅主屋・蔵	個人	金沢市大野町3-34	平成9年9月22日
		直江家住宅主屋・蔵・工場	個人	金沢市大野町4-16	平成9年9月22日
		笛島家住宅主屋・蔵	個人	金沢市大野町4-31	平成9年9月22日
		喜楽家住宅主屋・蔵	個人	金沢市大野町4-65	平成9年9月22日
		山守家住宅主屋・蔵	個人	金沢市大野町4-77	平成9年9月22日
		三輪家住宅主屋・蔵・工場	個人	金沢市大野町4-104	平成9年9月22日
		近村家住宅	個人	金沢市大野町4-152	平成9年9月22日
		橋家住宅主屋・蔵	個人	金沢市大野町5-62	平成9年9月22日
		菊田家住宅	個人	金沢市大野町5-62	平成9年9月22日
		山上家住宅	個人	金沢市里見町16-1	平成10年2月12日
		宝生寿し	個人	金沢市大野町4-72	平成10年6月1日
		井奈家住宅	個人	金沢市東山1-17-22	平成10年6月1日
		清水家所有建物	個人	金沢市東山1-17-13	平成10年10月1日
		越村家住宅	個人	金沢市天神町2-19-13	平成10年10月1日
		栗島家住宅	個人	金沢市東山1-21-3	平成10年10月1日
		西原家所有建物	個人	金沢市野町1-1-10	平成11年11月1日
		のむらや	個人	金沢市野町1-2-7	平成11年11月1日
		諸江屋・杉本家店舗併用住宅	個人	金沢市野町1-2-10	平成11年11月1日
		小閑家所有建物	個人	金沢市野町1-3-15	平成11年11月1日
		氷見家住宅	個人	金沢市野町1-3-20	平成11年11月1日
		新谷家所有建物	個人	金沢市天神町2-3-34	平成12年11月1日
		清水家住宅	個人	金沢市天神町2-3-31	平成12年11月1日
		宮村家住宅	個人	金沢市天神町2-10-31	平成12年11月1日
		紺谷家住宅	個人	金沢市天神町2-19-15	平成12年11月1日
		小松家住宅	個人	金沢市扇町5-4	平成12年11月1日
		高沢家住宅	個人	金沢市東山1-18-23	平成12年11月1日
		黒田家所有建物	個人	金沢市尾張町2-16-35	平成12年11月1日
		米沢茶店所有建物	個人	金沢市東山1-1-6	平成14年2月21日
		福嶋三弦店	個人	金沢市東山1-1-8	平成14年2月21日
		柴原家住宅	個人	金沢市東山1-1-8	平成14年2月21日
		横雲家住宅	個人	金沢市東山1-17-9	平成14年2月21日
		下徳家住宅	個人	金沢市水溜町14-1	平成14年2月21日
		河村家住宅	個人	金沢市水溜町4-2	平成14年2月21日
		毛利質店	個人	金沢市水溜町2-2	平成14年2月21日
		沖彌一郎商店・土蔵	個人	金石西2-12-17	平成20年2月21日
		安原家住宅	個人	金石西2-7-13	平成20年2月21日

■金沢市保存樹指定一覧表 (昭和54年度～:計125本)

(平成19年3月31日)

No.	指定番号	樹種名	樹高	幹周	枝巾	樹木所在地	指定年月日
1	1	ケヤキ	33	7.83	25	野町2丁目1-8	昭和55年3月27日
2	4	ケヤキ	33	5.27	28	笠舞本町2丁目8-15	"
3	5	ケヤキ	30	5.10	20	十一屋町3-32	"
4	9	スダジイ	9	4.22	15	大浦町へ190	"
5	10	ケヤキ	28	4.19	15	吉原町チ49	"
6	11	ケヤキ	26	4.14	24	神田1丁目15-20	"
7	12	ケヤキ	24	4.04	16	間明1丁目85	"
8	14	ケヤキ	20	3.88	18	尾張町2丁目16-73	"
9	15	ケヤキ	24	3.74	14	長田1丁目5-3	"
10	17	アカマツ	15	3.50	15	橋場町2-17	"
11	18	イチョウ	32	3.45	20	大野町5丁目81	"
12	19	ケヤキ	24	3.39	12	新保本町2-173	"
13	21	アカマツ	6	2.35	19.5	宝町7-10	昭和56年3月28日
			—	1.35	—		
			—	2.50	—		
14	24	クロマツ	28	3.20	20	野町1丁目2-37	"
15	25	スギ	20	3.14	6	額谷町口129	"
16	26	イチョウ	16	3.10	15	寺町5丁目6-38	"
17	27	モミ	25	3.10	9	東兼六町5-6	"
18	28	イチョウ	20	2.98	10	泉1丁目3-8	"
19	31	モミ	25	2.81	9	東兼六町5-6	"
20	32	クロマツ	9	2.77	17	本町1丁目3-15	"
21	34	モミジ	9	2.30	15	野町1丁目2-8	"
22	37	ケヤキ	30	4.00	20	十一屋町3-32	昭和56年10月28日
23	39	ケヤキ	27	3.82	15	南森本町イ3	"
24	40	ケヤキ	23	3.77	9	間明1丁目85	"
25	41	ケヤキ	25	3.03	16	寺町1丁目6-50	"
26	44	スギ	22	2.97	16	額谷町口129	"
27	45	クロマツ	20	2.94	20	長町2丁目6-40	"
28	47	スダジイ	19	2.80	15	中央通町16-1	"
29	48	イチョウ	20	2.68	12	泉1丁目3-8	"
30	49	クロマツ	20	2.63	14	高畠1丁目182	"
31	50	クロマツ	27	2.63	20	打木町へ7	"
32	52	クロマツ	28	2.59	20	佐奇森町赤113	昭和56年10月28日
33	53	ゴヨウマツ	12	2.53	7	小立野5丁目2-5	"
34	54	イチョウ	12	2.52	8	黒田1丁目152	"
35	58	モミ	28	2.88	18	石引3丁目2-10	昭和57年10月28日
36	59	イチョウ	20	2.72	13	石引3丁目2-5	"
37	61	イチョウ	20	2.67	15	森山1丁目11-2	"
38	62	イチョウ	20	2.58	11	森山2丁目19-32	"
39	63	モミ	28	2.25	15	菊川1丁目12-2	"
40	64	アカマツ	20	2.21	15	宝町6-13	"
41	66	ヤマモモ	12	0.59	7	長町1丁目3-32	"
			—	1.61	—		
42	68	クロマツ	20	2.69	18	長町1丁目1-37	"
43	70	ゴヨウマツ	18	1.90	13	野町3丁目15-8	"
44	71	ゴヨウマツ	18	1.53	10	尾張町2丁目16-19	昭和59年9月26日
			—	1.53	—		
45	72	クロマツ	18	2.90	16	小立野3丁目23-3	"
46	73	クロマツ	20	1.98	18	彦三1丁目7-35	"
47	74	クロマツ	19	2.07	17	小立野5丁目1-15	"
48	76	ギンモクセイ	9	—	11	寺町5丁目2-20	昭和60年9月25日
49	77	ギンモクセイ	9	—	11	寺町5丁目2-20	"
50	78	モチノキ	15	1.54	14	野町3丁目18-10	"

No.	指定番号	樹種名	樹高	幹周	枝巾	樹木所在地	指定年月日
51	80	イチョウ	18	2.33	12	丸の内5-5	昭和61年10月31日
52	81	クロマツ	18	1.86	12	打木町へ7	〃
53	82	ケヤキ	18	3.27	18	示野町イ1	〃
54	83	ケヤキ	18	2.64	15	寺町5丁目2-20	昭和62年10月1日
55	84	ケヤキ	20	2.72	15	泉野出町2丁目16-3	〃
56	85	ケヤキ	20	2.59	12	泉野出町2丁目16-3	〃
57	86	サワラ	18	2.40	10	寺町5丁目2-40	昭和63年10月17日
58	87	モミ	18	2.63	10	長坂1丁目7-27	〃
59	88	シダレザクラ	16	2.50	12	石引2丁目5-30	〃
60	90	クロマツ	20	3.30	12	野町3丁目2-37	平成1年11月11日
61	91	ケヤキ	23	2.79	20	寺町1丁目8-37	平成3年3月29日
62	92	キンモクセイ	8		9	八日市出町8	平成4年3月31日
63	93	クロマツ	12	2.00	9	橋場町2-15(不破医院内)	〃
64	94	トチノキ	18	1.81	7	長土壌1丁目3-8	平成5年3月30日
65	95	ソメイヨシノ	17	2.60	16	野町3丁目24-32	〃
66	96	クスノキ	19	1.88	8	城南2丁目6-35	〃
67	97	ゴヨウマツ	7	1.55	8	堅町16	平成6年3月30日
68	98	コヨウザン	25	2.60	10	清瀬町日吉神社参道わき	〃
69	99	アベマキ	30	3.40	15	三小牛町5-23	〃
70	100	イスノキ	15	1.50	10	此花町11-27	平成7年3月29日
71	101	イスノキ	16	1.30	10	此花町11-27	〃
72	102	クスノキ	20	2.20	12	此花町11-27	〃
73	103	スダジイ	11	3.40	12	東山3丁目15-9	平成8年3月28日
74	104	イチョウ	25	3.00	13	安江町15-52	〃
75	105	イチョウ	20	3.40	11	安江町15-52	〃
76	106	ギンモクセイ	10	2.00	10	小将町6-18	平成9年2月17日
77	108	ケヤキ	23	2.30	10	福増町南325	〃
78	109	ケヤキ	20	2.10	7	福増町南325	〃
79	110	イチョウ	17	2.50	10	栗崎町チ7	平成10年3月30日
80	111	イチョウ	16	2.30	10	栗崎町チ7	〃
81	112	クロマツ	17	2.40	13	福増町南298	〃
82	113	スギ	20	4.20	16	末町五-66-1	平成11年3月18日
83	114	スギ	18	2.60	10	末町五-66-1	〃
84	115	クスノキ	21	2.20	11	額谷町ワ20-1	〃
85	116	タブノキ	13	2.30	11	大浦町ヘ191	〃
86	117	クロマツ	14	2.10	8	中央通町16-1	平成12年2月17日
87	118	クロマツ	12	2.40	8	中央通町16-1	〃
88	119	クロマツ	12	1.60	8	中央通町16-1	〃
89	120	モミ	19	1.60	8	長町3丁目1-57	〃
90	121	スダジイ	13	4.60	12	石引3丁目2-5	〃
91	122	タブノキ	12	2.70	10	寺町5丁目70	平成13年2月15日
92	123	ケヤキ	20	3.10	10	泉1丁目3-8	〃
93	124	クロマツ	12	1.80	9	大野町4-51	〃
94	126	エノキ	12	3.50	12	金石西1-19-14	平成14年2月25日
95	127	ケヤキ	21	2.90	15	安原中央土地区画	〃
96	128	タブノキ	11	2.63	13	整理事業地内	〃
97	129	クロマツ	13	2.33	13	88街区1番	〃
98	130	ケヤキ	18	2.80	11	上安原町528	〃
99	131	ケヤキ	22	2.50	9	上安原町528	〃
100	132	ケヤキ	20	3.57	16	入江2-438	〃
101	133	モミ	23	1.80	15	水溜町18	平成15年2月25日
102	134	モミ	20	1.40	10	水溜町18	〃
103	135	イチョウ	18	2.80	5	片町2-23-6	〃
104	136	マキ	8	1.80	8	東蚊爪町チ22甲	〃
105	137	タブノキ	21	3.75	10	法光寺町ト16	〃

No.	指定番号	樹種名	樹高	幹周	枝巾	樹木所在地	指定年月日
106	138	モミ	20	4.00	15	蓮如町ハ10	"
107	139	サイカチ	8	3.65	3	南森本町イ170	平成16年3月25日
108	140	ウメ	8	2.40	7	弥生3丁目3-30	"
109	141	コウヤマキ	17	2.45	10	弥生1丁目16-1	平成17年3月2日
110	142	アカマツ	18	2.65	6	弥生1丁目16-1	"
111	143	ケヤキ	18	3.40	15	昌永町13-25	"
112	144	ケヤキ	18	2.95	15	昌永町13-25	"
113	145	ケヤキ	18	2.95	15	昌永町13-25	"
114	146	ケヤキ	16	2.10	15	昌永町13-25	"
115	147	タブノキ	8	2.00	6	昌永町13-25	"
116	148	クロマツ	13	2.65	6.5	昌永町13-25	"
117	149	スギ	18	3.2	12	河原市町ハ42番地	平成18年3月30日
118	150	スギ	20	3.2	10	河原市町ハ42番地	"
119	151	ゴヨウマツ	12	1.95	8	東山2丁目10番10号	"
120	152	スリュウヒバ	8	1.88	6	東山2丁目10番10号	"
121	153	サルスベリ	6	2.2	5	東山2丁目14番22号	"
122	154	イロハモミジ	6	2.4	9	卯辰町ホ10番地	"
123	155	クロマツ	24	2.3	10	池田町1番丁25番地	"
124	156	タブノキ	8	2.35	13.5	高柳町10の21番地	平成19年3月26日
125	157	スダジイ	5.5	3.76	4	中橋町2番28号	"

■金沢市景観樹指定一覧表(平成13年度～:計10本)

(平成19年3月31日現在)

No.	指定番号	樹種名	樹高	幹周	枝巾	樹木所在地	指定年月日
1	1	ハゼノキ	6.0	1.95	3.5	御影町28-2	平成14年2月25日
2	2	ウメ	9.0	1.10	5.0	泉野町2-7-2	"
			—	0.58	—		
3	3	クロマツ	9.5	1.25	5.5	新堅町3-88	"
4	5	アカマツ	6.0	1.30	5.5	香林坊2-11-19	平成14年12月24日
5	6	シダレザクラ	6.5	1.10	4.0	元菊町17-41	"
6	7	イロハモミジ	12.5	2.00	7.0	小立野3-27-37	"
7	8	スダジイ	18.0	3.15	15.0	今泉町	平成16年10月22日
8	9	アンズ	6.0	1.30	5.0	橋場町13-17	平成17年11月4日
9	10	アカマツ	8.5	0.95	4.5	東山1-18-21	平成18年10月30日
10	11	エノキ	11.0	1.30	9.0	長町1-1-27	"

■金沢市保存樹林指定一覧表(昭和54年度～:計48箇所)

(平成19年3月31日現在)

No.	指定番号	樹林名	樹種及び本数	所在地及び面積	緑被率	指定年月日・備考	
1	1	八坂神社樹林	ケヤキ、スギ、タブ等高木	39本	千田町135-1	77%	昭和56年3月28日
			ヒサカキ等低木	230本	2,717m <sup>2</sup> (822坪)		
			計	269本	樹冠面積 2,100m <sup>2</sup>		
2	2	椿原天満宮	スギ、黒松、モミ等高木	38本	天神町1丁目1-13	35%	昭和56年10月28日
			ヒサカキ等低木	600本	5,203m <sup>2</sup> (1,574坪)		
			計	638本	樹冠面積 1,800m <sup>2</sup>		
3	3	上野八幡神社樹林	スギ、赤松、イチョウ等高木	38本	小立野2丁目4-1	58%	昭和56年10月28日
			ツバキ等低木	78本	2,076m <sup>2</sup> (628坪)		
			計	116本	樹冠面積 1,200m <sup>2</sup>		
4	4	安江住吉神社樹林	ケヤキ、イチョウ、タブ等高木	31本	北安江町259	47%	昭和57年10月28日
			ツバキ等低木	65本	2,354m <sup>2</sup> (712坪)		
			計	96本	樹冠面積 1,100m <sup>2</sup>		
5	5	浅野神社樹林	ケヤキ、黒松等高木	26本	浅野本町1丁目6-1	62%	昭和57年10月28日
			ツバキ、ツツジ等低木	330本	1,815m <sup>2</sup> (549坪)		
			計	356本	樹冠面積 1,130m <sup>2</sup>		
6	6	春日神社樹林	ケヤキ、タブノキ等高木	35本	増泉2丁目1-1	47%	昭和57年10月28日
			ツバキ、ツツジ等低木	374本	3,967m <sup>2</sup> (1,200坪)		
			計	409本	樹冠面積 1,850m <sup>2</sup>		
7	7	天徳院樹林	スギ、黒松等高木	71本	小立野4丁目4-4	38%	昭和58年10月3日
			サツキ、ツバキ等低木	3,260本	23,140m <sup>2</sup> (7,012坪)		
			計	3,331本	樹冠面積 8,800m <sup>2</sup>		
8	8	龍淵寺樹林 (竜渓寺)	スギ、ケヤキ等高木	51本	野町3丁目19-60	70%	昭和58年10月3日 伝環区域
			モッコク、モミジ等低木	540本	6,171m <sup>2</sup> (1,870坪)		
			計	591本	樹冠面積 4,300m <sup>2</sup>		
9	9	石川護国神社樹林	スギ、赤松等高木	84本	石引4丁目18-1	33%	昭和58年10月3日 伝環区域
			ツバキ、ヒサカキ等高木	520本	10,473m <sup>2</sup> (3,173坪)		
			計	604本	樹冠面積 3,500m <sup>2</sup>		
10	10	静明寺樹林	スギ、ケヤキ等高木	26本	材木町28-18	32%	昭和58年10月3日 伝環区域
			エノキ、ツツジ等低木	380本	5,570m <sup>2</sup> (1,687坪)		
			計	406本	樹冠面積 1,780m <sup>2</sup>		
11	11	石浦神社樹林	スギ、シイ等高木	25本	本多町3丁目1-30	41%	昭和58年10月3日 伝環区域
			ツバキ、アオキ等低木	230本	3,150m <sup>2</sup> (954坪)		
			計	255本	樹冠面積 1,280m <sup>2</sup>		
12	12	日吉神社樹林	スギ、ケヤキ、タブ等高木	35本	三口新町3丁目21-3	90%	昭和59年9月26日 風致区域
			モミジ、ヒサカキ等高木	200本	1,137m <sup>2</sup> (344坪)		
			計	235本	樹冠面積 1,020m <sup>2</sup>		
13	13	尾山神社樹林	スギ、ケヤキ、モミ等高木	78本	尾山町11-1	32%	昭和59年9月26日 風致区域
			サカキ、ツツジ等低木	310本	11,057m <sup>2</sup> (3,350坪)		
			計	388本	樹冠面積 3,500m <sup>2</sup>		
14	15	心蓮社樹林	タブ、ケヤキ等高木	30本	山の上町4-11	45%	昭和59年9月26日 風致区域
			ツバキ、ヒサカキ等低木	2,160本	2,357m <sup>2</sup> (714坪)		
			計	2,190本	樹冠面積 1,050m <sup>2</sup>		
15	16	西養寺樹林	ケヤキ、エノキ等高木	30本	東山2丁目11-35	65%	昭和59年9月26日 風致区域
			ツバキ、ヒサカキ等低木	2,160本	6,925m <sup>2</sup> (2,098坪)		
			計	2,190本	樹冠面積 4,500m <sup>2</sup>		
16	17	蓮昌寺樹林	エノキ、モミ等高木	30本	東山2丁目11-23	70%	昭和59年9月26日 風致区域
			ツツジ、ヒサカキ等低木	2,220本	3,269m <sup>2</sup> (990坪)		
			計	2,275本	樹冠面積 2,300m <sup>2</sup>		
17	18	大乗寺樹林	モミ、赤松、スギ、サクラ	—	長坂町ル10	76%	昭和60年9月25日 風致区域
			サザンカ等	—	49,000m <sup>2</sup> (14,800坪)		
			計	12,000本	樹冠面積 37,000m <sup>2</sup>		
18	19	金剛寺樹林	スギ、タブ、ケヤキ、モミジ	—	寺町5丁目6-45	30%	昭和60年9月25日 伝環区域
			サツキ等	—	2,294m <sup>2</sup> (694坪)		
			計	439本	樹冠面積 690m <sup>2</sup>		
19	20	本覚寺樹林	スダジイ、ケヤキ、タブ、	—	野町3丁目18-4	35%	昭和60年9月25日 伝環区域
			サカキ、モミジ、ユズリハ等	—	4,271m <sup>2</sup> (1,292坪)		
			計	339本	樹冠面積 1,500m <sup>2</sup>		

No.	指定番号	樹林名	樹種及び本数	所在地及び面積	緑被率	指定年月・備考
20	21	金沢神社樹林	スギ、モミ、ボダイジュ、	— 兼六町1-3	48%	昭和60年9月25日 風致区域
			黒松、モミジ、サカキ等	— 1,983m <sup>2</sup> (600坪)		
			計	140本 樹冠面積 950m <sup>2</sup>		
21	22	義豊院樹林	スギ、イチョウ、ツバキ、	— 旭町3丁目1-20(694坪)	78%	昭和60年9月25日 風致区域
			サツキ、モミジ、イチノ等	— 4,095m <sup>2</sup> (1,238坪)		
			計	1,845本 樹冠面積 3,200m <sup>2</sup>		
22	23	山科神社樹林	ケヤキ、スギ、イチョウ、	— 山科町赤79	80%	昭和60年9月25日
			モミジ、サカキ、ヒサカキ等	— 1,872m <sup>2</sup> (566坪)		
			計	226本 樹冠面積 1,500m <sup>2</sup>		
23	24	神明社樹林	モミ、スギ、クヌギ、ケヤキ、	— 田上町1-67	70%	昭和60年9月25日
			ツバキ、ヒサカキ等	— 2,806m <sup>2</sup> (631坪)		
			計	258本 樹冠面積 1,460m <sup>2</sup>		
24	25	猿丸神社樹林	ケヤキ、タブ、イチョウ等高木	22本 笠舞3丁目23-15	35%	昭和61年10月31日
			ツバキ、モミジ等低木	41本 1,567m <sup>2</sup> (474坪)		
			計	63本 樹冠面積 550m <sup>2</sup>		
25	26	本行寺樹林	モミ、タブ、ケヤキ等高木	29本 本多町2丁目9-34	27%	昭和61年10月31日 一部風致地区
			ツバキ、ヤマモミジ、アオキ等低木	1,079本 4,803m <sup>2</sup> (1,453坪)		
			計	1,099本 樹冠面積 1,300m <sup>2</sup>		
26	27	小坂神社樹林	タブ、モミジ、スギ、モミ、	— 山の上町42-1	80%	昭和61年10月31日 風致地区
			コナラ、ミズキ、ヒサカキ等	— 20,072m <sup>2</sup> (6,072坪)		
			計	8,000本 樹冠面積 16,000m <sup>2</sup>		
27	28	龍国寺樹林	スギ、ケヤキ、タブ等高木	29本 東山2丁目25-72	75%	昭和61年10月31日 風致地区
			ツバキ、ヤマモミジ、アオキ等低木	1,070本 1,530m <sup>2</sup> (463坪)		
			計	1,099本 樹冠面積 1,150m <sup>2</sup>		
28	29	児安神社樹林	スギ、ケヤキ、タブ	— 大樋町11-1	51%	昭和61年10月31日
			ツバキ等	— 3,147m <sup>2</sup> (952坪)		
			計	445本 樹冠面積 1,600m <sup>2</sup>		
29	30	宇佐神社樹林	ケヤキ、タブ、エノキ、黒松高木	31本 北塚町ハ137	60%	昭和61年10月31日
			ツバキ、サカキ等低木	82本 1,140m <sup>2</sup> (346坪)		
			計	113本 樹冠面積 690m <sup>2</sup>		
30	31	北陸放送樹林	スダジイ、タブノキ、ツバキ、	— 本多町3丁目2-1	61%	昭和62年10月1日 風致地区
			イロハモミジ、ヒサカキ等	— 20,269m <sup>2</sup> (6,131坪)		
			計 約	1,800本 樹冠面積 12,300m <sup>2</sup>		
31	32	八幡神社樹林	スギ、シラカシ、エノキ等高木	20本 錦町6-23	91%	昭和62年10月1日 風致地区
			ツバキ、タブノキ等低木	40本 639m <sup>2</sup> (193坪)		
			計 約	60本 樹冠面積 580m <sup>2</sup>		
32	34	野間神社樹林	イヌシデ、スギ、モミ、ケヤキ	— 小坂町東104	80%	昭和62年10月1日
			サカキ、ヒサカキ、ツバキ等	— 5,404m <sup>2</sup> (1,634坪)		
			計 約	1,000本 樹冠面積 4,350m <sup>2</sup>		
33	36	少名彦神社樹林	スギ、ケヤキ、エノキ、モミジ	— 田上本町タ23-1	77%	平成元年11月1日
			クヌギ、モミ、ツバキ等	— 2,980m <sup>2</sup> (901坪)		
			計 約	260本 樹冠面積 2,300m <sup>2</sup>		
34	37	八幡神社樹林	ケヤキ、スギ、シイ、モミジ、	— 岸川町ヲ129	69%	平成3年3月29日
			クヌギ、ツバキ、ゴンズイ等	— 2,559m <sup>2</sup> (775坪)		
			計 約	260本 樹冠面積 1,760m <sup>2</sup>		
35	38	波自加弥神社樹林	スダジイ、ケヤキ、クヌギ、	— 花園八幡町ハ163	80%	平成4年3月31日
			ヤブニッケイ、ハンノキ等	— 3,184m <sup>2</sup> (963坪)		
			計 約	400本 樹冠面積 2,547m <sup>2</sup>		
36	39	泉野桜木神社樹林	タブ、ケヤキ、黒松、サクラ	— 泉野町3丁目15-14	52%	平成7年3月29日
			スギ、イチョウ、サカキ等	— 4,060m <sup>2</sup> (1,228坪)		
			計 約	260本 樹冠面積 2,100m <sup>2</sup>		
37	40	百坂菅原神社樹林	ケヤキ、ツバキ、クヌギ	— 百坂町口120	74%	平成9年2月17日
			スギ、モチ、コウヨウザン、黒松等	— 3,040m <sup>2</sup> (921坪)		
			計 約	150本 樹冠面積 2,250m <sup>2</sup>		

No.	指定番号	樹林名	樹種及び本数	所在地及び面積	緑被率	指定年月日・備考
38	41	千木町 日吉神社樹林	ケヤキ、モミジ、ハンノキ、 エノキ等	千木町力55 1,213m <sup>2</sup> (367坪) 樹冠面積 1,074m <sup>2</sup>	88%	平成15年2月25日
39	42	宝円寺樹林	アカマツ、ケヤキ、タブノキ イチョウ、サツキ、ツツジ、 ヒサカキ等	宝町6-14 5,380m <sup>2</sup> (1,630坪) 樹冠面積 2,010m <sup>2</sup>	37%	平成15年2月25日 風致地区 伝環区域
40	43	弥勒町住吉神社	スギ、アンズ、シイ等	弥勒町ヨ11 1,025m <sup>2</sup> (311坪) 樹冠面積 880m <sup>2</sup>	—	平成16年3月25日
41	44	栗崎八幡神社	アカマツ、エノキ、ケヤキ等	栗崎町ヘ49-3 5,293m <sup>2</sup> (1604坪) 樹冠面積 3,830m <sup>2</sup>	—	平成16年3月25日
42	45	中村神社樹林	ケヤキ、イチョウ、サクラ等	中村町288-1 3,112m <sup>2</sup> (943坪) 樹冠面積 2,970m <sup>2</sup>	—	平成16年3月25日
43	46	四十万 八幡神社樹林	ケヤキ、スギ、イチョウ等	四十万町リ63-1 2,399m <sup>2</sup> (727坪) 樹冠面積 1,690m <sup>2</sup>	—	平成16年3月25日
44	47	少彦名神社樹林	ケヤキ、クロマツ、スダジイ等	諸江町上丁170 2,980m <sup>2</sup> (903坪) 樹冠面積 880m <sup>2</sup>	90%	平成17年3月2日
45	48	宝泉寺樹林	ケヤキ、クロマツ、 イロハモミジ等	子来町57-3 3,964m <sup>2</sup> (1,201坪) 樹冠面積 600m <sup>2</sup>	15%	平成17年3月2日
46	49	花園神社樹林	スダジイ、ヤブツバキ モウソウチク等	月影町イ62 1,172m <sup>2</sup> (355坪) 樹冠面積 930m <sup>2</sup>	80%	平成18年3月30日
47	50	大谷廟所樹林	モミ、マツ、ケヤキ アカガシ、モチノキ等	尾山町7番3号 3,128m <sup>2</sup> (948坪) 樹冠面積1,658m <sup>2</sup>	53%	平成19年3月26日
48	51	笠森邸樹林	ケヤキ、エノキ、スギ等	笠舞本町2丁目1番10号 1,535m <sup>2</sup> (465坪) 樹冠1,423m <sup>2</sup>	93%	平成19年3月26日

48箇所の樹冠面積  
計 154,932m<sup>2</sup>

### ■金沢市景観樹林指定一覧表(平成13年度～:計1箇所)

(平成19年3月31日現在)

No.	指定番号	樹林名	樹種及び本数	所在地及び面積	緑被率	指定年月日・備考
1	1	宝乗寺樹林	スギ、ウラジロガシ、 イヌシデシロガモ、 ヒサカキ等	車町ハ103番地 2,068m <sup>2</sup> (627坪) 樹冠面積 1,332m <sup>2</sup>	64%	平成17年11月4日

**金沢市歴史遺産保存活用  
マスタートップラン**

発行 金 沢 市

発行日 平成21年3月